



2022 Formula SAE Japan
Formula SAE® Series

第20回

ものづくり・デザイン
コンペティション

学生フォーミュラ 日本大会2022



クルマ+ものづくりに
熱中する学生たち、
ここに集結!

2021年 総合優秀賞
神戸大学チーム



2022

9/6~10 土

— 主催 —



公益社団法人 自動車技術会

2022年7月発行

会場 静岡県小笠山総合運動公園



大会公式サイト



CONTENTS

文部科学大臣祝辞/会長挨拶 Congratulatory Message/President's Message	1	大会スタッフ一覧 Competition Staffs	9
大会概要 Outline of Events	2	大会スポンサー一覧 Sponsors	10
スケジュール Schedule of Events	3	大会ヒストリー History of Competition	11 ~ 12
動的イベントコース概要 Dynamic Events	4 ~ 5	前回大会成績 Formula SAE Japan 2021 Overall and Awards	13
主催・後援・協賛・委員会組織 Organizer/Support/Committee Members	6	参加チーム(車両スペック) Team Information (Vehicle Specifications)	14 ~ 21
登録チーム Registered Teams	7	参加チーム(チームメンバー・スポンサー) Team Information (Members and Sponsors)	22 ~ 39
表彰 Awards	8		



文部科学大臣祝辞/会長挨拶

Congratulatory Message/President's Message

第20回 学生フォーミュラ日本大会 2022 開催を祝して



文部科学大臣
末松 信介

第20回学生フォーミュラ日本大会2022の開催を、心からお喜び申し上げます。

近年、イノベーションが急速に進展し、技術がめまぐるしく進化する中、Society 5.0の実現に向けた取組を加速化させ、産業構造改革を促す人材を育成する必要があります。

そのための重要な鍵の一つは、大学・高等専門学校における優れた工学系人材の育成です。これからの社会を牽引する工学系人材は、深い専門知識を持つとともに、分野の多様性を理解し、他者との協調の下、異分野との融合・学際領域の推進も見据えることができる幅広い知識と俯瞰的視野を持つ人材です。本年5月に取りまとめられた教育未来創造会議第一次提言においても、我が国の成長や社会の発展に寄与し得る高度専門人材育成のため、女子学生を含む理工系分野を専攻する学生の割合を増加させることや、文理の枠を超えた学修環境を整備することの重要性が指摘されており、工学系をはじめとする理工系人材に対する期待は近年一層高まっています。

また、高等専門学校においては、中学校卒業後の早期から、工学分野を中心に専門科目の実験・実習を通じて学ぶとともに、課外活動では、本大会のような各種コンテストへの参加により、企業や技術者が直面する規格やコスト、納期等の実践的な課題への対応を学んでいます。近年は、このような技術者教育の特色を基盤に、その発想力、創造力を生かし起業に挑戦する学生も出てきております。

こうした中で、本大会は、学生のものづくりの総合力を育成するため、自動車の走行性能や製作コストのほか、自ら設計した車をPRするためのデザイン・プレゼンテーション能力を競うなど、これからの我が国を支える実践的な技術者の育成に資する極めて有意義な大会であると考えております。

学生の皆様にとっては、レーシングカーの企画・設計・製作を通じて、ものづくりのすばらしさ・おもしろさを実感するとともに、メンバーとコミュニケーションを取りながら課題を発見し、解決していくことの大切さや、マネジメントワークやリーダーシップを学ぶ実践的な機会となるでしょう。それは、日頃学んでいる工学等の知識を超えた高いレベルへの挑戦であり、今後、技術者として社会で活躍するための価値ある経験になるものと考えます。

20回目を迎える本大会も昨年同様、新型コロナウイルス感染症の影響により国内チームのみのエントリーで、ICVクラス、EVクラス合わせて、2022年6月20日時点で68チームの参加登録となりましたが、2019年度は、海外チーム27を含む98チームの参加登録と、ピジターやゲスト、プレス等を含む延べ16,332名の来場があったとお伺いしております。このことは、本大会が国内外から広く認識され、そして高く評価されていることの表れであり、大変喜ばしく思います。

最後になりますが、本大会に出場される各チームの皆様、指導教員や学校関係の皆様、御健闘を祈念するとともに、公益社団法人自動車技術会をはじめ、本大会の企画・運営を支えられた皆様の御尽力に敬意を表しまして、お祝いの言葉といたします。

第20回 学生フォーミュラ日本大会 2022 を迎えて Welcome to 2022 Formula SAE Japan



公益社団法人自動車技術会
会長 大津啓司

今年、3年ぶりの現地開催にて、20回目を数える学生フォーミュラ日本大会を、国内65チームの参加で迎えることができ、大変嬉しく思います。

本大会は、学生がチームを組みフォーミュラスタイルの小型レーシングカーを製作し競うのですが、1年間という限られた時間の中で、チームのアイデアを具現化していくために、クルマづくりの総合プロセスを研究しながら、単なる車両性能に留まることなく創意工夫とチャレンジを重ねていく実践的なものづくりの人材育成プログラムです。まさしくこの大会は、自動車技術会が目指す「歴史を紡ぎ、人が学び/育ち/つながりを持つ「場」の体现の1つと考えています。ただ、この2年間は大会開催そのものも、苦難の連続となり、静的審査・車検・動的審査のフルプログラムで行うことができない変則的なものとなりました。更に、学生時代の多くをリモート環境が占めている学生の皆さんの苦労は計り知れないものがあり、その中でも大会にチャレンジされる皆さんの行動に感服しています。

自動車のはじまりから150年を超えても、クルマづくりには未知のことが沢山あります。だからこそ、学生の皆さんには、自分の専門分野や、既存の枠に捉われることなく、チームの魂を込めるクルマづくりを通して、思い切り悩んで困って、失敗をして、それでも諦めずに考えて、課題を乗り越えていく喜びを体験して欲しいと考えています。最後の最後までチャレンジして下さい。

悩みを乗り越え一歩前に進む喜びと自信は貴重なものであり、これを皆さんがこれから描く夢の原動力にして下さい。苦しい思いをしたこの2年間の皆さんの成果を発表できる最高の舞台となるようサポートしていきますので、ご期待ください。

最後に、静岡県、掛川市、袋井市をはじめとしたご協力いただいた地域の皆様、参加チームの皆さん、ご後援の皆様、ボランティアの皆様、すべての関係者の一人ひとりの方に感謝申し上げます。今後とも学生フォーミュラ活動への変わらぬご支援を宜しくお願いいたします。

大会概要

Outline of Events

大会趣旨

主役である学生が自ら構想・設計・製作した車両により、ものづくりの総合力を競い、産学官民で支援して、自動車技術ならびに産業の発展・振興に資する人材を育成する。

大会基本方針

学生に、学会として、ものづくりの機会を提供することにより、

- 1) 学生の自主的なものづくりの総合力を育成する。
- 2) 学校教育と連携する実践的な学び場としての教育的価値を高めていくこととする。

大会運営指針

- 1) 安全確保を最優先とした、ものづくり検証の場とする。
- 2) 産学官民連携による運営とする。
- 3) 個人・法人の広範なボランティアによる運営とする。
- 4) 公益事業として運営する。
- 5) 企業の枠を超えた技術者の交流に資するため、学生フォーミュラ参加者のネットワークを構築する。

開催日程

2022年8月末～/オンライン開催(静的審査/非公開)

2022年9月6日(火)～10日(土)/小笠山総合運動公園・静岡県(車検・動的審査)

詳細情報は大会公式サイト(右QRコード)にてご確認ください。



審査概要 Outline of Events

種目 Category	概要 Outline	配点 Point	
車検 Tech.Inspection	【技術検査】 ルールに定められた車両の安全・設計要件の適合性確認、 【チルト】 車両 45 度傾斜で燃料漏れ確認、ドライバー乗車し車両 60 度傾斜で転覆しないことの確認、 【騒音 (ICV クラスのみ)】 所定の条件で排気音レベル確認 (110dB以下)、 【ブレーキ】 4 輪ブレーキ (4 輪ロック) を確認・検査、 【レイン (EV クラスのみ)】 絶縁がされているかを確認。	-	
静的審査 Static Events	コストと製造 Cost	コスト計算は、生産活動を行うにあたり考慮しなければならない重要な要素です。学生は年産 1000 台を仮定したコストテーブルに基づき事前提出書類を提出し、コストの妥当性を審査します。また、リアルケースシナリオでは指定した部品の製造工程などの口頭試問を行い、それらの知識・理解度を評価します。	100
	プレゼンテーション Presentation	学生のプレゼンテーション能力を評価することが狙い。『市場要求に合った車両の製造・販売を含むビジネスプランを会社役員へ納得させる』という仮想のシチュエーションで行います。	75
	デザイン (設計) Design	チームからの事前提出書類と車両をもとに、設計の適切さ、革新性、加工性、整備性、組立性などを口頭試問により審査します。	150
動的審査 Dynamic Events	アクセラレーション Acceleration	0-75m 加速性能を各チーム 2 名のドライバーがそれぞれ 2 回、計 4 回走行し競います。	100
	スキッドパッド Skid-pad	8 の字コースによるコーナリング性能を各チーム 2 名のドライバーがそれぞれ 2 回、計 4 回走行し競います。	75
	オートクロス Autocross	直線・ターン・スラローム・シケインなどによる約 800m の複合コースを 1 周走行します。各チーム 2 名のドライバーがそれぞれ 2 回、計 4 回走行し、タイムを競います。	125
	エンデュランス Endurance	直線・ターン・スラローム・シケインなどによる周回コースを約 20km 走行します。各チーム 2 名のドライバーが中間点で交代して走行し、走行性能、耐久性など車の全体性能と信頼性を競います。	275
	効率 Efficiency	エンデュランス走行時の燃料・電力消費量を評価します。	100
その他 Others	車重計測、騒音・排ガス測定 [ICV (ガソリン) クラスのみ] を実施します。	-	
合計 Total Points		1,000	

一 競技目的および車両の設計要件・安全要件 一

Formula SAE® (英文) に準拠

競技目的

- Formula SAE® は各チームが小型フォーミュラスタイルの車両を構想、設計、製作、開発を行い競技に挑戦するものである。
- Formula SAE® はコース外とコース上でのタイムの両方のパフォーマンスを求める工学的技術の教育競技である。各競技は、チームの創造性と工学的技術力を実証し、世界中のチームとの比較の機会をチームに提供する。
- チームは試作車両を設計、製作、テスト、そして実証するベンチャー企業として働いていると仮定する。

一般要件

- 車両は、タイヤがカウルで覆われていない、オープンコックピットのフォーミュラスタイルの 4 輪車両とする。
- ホイールベースは 1,525mm 以上とする。トレッドは、フロントまたはリアの大きい方に対して 75%より小さくしてはならない。ホイールは 8 インチ以上とする。
- 拘束システム (5 点、6 点又は 7 点式シートベルト)、保護用具 (ヘルメット、スーツ、手袋など)、視認性、ヘッドレスト、ドライバーの脱出時間 (5 秒以内)、転覆安定性、防火壁、消火器等について詳細を規定する。

ICV (ガソリン車)

- エンジンは 4 サイクルで排気量が 710cc 以下でなければならない。オリジナル設計の過給器の装着は可とする。リストラクター (吸気流量制限装置) の最大直径は 20mm とする。
- 排気音量は、排気口から水平面 45 度、50cm の位置において測定。所定の回転数で 110dB 以下でなければならない。
- 燃料タンクは、メインフープとタイヤを結ぶ面の内側に装備すること。

EV (電気自動車)

- 最大公称作動電圧は 600VDC とする。
- バッテリーからの次第電力は、100ms を超えて連続的に 80kW より多く使わないこと。もしくは 500ms の移動平均値が 80kW を超えないこと。
- 回生は許されるが、時速 5km を超える車速で作動すること。

スケジュール

Schedule of Events

第20回 学生フォーミュラ日本大会2022 主な審査スケジュール

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	実施場所
9/6 (火) 1日目				チーム受付			車検							スタジアム P10駐車場
9/7 (水) 2日目		車検			プラクティス							集合写真		P10駐車場 P10駐車場
9/8 (木) 3日目		車検			オートクロス			アクセラレーション スキッドパッド			オートクロス			P10駐車場 P9駐車場/動的エリア P10駐車場
				プラクティス										
9/9 (金) 4日目		再車検			エンデュランス・効率			Lunch Break			デザインファイナル			P10駐車場 P9駐車場/動的エリア P10駐車場 P10駐車場
				プラクティス										
9/10 (土) 5日目		エンデュランス・効率			プラクティス			暫定表彰式						P9駐車場/動的エリア P10駐車場 P10駐車場

- ★天候や審査状況により、スケジュールは変動となる可能性があります。
- ★P11駐車場にチームピットを設定します。
- ★動的審査の様子は学生フォーミュラ大会公式サイトより、YoutubeLiveにてWeb中継します。



【注意事項】

- ⚠ 指定の観覧エリア以外からの動的審査およびプラクティスの観覧はできません。(指定バス保持者を除く)
- ⚠ ドライバーの運転に影響を与えるため、走行中の車両へのフラッシュ撮影は禁止です。
- ⚠ 会場内は、指定場所以外すべて禁煙です。喫煙は指定の喫煙所をお願いします。
- ⚠ ゴミは各自お持ち帰りください。
- ⚠ 熱中症対策をしてください。なお体調を悪くした方は、早めに救護所までお申し出ください。大会期間中、救護所に医師、看護師が待機しています。
- ⚠ 大会会場付近には、スズメバチ、ヘビが生息しています。見かけたら近寄らず、すぐに大会本部に連絡してください。万が一、刺されたり、噛まれたりした場合は、近くにいるスタッフに声を掛けるか、大会本部にお申し出ください。
- ⚠ 大会会場内ではスタッフの指示に従ってください。

【免責事項】

- ⚠ 大会参加に際し生じた事故、損害については、主催者、後援および協賛スポンサー企業は一切の責任を負わないものとします。
- ⚠ 主催者は、事前の予告なくイベントの開催を中止することがあります。

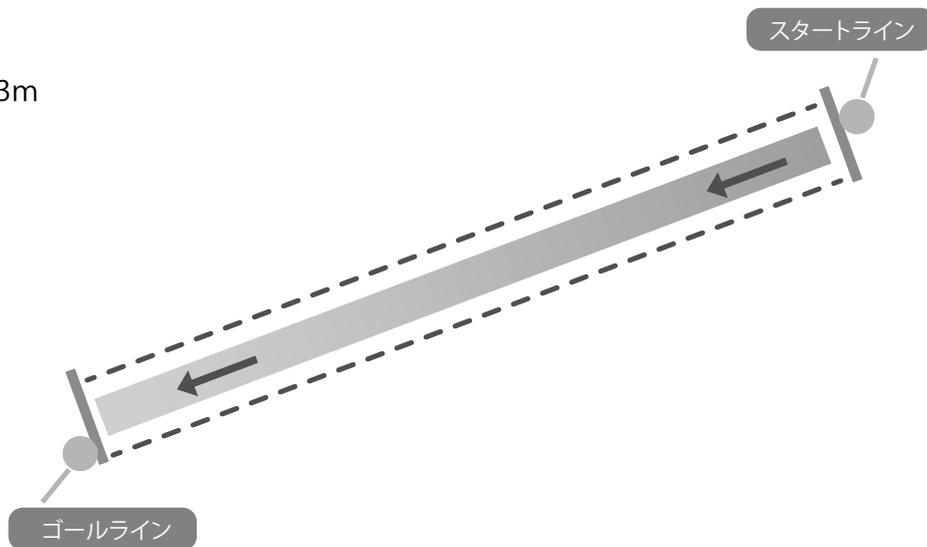
動的イベントコース概要

Dynamic Events

アクセラレーション<Acceleration>

コース概要

- 直線75m
- コース幅 3m

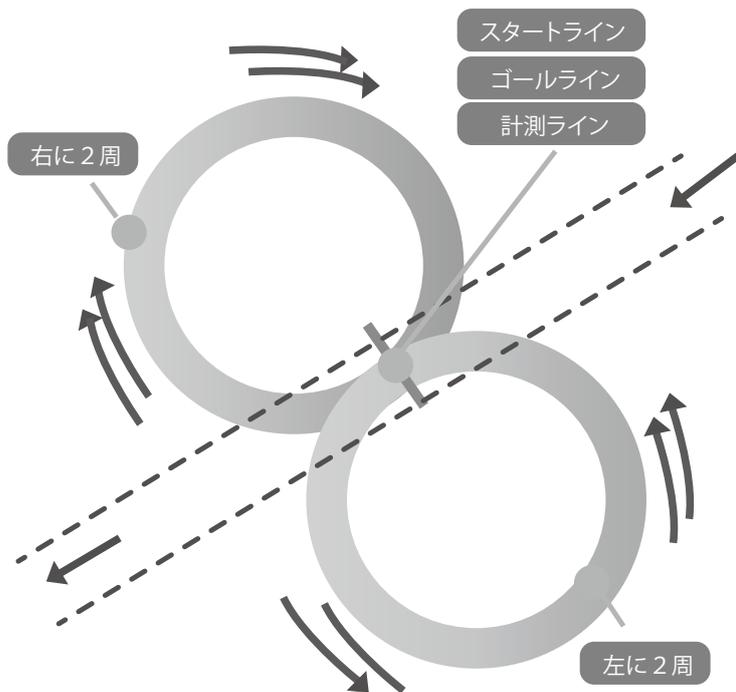


- ★直線0-75mの加速タイムを競う。
- ★上位チームのタイムは4秒台前半。
- ★スタート時のタイヤの空転を抑え、あとは駆動力性能の勝負となる。

スキッドパッド<Skid-pad>

コース概要

- 8の字コース(右2周・左2周)
- コース幅 3m



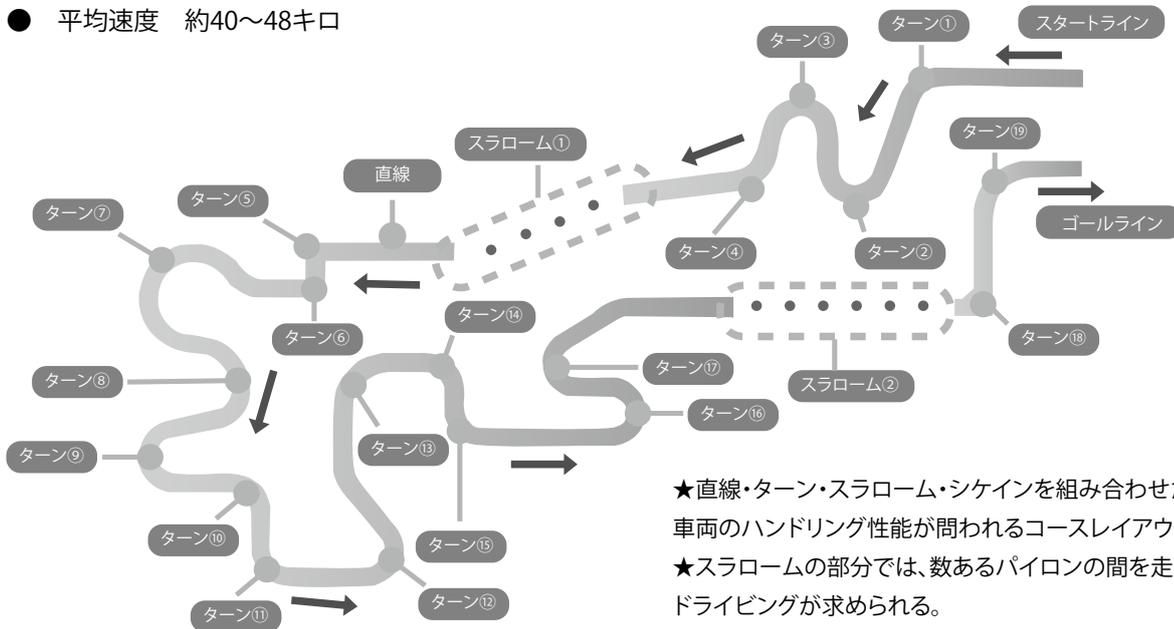
- ★左旋回と右旋回の周回タイムの平均を競う。
- ★上位チームのタイムは5秒を切る。
- ★パイロンペナルティーは、各0.25秒のペナルティとなり、車両の旋回性能が大切だ。

オートクロス<Autocross>

※こちらは2019年大会の参考コースになります。毎年若干のコース変更があります。

コース概要

- 1周約800mの複合コース(直線・ターン・スラローム・シケインなど)
- コース幅 4.5~5m
- 最高速度 約105km/h
- 平均速度 約40~48キロ



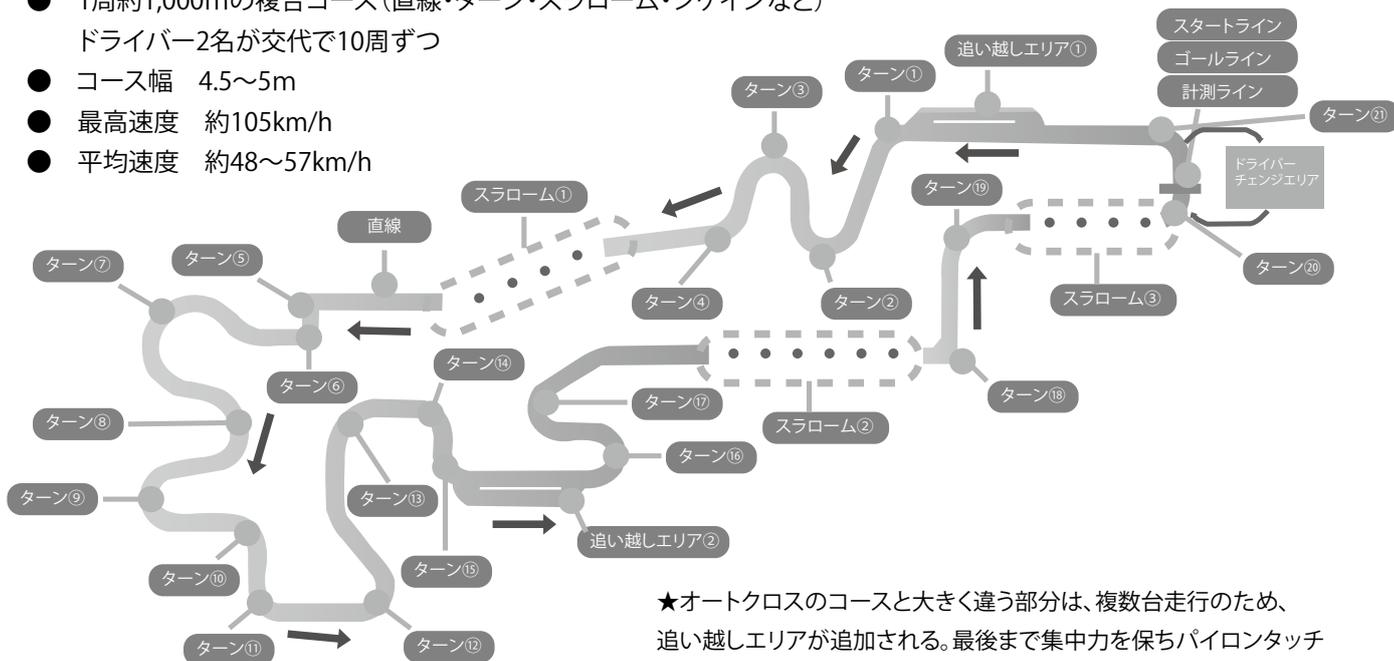
- ★直線・ターン・スラローム・シケインを組み合わせた約800mのコースで、車両のハンドリング性能が問われるコースレイアウトとなる。
- ★スラロームの部分では、数あるパイロン間を走行するため慎重なドライビングが求められる。

エンデュランス<Endurance>

※こちらは2019年大会の参考コースになります。毎年若干のコース変更があります。

コース概要

- 1周約1,000mの複合コース(直線・ターン・スラローム・シケインなど)
ドライバー2名が交代で10周ずつ
- コース幅 4.5~5m
- 最高速度 約105km/h
- 平均速度 約48~57km/h



- ★オートクロスのコースと大きく違う部分は、複数台走行のため、追い越しエリアが追加される。最後まで集中力を保ちパイロンタッチペナルティーをいかに最少に抑えるかが審査の鍵を握る。

★周回コースを約20キロ走行する。2名のドライバーが中間地点で交代となる。交代の際は、必ずICV車はエンジンを止め、EV車ならばトラクティブシステムを停止させて交代を行う。車両の熱上昇による再スタートには注意が必要だ。

主催・後援・協賛・委員会組織

Organizer/Support/Committee Members

主催	公益社団法人自動車技術会
後援	文部科学省、経済産業省、国土交通省、静岡県、掛川市、袋井市、掛川商工会議所、袋井商工会議所、日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、NHK、TBS、静岡新聞社・静岡放送、静岡朝日テレビ、静岡第一テレビ、テレビ静岡、静岡エフエム放送(K-mix)、朝日新聞社、読売新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社、日刊工業新聞社、日刊自動車新聞社
協賛	産業技術総合研究所、交通安全環境研究所、日本自動車研究所、日本私立大学協会、日本私立大学連盟、公立大学協会、国立高等専門学校機構、日本工学会、日本ゴム工業会、計測自動制御学会、潤滑油協会、日本機械学会、日本工学教育協会、日本工作機械工業会、日本ゴム協会、日本材料学会、日本自動車タイヤ協会、日本設計工学会、日本陸用内燃機関協会、溶接学会、日本自動車車体工業会、日本自動車整備振興会連合会、日本自動車機械器具工業会、日本自動車連盟、日本自動車販売協会連合会、土木学会、全国自動車大学校・整備専門学校協会、電気学会

■ 学生フォーミュラ会議

議長	豊増 俊一	日産自動車
副議長	松園 義明	本田技研工業
	東 雄一	自動車技術会
委員	石倉 幸司	ダイハツ工業
	一政 都志夫	いすゞ自動車
	大下 政司	日本自動車部品工業会
	大杉 祥司	カワサキモータース
	大畑 光一	日野自動車
	小熊 光晴	産業技術総合研究所
	葛巻 清吾	トヨタ自動車
	小松 賢二	ヤマハ発動機
	近藤 圭一郎	早稲田大学
	竹内 克彦	デンソー
	筒井 洋	アイシン
	野木 利治	日立 Astemo
	藤貫 哲郎	SUBARU
	本田 康裕	国土館大学
	山岸 重雄	スズキ
	山本 寿英	マツダ
	吉田 量年	日本自動車車体工業会
	渡邊 計彦	三菱自動車工業

■ 学生フォーミュラ日本大会 ルール委員会

委員長	齋藤 拓也	ヴァレオジャパン
副委員長	辻 夏央	デンソー
委員	大和田 優	日産自動車
	亀井 宏貴	三菱自動車工業
	白井 和成	デンソー
	鈴木 健	日産オートモティブテクノロジー
	砂子 直人	ホンダ・レーシング
	土屋 高志	福井工業大学
	中澤 広高	本田技研工業
	西 英之	マツダ
	長谷川 淳一	トヨタ自動車
	福田 充宏	静岡大学
	増田 貴彦	日立 Astemo
	水谷 泰哲	トヨタ自動車

■ 学生フォーミュラ日本大会 2022 実行委員会

委員長	水谷 泰哲	トヨタ自動車
副委員長	大和田 優	日産自動車
	砂子 直人	ホンダ・レーシング
委員	会田 哲夫	富山大学
	井上 雅文	カワサキモータース
	沖園 信幸	マツダ
	狩野 芳郎	神奈川工科大学
	亀井 宏貴	三菱自動車工業
	河原 智	トヨタ自動車
	櫛笥 和英	ダイハツ工業
	西城 雄二	ヤマハ発動機
	齋藤 拓也	ヴァレオジャパン
	鈴木 健	日産オートモティブテクノロジー
	関谷 雄一	SUBARU
	田尾 光規	日産自動車
	高橋 泰史	アイシン
	太刀川 充	スズキ
	塚本 将弘	トヨタ自動車
	辻 夏央	デンソー
	土屋 高志	福井工業大学
	中澤 広高	本田技研工業
	西 英之	マツダ
	福田 充宏	静岡大学
	本田 康裕	国土館大学
	増田 貴彦	日立 Astemo
	増田 好洋	ゼスト
	山本 隆	デンソー

(2022年7月15日時点)

登録チーム

Registered Teams

登録チーム (69 チーム) 内訳 ICV : 55 チーム

EV : 14 チーム

(2022年2月15日時点)

Car No.	学校名 school name	国籍 Country	Car No.	学校名 school name	国籍 Country
ICV (ガソリンエンジン) クラス ICV class					
1	神戸大学 Kobe University	日本 Japan	28	日本工業大学 Nippon Institute of Technology	日本 Japan
2	大阪大学 Osaka University	日本 Japan	29	トヨタ名古屋自動車大学校 Toyota Technical College Nagoya	日本 Japan
3	京都大学 Kyoto University	日本 Japan	30	富山大学 University of Toyama	日本 Japan
4	名古屋工業大学 Nagoya Institute of Technology	日本 Japan	31	立命館大学 Ritsumeikan University	日本 Japan
5	千葉大学 Chiba University	日本 Japan	32	久留米工業大学 Kurume Institute of Technology	日本 Japan
6	京都工芸繊維大学 Kyoto Institute of Technology	日本 Japan	33	大阪工業大学 Osaka Institute of Technology	日本 Japan
7	岐阜大学 Gifu University	日本 Japan	34	広島工業大学 Hiroshima Institute Technology	日本 Japan
8	新潟大学 Niigata University	日本 Japan	35	明星大学 Meisei University	日本 Japan
9	東京大学 The University of Tokyo	日本 Japan	36	九州大学 Kyushu University	日本 Japan
10	名城大学 Meijo University	日本 Japan	37	大阪府立大学 Osaka Prefecture University	日本 Japan
11	東京農工大学 Tokyo University of Agriculture and Technology	日本 Japan	38	早稲田大学 Waseda University	日本 Japan
12	山梨大学 University of Yamanashi	日本 Japan	39	東京理科大学 Tokyo University of Science	日本 Japan
13	日本自動車大学校 Nihon Automobile College	日本 Japan	40	専門学校麻生工科自動車大学校 ASO College of Automotive Engineering and Technology	日本 Japan
14	茨城大学 Ibaraki University Racing	日本 Japan	41	福井工業大学 Fukui University of Technology	日本 Japan
15	同志社大学 Doshisha University	日本 Japan	42	鳥取大学 Tottori University	日本 Japan
16	九州工業大学 Kyushu Institute of Technology	日本 Japan	43	金沢工業大学 Kanazawa Institute of Technology	日本 Japan
17	埼玉大学 Saitama University	日本 Japan	44	大阪産業大学 Osaka Sangyo University	日本 Japan
18	福井大学 University of Fukui	日本 Japan	45	崇城大学 Sojo University	日本 Japan
19	ホンダテクニカルカレッジ関西 Honda Technical College Kansai	日本 Japan	46	日本大学生産工学部 College of Industrial Technology, Nihon University	日本 Japan
20	群馬大学 Gunma University	日本 Japan	47	近畿大学 Kindai University	日本 Japan
21	北海道大学 Hokkaido University	日本 Japan	48	ホンダテクニカルカレッジ関東 HONDA Technical College Kanto	日本 Japan
22	金沢大学 Kanazawa University	日本 Japan	49	岡山大学 Okayama University	日本 Japan
23	山陽小野田市立山口東京理科大学 Sanyo-onoda City University	日本 Japan	50	芝浦工業大学 Shibaura Institute of Technology	日本 Japan
24	日本大学理工学部 College of Science and Technology, Nihon University	日本 Japan	51	東京都立大学 Tokyo Metropolitan University	日本 Japan
25	帝京大学 Teikyo University	日本 Japan	52	北九州市立大学 The University of Kitakyushu	日本 Japan
26	工学院大学 Kogakuin University	日本 Japan	53	東海大学 Tokai University	日本 Japan
27	東京都市大学 Tokyo City University	日本 Japan	54	国士館大学 Kokushikan University	日本 Japan
			55	西日本工業大学 NISHINIPPON INSTITUTE OF TECHNOLOGY	日本 Japan

Car No.	学校名 school name	国籍 Country	Car No.	学校名 school name	国籍 Country
EV クラス EV class					
E1	名古屋大学 EV Nagoya University	日本 Japan	E8	トヨタ東京自動車大学校 EV Toyota Technical College Tokyo	日本 Japan
E2	豊橋技術科学大学 EV Toyohashi University of Technology	日本 Japan	E9	神奈川工科大学 EV Kanagawa Institute of Technology	日本 Japan
E3	東北大学 EV Tohoku University	日本 Japan	E10	愛知工業大学 EV Aichi Institute of Technology	日本 Japan
E4	静岡大学 EV Shizuoka University	日本 Japan	E11	日産京都自動車大学校 EV NISSAN AUTOMOBILE TECHNICAL COLLEGE KYOTO	日本 Japan
E5	神奈川大学 EV Kanagawa University	日本 Japan	E12	上智大学 / 青山学院大学 EV Sophia University/Aoyama Gakuin University	日本 Japan
E6	静岡理工科大学 EV Shizuoka Institute of Science and Technology	日本 Japan	E13	東京工科大学 EV Tokyo University of Technology	日本 Japan
E7	ものづくり大学 EV Institute of Technologists	日本 Japan	E14	横浜国立大学 EV Yokohama National University	日本 Japan

分類	表彰名	賞の概要	表彰枠	副賞	提供
総合表彰	経済産業大臣賞 Minister of Economy, Trade and Industry Award	全ての審査に参加し、総合得点が最も高いチーム	1位	—	経済産業省
	国土交通大臣賞 Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Award	全ての審査に参加し、EVクラスに於いて総合得点が最も高いチーム	1位	—	国土交通省
	静岡県知事賞 Governor of Shizuoka Prefecture Award	静的審査、耐久走行を除く動的審査、騒音、消費効率、安全、軽量化努力の評価が高いチーム	1位	賞品	静岡県
	掛川市長賞 Mayor of Kakegawa City Award	動的審査の得点が最も高いチーム	1位	賞品	掛川市
	袋井市長賞 Mayor of Fukuroi City Award	静的審査の得点が最も高いチーム	1位	賞品	袋井市
	日本自動車工業会会長賞 JAMA Chairman Awards	全ての静的・動的審査に参加し、完遂・完走しているチーム（書類遅延及びエンデュランス完走後の騒音ペナルティーが無いこと）	—	総額70万円メダル及び賞金（メダルを除く総額を受賞チーム分割）	日本自動車工業会
	日本自動車部品工業会会長賞 JAPIA Chairman Awards	エンデュランス完走チームのうち、コスト審査、プレゼン審査、軽量化の評価ポイントの最も高いチーム	1位	5万円	日本自動車部品工業会
	総合優秀賞 TOP 3 Awards in Overall	全ての審査に参加し、総合得点が上位の3チーム	1~3位	①8万円 ②8万円 ③2万円	小野測器
	ICV総合優秀賞 Spirit of Excellence Award for ICV Class	全ての審査に参加し、ICVクラスで総合得点が最も高いチーム	1位	5万円副賞	JSAE
	EV総合優秀賞 Spirit of Excellence Award for EV Class	全ての審査に参加し、EVクラスで総合得点が最も高いチーム	1位	5万円副賞	ビューズ 静岡県
種目別表彰	コスト賞 Cost Awards	コスト・製造審査の得点が最も高いチーム	1~3位	(各賞) ①5万円 ②3万円 ③2万円	NOK
	デザイン賞 Design Awards	デザイン審査の得点が最も高いチーム	1~3位		東京アールアンドデー
	プレゼンテーション賞 Presentation Awards	プレゼンテーション審査の得点が最も高いチーム	1~3位		JSAE
	加速性能賞 Acceleration Awards	アクセラレーション（加速性能）審査の得点が最も高いチーム	1~3位		住友ゴム工業
	スキッドパッド賞 Skid-Pad Awards	スキッドパッド審査の得点が最も高いチーム	1~3位		JSAE
	オートクロス賞 Autocross Awards	オートクロス審査の得点が最も高いチーム	1~3位		JSAE
	耐久走行賞 Endurance Awards	エンデュランス（耐久走行）審査の得点が最も高いチーム	1~3位		JSAE
	省エネ賞 Efficiency Awards	消費効率審査の得点が最も高いチーム	1~3位		日本ミシュランタイヤ
特別表彰	ルーキー賞 Rookie Awards	日本大会初参加で総合得点が最も高いチーム	ICV/EV各1位	賞品	大会実行委員会
	スポーツマンシップ賞 Sportsmanship Awards	スポーツマンシップ・マネージメント・安全等の評価が高いチーム	若干数	賞品	大会実行委員会
	ジャンプアップ賞 Jump-UP Awards	全ての審査に参加し、前回大会比で最も総合得点を向上させたチーム	1~3位	賞品	袋井商工会議所
	ベスト車検賞 Best Tech-Inspection Awards	車検書類（SES）合格評価の最も高いチームのうち、総合得点の最も高いチーム	1~3位	①トロフィー表彰／5万円 ②目録3万円 ③目録2万円	アネブル
	最軽量化賞 Lightweight Engineering Awards	エンデュランスを除く全ての審査に参加した最軽量車両のチーム	ICV/EV各1位	(ICV/EV各クラス) ①5万円	深井製作所
	CAE特別賞 CAE Awards	CAE技術を効果的に活用し効率よく優れたデザインを実現したチーム	1~3位	①5万円 ②3万円 ③2万円	アルテアエンジニアリング
	ベスト三面図賞 Best Three-View Drawing Award	設計行為の集大成である“図面”を通じて審査員に最も多くの情報を的確に伝えたチーム	1~3位	①5万円 ②3万円 ③2万円	東京アールアンドデー
	ベストエアロ賞 Best Aerodynamics Award	オートクロスまでを完走したチームの中で、レーシングカーとして最も効果的な空力解析及び熱流体解析を行い、実践したチーム	1~3位	①5万円 ②3万円 ③2万円	東京アールアンドデー
	ベストコンポジット賞 Best Composite Award	軽量化、強度／剛性、見栄え等の観点でレーシングカーとして最も高完成度なコンポジットパーツを実現したチーム	1~3位	①5万円 ②3万円 ③2万円	東レ・カーボンマジック
	エルゴノミクス賞 Ergonomics Awards	レーシングカーとしてのドライビングポジション、ペダルやハンドルの操作性、メーターの視認性など人間工学的に優れたデザインを実現したチーム	1~3位	①3万円 ②2万円 ③1万円	ブリッド

大会スタッフ一覧

Competition Staffs

■ 大会実行組織

★水谷泰哲(トヨタ自動車), 大和田優(日産自動車), 砂子直人(本田技術研究所), 玉正忠嗣(日産自動車), 福田充宏(静岡大学), 土屋高志(福井工業大学), 鈴木義一(アイシン), 高橋泰史(アイシン), 谷澤伸治(アイシン), 中根直志(アイシン), 宮地永治(アイシン), 岡田紗織(アネブル), 花村勇哉(スズキ), 水野貴大(大豊工業), 山本隆(デンソー), 恩田祐輔(Woven Alpha, Inc.), 生原尚季(トヨタ自動車), 中福辰禎(トヨタ自動車), 武藤大悟(日産自動車), 柳井達美(日産自動車), 芳賀剛志(本田技研工業), 山本一哉(本田技研工業), 須藤由紀子(本田技研工業), 櫻原一雄(本田技術研究所), 塚田能成(本田技術研究所), 高山博之(マイスタークラブ), 清水良祐(ヤマハ発動機), 坂本正実(大阪産業大学), 平城真太郎(静岡大学), 早川哲也(トヨタ名古屋自動車大学校), 会田哲夫(富山大学), 杉沼浩司(日本大学), 鈴木光裕(ボランティア), 森修一(ボランティア), 宮澤哲裕(アイシン), 相園斉(いすゞ中央研究所), 有元良輔(スズキ), 辻夏央(デンソー), 石田修平(日産自動車), 崎山大輝(日本発条), 大浦大地(本田技研工業), 大山良平(本田技研工業), 鈴木寛人(本田技研工業), 田中寛人(本田技研工業), 原田裕大(本田技研工業), 中島亮平(本田技術研究所), 第十祐幹(マツダ), 亀井宏貴(三菱自動車工業), 平井青(ヤマハ発動機), 本田康裕(国士舘大学), 今井太一(ボランティア), 中辻万平(ボランティア)

★は実行委員長

■ 審査

〈静的審査〉

増田貴彦(日立Astemo), 磯部善幸(NSK ワーナー), 播磨健司(SUBARU), 岩田裕司(アイシン), 永田尚之(アネブル), 千葉勇(いすゞ自動車), 大島雄介(スズキ), 谷川利晴(住友ゴム工業), 中下聖菜(ダイハツ工業), 石田倫章(デンソー), 佐藤陽(デンソー), 福田圭弘(豊田自動織機), 岡本幹浩(トヨタ車体), 平谷康治(日産自動車), 福本泰己(日産自動車), 松本陵佑(日産自動車), 松澤由樹(日産車体), 川崎公一(日本発条), 大岩浩幸(日立Astemo), 照内宏雄(日立Astemo), 伊藤浩(本田技研工業), 塩倉聡(本田技術研究所), 中出千秋(YEP. S), 社本薫(ボランティア), 齋藤拓也(ヴァレオジャパン), 小林吾一(SUBARU), 小牧佳弘(いすゞ自動車), 多部田純一(いすゞ自動車), 中村勇樹(カワサキモーターズ), 清水悠介(スズキ), 福塚啓司(ダイハツ工業), 中村錠治(デンソー), 島山英隆(東京アールアンドデー), 福田喜宣(東京アールアンドデー), 小野昌朗(東京アールアンドデー), 山内誠(東京アールアンドデー), 竹元勝和(童夢), 中村卓哉(東レ・カーボンマジック), 石田拓人(トヨタ自動車), 井上豪(トヨタ自動車), 岡本拓之(トヨタ自動車), 佐藤俊明(トヨタ自動車), 住中真(トヨタ自動車), 塚本将弘(トヨタ自動車), 中尾海斗(トヨタ自動車), 落合亮(日産自動車), 加藤雅大(日産自動車), 倉地星也(日産自動車), 瀬口大貴(日産自動車), 田尾光規(日産自動車), 田谷要(日産自動車), 森岡宇(日産自動車), 山上滋春(日産自動車), 吉野暁大(日産自動車), 松波意知(日野自動車), 岡口彦一(ビュース), 深澤保(ビュース), 飛田一紀(本田技研工業), 水野陽介(本田技研工業), 山口達(本田技研工業), 飯島福信(MathWorks Japan), 小堀晃(マツダ), 加藤貴大(三菱自動車工業), 永井紳一郎(ヤマハ発動機), 影山邦衛(ボランティア), 宮坂宏(ボランティア), 鈴木健(日産オートモーティブテクノロジー), 関竜達(SUBARU), 宮澤哲裕(アイシン), 宇野智之(アドヴィックス), 松本悠司(いすゞ自動車), 諸岡裕文(コマツ), 荒川英俊(スズキ), 栗原洋平(スズキ), 小川貴臣(住友ゴム工業), 富田春樹(ダイハツ工業), 田中崇剛(デンソー), 中村大起(トヨタ自動車), 北條明(トヨタ自動車), 柳田謙一(トヨタ自動車), 萩原翔(日産自動車), 山本浩敬(日産自動車), 佐々木寛文(ピークルエンジニアージャパン), 上田隆利(日立金属), 栗原祐也(日立金属), 波野淳(ボッシュ), 荻谷頭(本田技研工業), 中原雄二(本田技術研究所), 奥平達成(マツダ), 笹川拓未(三菱自動車工業), 古賀文(ヤマハ発動機), 射延恭二(ボランティア), 河西信之(ボランティア), 澁江佑介(ボランティア), 戸田宗敬(ボランティア)

〈技術審査〉

西英之(マツダ), 木村航洋(SUBARU), 今村彰孝(アネブル), 三宅博(アネブル), 三輪英暢(アネブル), 上野竹美(いすゞ自動車), 唐國祥宏(いすゞ自動車), 清水俊成(いすゞ自動車), 津田貴史(いすゞ自動車), 佐竹央基(カワサキモーターズ), 有馬直人(スズキ), 千葉康智(スズキ), 磯部雄樹(ダイハツ工業), 小田幸仁(トヨタ自動車), 古賀諒摩(トヨタ自動車), 清水健一(トヨタ自動車), 関口宏(トヨタ自動車), 曾山晨登(トヨタ自動車), 増田和也(トヨタ自動車), 平池歩(日産オートモーティブテクノロジー), 小峰創人(日産自動車), 齋藤佑育(日産自動車), 高島航一(日産自動車), 横山心(日産自動車), 松本保志(日野自動車), 本田篤(ボランティア), 松浦孝成(ボランティア), 手塚浩行(ホンダ・レーシング), 黒澤達夫(マイスタークラブ), 古城裕嗣(マイスタークラブ), 村越弘昌(マイスタークラブ), 奥野俊(マツダ), 加島優生(マツダE&T), 佐藤章成(マツダE&T), 川口賢人(三菱自動車工業), 野島佑太(三菱自動車工業), 荒牧耀(ヤマハ発動機), 原園泰信(ヤマハ発動機), 岡安功太郎(SUBARU テクノ), 天野勝弘(静岡理工科大学), 狩野康行(小野測器), 加藤元章(小野測器), 浦畑真衣(小野測器), 白井はのか(小野測器), 本田奈々(小野測器), 飯島晃良(日本大学), 岡部顕史(日本大学), 関谷直樹(日本大学), 吉田幸司(日本大学), 杉崎裕俊(ダイハツ工業), 真崎健雄(横浜ゴム), 鹿内佳人(静岡理工科大学), 仲野敬一(堀場製作所), 石川達夫(堀場製作所), 石川大毅(堀場製作所), 桃沢晃(堀場製作所), 坂本雄祐(トヨタ自動車), 岡建人(トヨタ自動車), 田澤直之(トヨタ自動車), 青木琢也(本田技研工業), 秋元健太(本田技研工業), 稲村真史(本田技研工業), 田中真二(本田技研工業), 前田聖成(本田技研工業), 新森隼(本田技術研究所), 時安優和(本田技術研究所), 山田滋(マイスタークラブ), 郷田末雄(マイスタークラブ), 関口昌邦(マイスタークラブ), 須藤由紀子(本田技研工業), 石井和幸(マイスタークラブ), 井出温(マイスタークラブ), 尾神典昭(マイスタークラブ), 笠島直紀(マイスタークラブ), 高山博之(マイスタークラブ), 土井清行(マイスタークラブ), 宮田卓英(マイスタークラブ), 山本敏文(マイスタークラブ)

〈動的審査〉

中澤広高(本田技研工業), 中島崇(トヨタ自動車), 山田新九郎(トヨタ自動車), 杉田尚隆(ジャトコ), 茨木浩二(デンソー), 麻生貴久(トヨタ自動車), 水野友博(トヨタ自動車), 太刀川武志(日産自動車), 安藤慶(SUBARU), 坂野光一(SUBARU), 松本賢(SUBARU), 布野宏樹(TOYO TIRE), 石野敦(アネブル), 内部悠斗(アネブル), 高木康靖(オートテックジャパン), 山岸憲一郎(オートテックジャパン), 菊井瑠偉(カワサキモーターズ), 西村宗(カワサキモーターズ), 薄井遥紀(ジャトコ), 高島茂樹(ジャトコ), 沈程(ジャトコエンジニアリング), 吉野大和(ジャトコエンジニアリング), 川井愛里奈(スズキ), 入口裕太(ダイハツ工業), 大西徹(ダイハツ工業), 本智大(ダイハツ工業), 村上和也(ダイハツ工業), 石橋孝規(デンソー), 水谷太地(デンソー), 生田凌脩(トヨタ自動車), 石田貴洋(トヨタ自動車), 大谷一茂(トヨタ自動車), 小森慎也(トヨタ自動車), 佐藤圭(トヨタ自動車), 土屋喜弘(トヨタ自動車), 中北崇文(トヨタ自動車), 中根一(トヨタ自動車), 野村昌孝(トヨタ自動車), 山田大貴(トヨタ自動車), 横井愛斗(トヨタ自動車), 齋藤弘樹(トヨタ自動車東日本), 戸谷瑠一(トヨタ自動車東日本), 小山田陸久(日産オートモーティブテクノロジー), KABEER ABDUL (日産オートモーティブテクノロジー), 多村祥(日産オートモーティブテクノロジー), 茂木優一(日産オートモーティブテクノロジー), 吉留大智(日産オートモーティブテクノロジー), 新井陽介(日産自動車), 石原佑一(日産自動車), 木村郁仁(日産自動車), 貞光亮秀(日産自動車), 佐藤孝論(日産自動車), 当麻麻音(日産自動車), 中村洋平(日産自動車), 沼田大輝(日産自動車), 松本陵佑(日産自動車), 吉本竜太(日産自動車), 松本和也(日立Astemo), 渡邊崇文(日立Astemo), 高橋隼人(日野自動車), 竹島正浩(日野自動車), 郡上允(プレス工業), 五十嵐雄大(本田技研工業), 石塚祐也(本田技研工業), 出浦徹(本田技研工業), 野淵頌平(本田技研工業), 長谷川慶(本田技研工業), 三橋晃子(本田技研工業), 山崎まりや(本田技研工業), 山本康平(本田技研工業), 中原雄二(本田技術研究所), 坂本拓海(ホンダテクノフォート), 高橋幸寛(ホンダテクノフォート), 落合洗矢(マツダ), 竹田曜(マツダ), 藤川一期(マツダE&T), 星隈博允(マツダE&T), 野々村元寿(三菱自動車工業), 森永樹樹(三菱自動車工業), 渡部直輝(三菱自動車工業), 岸弘武(ヨコス), 磯崎弥司(福井工業大学), 増田好洋(ゼスト), 渡辺稔夫(ゼスト), 小澤忠司(ゼスト), 兼松文夫(ゼスト), 鶴田康仁(ゼスト), 秋山慎也(ゼスト), 織田慎一(ゼスト), 山本和正(ゼスト), 伊藤昭雄(ゼスト), 小木曾浩之(ゼスト), 松下和樹(ゼスト), 前川弘孝(ゼスト), 関屋英行(ゼスト), 西城雄二(ヤマハ発動機), 佐原正流(トヨタ車体), 堀内敦司(スズキ), 中村錠治(デンソー), 國司和浩(トヨタ自動車), 何特(日産自動車), 張海鵬(日産自動車), 井上景介(日産自動車), 沢里翔太(日産自動車), ジンユンヒ(日産自動車), 林英範(日産自動車), 梶澤明(本田技研工業), 金澤恵介(マツダ), 佐伯一(三菱自動車工業), 堀居直幸(三菱自動車工業)

〈EV〉

河原智(トヨタ自動車), 久米晋矢(アイシン), 井上雅文(カワサキモーターズ), 篠原啓(コマツ), 茅野浩之(コマツ), 室田直哉(スズキ), 戸祭衛(SUBARU), 三村康輔(ダイハツ工業), 白井和成(デンソー), 中村克己(デンソー), 富野裕太(トヨタ自動車), 熊谷康治(日産自動車), 小山修朋(日産自動車), 朝倉優(本田技研工業), 斎藤秀和(本田技術研究所), 田淵光(マツダ), 古市哲也(三菱自動車工業), 大滝亮太(ヤマハ発動機), 水嶋徹(ライトモビリティ設計), 狩野芳郎(神奈川工科大学), 中西利明(ボランティア), 森修一(ボランティア), 竹田修太(SUBARU), 加藤雅子(コマツ), 瀬田恭平(コマツ), 堀内敦司(スズキ), 中村錠治(デンソー), 國司和浩(トヨタ自動車), 何特(日産自動車), 張海鵬(日産自動車), 井上景介(日産自動車), 沢里翔太(日産自動車), ジンユンヒ(日産自動車), 林英範(日産自動車), 梶澤明(本田技研工業), 金澤恵介(マツダ), 佐伯一(三菱自動車工業), 堀居直幸(三菱自動車工業)

(2022年7月現在)

大会スポンサー一覧

Sponsors

■ SSクラス

トヨタ自動車

■ Sクラス

日産自動車
本田技研工業
スズキ
マツダ
三菱自動車工業
日立金属

■ Aクラス

SUBARU
コマツ
ボッシュ
タマディック
NOK
童夢
MathWorks Japan
アイシン
いすゞ自動車
エッチ・ケー・エス
カワサキモーターズ
古山精機
鷲宮製作所
ダイハツ工業
デンソー
東芝デバイス&ストレージ
日本精工
バーソルR&D
日立Astemo
ブローゼジャパン
ホンダテクノフォート
ヤマハ発動機
ローム

■ Bクラス

オサダ
大和化成工業
プレス工業
図研
ディクセル
市光工業
プライムアースEVエナジー
AB Dynamics
BBSジャパン
dSPACE Japan
SIEMENS
TOYO TIRE
アディエント
アドヴィックス
アネブル
アルテアエンジニアリング
安全自動車
イグス
インターステラテクノロジズ
エイチワン
エクセディ
榎本機工
エフ・シー・シー
オートテックジャパン
オートリブ
小野測器
キグナス石油

協和工業
神戸製鋼所
サトーパーツ
三五
信濃機販
住友電装
積水化成工業
ソニーセミコンダクタソリューションズ
タダノ
ティ・エス テック
ティエムシー
東京アールアンドデーグループ
東レ・カーボンマジック
トヨタ自動車東日本
トヨタ車体
日産車体
ニフコ
日本自動車研究所
ニッパツ
ボルグワーナー・モールシステムズ・ジャパン
マーレジャパン
マテックス
マツダE&T
マレリ
ミクニ
三ツ星ベルト
矢崎総業
ユニバンス
ヨロス
日野自動車

■ Cクラス

豊田自動織機
ユニプレス
NSKワーナー
日本自動車部品工業会
ブリッド
DMG森精機
GSユアサ
IPS PLIERS
SCSK
UACJ
青山製作所
いすゞ中央研究所
イワフジ工業
ヴィテスコ・テクノロジーズ・ジャパン
ウメトク
岡谷鋼機
オリジン
カナデン
河村工機製作所
キャタラー
クボタ
国営アルミ製作所
山王テック
榛葉鉄工所
住友ゴム工業
センサータ・テクノロジーズ・ジャパン
タイコ エレクトロニクス ジャパン
ディーブステージ
デンソーテクノ
東海理化
豊田合成
トヨタモビリティパーツ 静岡支社
日産オートモーティブテクノロジー

日清紡ブレーキ
日本トムソン
日本ミシュランタイヤ
バーチャルメカニクス
日野ヒューテック
深井製作所
ブリヂストン
ヘンミ計算尺
堀場製作所
マグナ・インターナショナル・ジャパン
松井製作所
松井製作所ウラワ産業事業部
モビテック
ヤナセ
ヤマハモーターエンジニアリング
ヤマハモーターパワープロダクツ
ヤンマーホールディングス
ユタカ技研
レアーズ

■ Dクラス

HILLTOP
SGLカーボンジャパン
SOKEN
WADA WELDING
アイシン高丘
いすゞエンジニアリング
エヌアイシ・オートテック
大野ゴム工業
岐阜車体工業
国本工業
サンキン
シーシーアイ
スカイ
鈴与グループ
セキソー
大同メタル工業
大豊工業
高砂製作所
高橋工機
ダッド
トリニティ工業
西川ゴム工業
ニチリン
日本精機
日本特殊陶業
袋井商工会議所
マツモトセイコー
三菱自動車エンジニアリング
ミヤコ自動車工業
ヤシカ車体
横浜ゴム

■ Eクラス

法多山名物だんご企業組合

■ 協力

大塚製薬
小野測器
静岡県小笠山総合運動公園
中東遠総合医療センター
日本大学理工学部
プロトラッド
落雷抑制システムズ

『学生フォーミュラ日本大会2022』YouTube番組サポーター

トヨタ自動車
日産自動車
本田技研工業
オートテックジャパン
スズキ
日本工業大学



第20回 学生フォーミュラ 日本大会 2022

(2022年7月現在)

大会ヒストリー

History of Competition



2000年合同チームの車両



2001年トライアルイベント

大会開催の経緯

1997年4月、自動車技術会関東支部の学生自動車研究会に「Challenge! Formula SAE®」プロジェクトが発足し、1998年4月に5大学1高専の合同チームによる「Challenge! NIPPON」チームが発足し、2000年5月のFormula SAE® ※1へアジアから初参戦し、参加104チーム中28位の成績で新人賞を受賞した。

国内では、日本大会開催に向けたトライアルイベントが、2001年9月23・24日にツインリンクもてぎで開催された。

2003年3月10・11日、ツインリンクもてぎにて関東支部主催の試走会が開催され8チームの参加と見学参加に訪れた大学を含め24大学、総勢約400名による盛大なものとなった。そして、2003年9月、「第1回全日本学生フォーミュラ大会」が開催された。

※1 Formula SAE®

Formula SAE® は1981年から「ものづくりによる実践的な学生教育プログラム」としてアメリカでスタートしました。学生のみで組織されたチームが、約1年間でフォーミュラスタイルのレーシングマシンを製作し、その設計・製作能力、製作したマシンの性能を競う総合競技です。第1回大会では僅か6チームで開催されましたが、現在、Formula SAE シリーズとして世界8カ国で10大会が開催されています。日本も2012年にシリーズへ加入し、2013年より正式にシリーズ大会として位置づけられます。

大会実績	参加チーム数 参加者数	優勝	第2位	第3位	
第1回大会 2003/9/10-12 富士スピードウェイ	17 約1,200名	上智大学	国士舘大学	東京大学	☆産学官、メディアなど各方面から賛辞をいただき、今後の発展を大いに期待される ☆NHK「おはよう日本」で会場から生中継 ☆FISITA (国際自動車技術会連盟) が後援になり、FISITA賞を設定
第2回大会 2004/8/30-9/2 ツインリンクもてぎ	28 (うち海外3) 約1,500名	University of Texas at Arlington	神奈川工科大学	国士舘大学	☆経済産業大臣賞が設定される。大会プログラムに文部科学省メッセージを掲載 ☆海外チーム3校(米、英、韓)の受け入れに成功し、今後の国際化への基礎固めができた
第3回大会 2005/9/6-9 富士スピードウェイ	41 (うち海外1) 約1,800名	金沢大学	神奈川工科大学	国士舘大学	☆参加チームの急増(四国、九州から初参加) ☆読売新聞が大会の様子を1面で紹介
第4回大会 2006/9/13-16 エコパ	50 (うち海外4) 約2,000名	上智大学	名古屋大学	University of Michigan-Ann Arbor	☆静岡県知事賞が設定される ☆第1回 FISITA Formula SAE World Cupをエコパで開催(学生フォーミュラ初の国際大会)
第5回大会 2007/9/12-15 エコパ	59 (うち海外4) 約3,000名	上智大学	国士舘大学	金沢大学	☆上智大学2連覇 ☆北海道、東北から初参加 ☆参加者の急増(地元向け企画、物産展設置) ☆上智大学 副賞(レノボ賞)として北京オリンピック長野聖火リレーを走る
第6回大会 2008/9/10-13 エコパ	77 (うち海外15) 約3,000名	上智大学	東京大学	金沢大学	☆国土交通大臣賞が設定される ☆上智大学3連覇(オーストラリア大会でも3位入賞) ☆海外参加チームの急増(インド、イラン、スリランカ、タイ、中国から初参加) ☆事前提出書類による書類選考を実施(本大会参加66チーム)
第7回大会 2009/9/9-12 エコパ	80 (うち海外12) 約3,205名	東京大学	上智大学	横浜国立大学	☆東京大学初優勝 ☆専門学校チームの増加(6チームのうち初参加3チーム) ☆フォーミュラEV(電気自動車)デモ走行
第8回大会 2010/9/7-11 エコパ	85 (うち海外10) 約3,169名	大阪大学	上智大学	横浜国立大学	☆本大会参加出場枠を75チームまで拡大 ☆シェイクダウン証明書提出を義務化 ☆フォーミュラEV(電気自動車)デモ走行、模擬車検実施
第9回大会 2011/9/5-9 エコパ	87 (うち海外14) のべ約9,593	上智大学	横浜国立大学	大阪大学	☆掛川市、袋井市が後援となる ☆2011全日本学生フォーミュラEVデモ大会併催(模擬車検、静的模擬審査、動的デモ走行実施)
第10回大会 2012/9/3-7 エコパ	82 (うち海外13) のべ約10,222名	京都工芸繊維大学	大阪大学	同志社大学	☆京都工芸繊維大学初優勝。上位3チームを関西勢が占める ☆2012全日本学生フォーミュラEVプレ大会開催 ☆静岡県主催イベント「まるごとしずおか」併催
第11回大会 2013/9/3-7 エコパ	86 (うち海外12) のべ約12,871名	京都大学	大阪大学	同志社大学	☆京都大学初優勝 ☆EVクラス設定(EV本大会開催) ☆土曜日開催(エンデュランスファイナル、公開プレゼン実施)
第12回大会 2014/9/2-6 エコパ	96 (うち海外21) のべ約14,564名	名古屋大学	京都大学	同志社大学	☆名古屋大学初優勝 ☆大会の発展に寄与された元スタッフに運営功績感謝状を贈呈
第13回大会 2015/9/1-5 エコパ	90 (うち海外15) のべ約15,193名	Graz University of Technology	京都工芸繊維大学	名古屋工業大学	☆11年ぶりの海外チーム優勝 ☆エコバスタジアムをピットとして活用

大会実績	参加チーム数 参加者数	優勝	第2位	第3位	
第14回大会 2016/9/6-10 エコパ	106 (うち海外31) のべ約18,071名	京都工芸 繊維大学	横浜国立大学	名古屋工業 大学	☆4年ぶり2度目の京都工芸繊維大学優勝。総合スコア2位の横浜国立大学との差は僅か「1ポイント未満」 ☆岩手連合チーム、参加2年目にしてEVクラス初優勝
第15回大会 2017/9/5-9 エコパ	98 (うち海外24) のべ約18,832名	京都工芸 繊維大学	芝浦工業大学	名古屋工業 大学	☆京都工芸繊維大学が連覇優勝。2位芝浦工業大学を総合60ポイント以上引き離す。 ☆EVクラスでは名古屋大学が総合成績でも第4位となりEVチームの過去最高の総合成績となる。
第16回大会 2018/9/4-8 エコパ	98 (うち海外24) のべ約17,605名	大阪大学	京都工芸 繊維大学	名古屋大学 EV	☆台風21号の影響による不安定な天候でスケジュールを大幅変更。 ☆レインコンディションの耐久走行を経て、大阪大学が8年ぶり2度目の総合優勝。 ☆EVクラスでは名古屋大学がクラス優勝を連覇。総合成績も3位と前年を上回り、EVチームとしても過去最高成績となる。
第17回大会 2019/8/27-31 エコパ	98 (うち海外27) のべ約16,332名	名古屋工業 大学	横浜国立大学	名古屋大学 EV	☆名古屋工業大学が、悲願の総合優勝。 ☆EVクラスでは名古屋大学EVが3連覇を達成。
第18回大会 2020/9/8-12 中止	—	—	—	—	—
第19回大会 オンライン開催 (静的審査のみ)	56 (国内チームのみ) のべ約1,211名	神戸大学	大阪大学	京都大学	

第19回 学生フォーミュラ日本大会2021 大会成績

Formula SAE Japan 2021 Overall and Awards

■ 総合成績

- 1位 神戸大学
- 2位 大阪大学
- 3位 京都大学
- 4位 名古屋工業大学
- 5位 千葉大学
- 6位 京都工芸繊維大学
- 7位 岐阜大学
- 8位 名古屋大学 EV
- 9位 新潟大学
- 10位 東京大学
- 11位 名城大学
- 12位 東京農工大学
- 13位 山梨大学
- 14位 日本自動車大学校
- 15位 茨城大学
- 16位 同志社大学
- 17位 豊橋技術科学大学 EV
- 18位 九州工業大学
- 19位 埼玉大学
- 20位 福井大学
- 21位 ホンダテクニカルカレッジ関西
- 22位 群馬大学
- 23位 北海道大学
- 24位 金沢大学
- 25位 山陽小野田市立山口東京理科大学
- 26位 日本大学理工学部
- 27位 東北大学 EV
- 28位 静岡工科自動車大学校
- 29位 帝京大学
- 30位 静岡大学
- 31位 工学院大学
- 32位 東京都市大学
- 33位 日本工業大学
- 34位 トヨタ名古屋自動車大学校
- 35位 神奈川大学 EV
- 36位 富山大学
- 37位 立命館大学
- 38位 静岡理工科大学 EV
- 39位 久留米工業大学
- 40位 大阪工業大学
- 41位 一関工業高等専門学校 / 岩手大学 EV
- 42位 広島工業大学
- 43位 明星大学
- 44位 ものづくり大学 EV
- 45位 九州大学
- 46位 大阪府立大学
- 47位 トヨタ東京自動車大学校 EV
- 48位 神奈川工科大学 EV
- 49位 愛知工業大学
- 50位 早稲田大学
- 51位 摂南大学
- 52位 日産京都自動車大学校 EV
- 53位 東京理科大学
- 54位 専門学校麻生工科自動車大学校
- 55位 福井工業大学
- 56位 鳥取大学
- 57位 上智大学
- 58位 金沢工業大学
- 59位 大阪産業大学
- 60位 崇城大学
- 61位 東京工科大学 EV

■ 総合表彰

●経済産業大臣賞

全ての静的審査に参加し、静的審査の総合得点が最も高いチーム
神戸大学

●国土交通大臣賞

全ての静的審査に参加し、EVクラスで静的審査の総合得点が最も高いチーム
名古屋大学 EV

●静岡県知事賞

車検書類 (SES) 合格評価チームのうち、デザイン審査およびコストと製造審査の総合得点が最も高いチーム
神戸大学

●掛川市長賞

車検書類 (SES) 合格評価チームのうち、デザイン審査の得点が最も高いチーム
名古屋工業大学

●袋井市長賞

デザイン審査とプレゼンテーション審査の総合得点が最も高いチーム
名古屋工業大学

●日本自動車工業会会長賞

全ての静的審査に参加し、書類遅延ペナルティーが無いチーム

(Car# 順)

※書類遅延及びエンデュランス完走後の騒音ペナルティーが無いこと

名古屋工業大学、神戸大学、日本自動車大学校、埼玉大学、千葉大学、山梨大学、名城大学、東京都市大学、工学院大学、岐阜大学、静岡工科自動車大学校、新潟大学、山陽小野田市立山口東京理科大学、東京農工大学、九州工業大学、日本大学理工学部、広島工業大学、帝京大学、群馬大学、東京大学、久留米工業大学、トヨタ名古屋自動車大学校、明星大学、ホンダテクニカルカレッジ関西、北海道大学、豊橋技術科学大学 EV、ものづくり大学 EV、トヨタ東京自動車大学校 EV、神奈川大学 EV
計 29 チーム

●日本自動車部品工業会会長賞

車検書類 (SES) 合格評価の最も高いチームのうち、静的審査の総合得点の最も高いチーム
名古屋工業大学

●ICV 総合優秀賞

全ての静的審査に参加し、ICVクラスで静的審査の総合得点が高いチーム
神戸大学

●EV 総合優秀賞

全ての静的審査に参加し、EVクラスで静的審査の総合得点が高いチーム
名古屋大学 EV

■ 種目別表彰

●デザイン賞

デザイン審査の得点が最も高いチーム

- 1位 名古屋工業大学
- 2位 京都大学
- 3位 千葉大学、名古屋大学 EV

●コスト賞

コストと製造審査の得点が最も高いチーム

- 1位 大阪大学
- 2位 神戸大学
- 3位 同志社大学

●プレゼンテーション賞

プレゼンテーション審査の得点が最も高いチーム

- 1位 岐阜大学
- 2位 神戸大学
- 3位 東京大学

■ 特別表彰

●ルーキー賞

日本大会初参加で静的審査の総合得点が最も高いチーム

ただし、過去の参加から5年以上の未エントリー期間がある場合、本大会では初参加とみなすこととする。

- ICV1位 福井工業大学
EV1位 ものづくり大学 EV

●最軽量化賞

全ての静的審査に参加した最軽量車両のチーム (本大会はデザインドキュメントで審査)

- ICV1位 静岡工科自動車大学校
EV1位 豊橋技術科学大学 EV

●CAE 特別賞

CAE 技術を効果的に活用し効率よく優れたデザインを実現したチーム

- 1位 京都大学
- 2位 名古屋大学 EV
- 3位 豊橋技術科学大学 EV

●ベスト三面図賞

設計行為の集大成である“図面”を通じて審査員に最も多くの情報を的確に伝えたチーム

豊橋技術科学大学 EV

●ベストエアロ賞

レーシングカーとして最も効果的な空力解析及び熱流体解析を行い、実践したチーム

京都大学

●ベストコンポジット賞

軽量化、強度/剛性、見栄え等の観点でレーシングカーとして最も高完成度なコンポジットパーツを実現したチーム

京都大学

●エルゴノミクス賞

レーシングカーとしてのドライビングポジション、ペダルやハンドルの操作性、メーターの視認性など人間的に優れたデザインを実現したチーム

- 1位 京都大学
- 2位 名古屋大学 EV
- 3位 神戸大学

●ベスト車検賞

車検書類 (SES) 合格評価の最も高いチームのうち、静的審査総合得点の高いチーム (1位のみ受賞し、2-3位は目録のみ表彰)

- 1位 名古屋工業大学
- 2位 新潟大学
- 3位 日本自動車大学校

参加チーム【車両スペック】

Team Information (Vehicle Specifications)

Car No	学校名 School Name	ボデーカラー Color(s)	フレーム構造 Frame	ボデー (材) Body-work	サスペンション ①フロント ②リア Suspension ①Front ②Rear	①全長 ②全高 ③ホイールベース ④フロントトレッド ⑤リアトレッド ① Overall Length ② Overall Height ③ Wheelbase ④ Front Track ⑤ Rear Track	①車両質量 (GVM) ②前後重量配分 ③最低地上高 ① Gross Vehicle Mass ② Fr.Rr Weight Dist. ③ Ground Clearance
1	神戸大学 Kobe University	Navy Blue	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-Arm Pull rod ② Double unequal length A-Arm Push rod	① 2845 mm ② 1225 mm ③ 1685 mm ④ 1240 mm ⑤ 1200 mm	① 219 kg ② 44 : 56 ③ 34 mm
2	大阪大学 Osaka University	lime green & black	Carbon monocoque & Steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2875 mm ② 1440 mm ③ 1600 mm ④ 1250 mm ⑤ 1210 mm	① 199 kg ② 45.5 : 54.5 ③ 30 mm
3	京都大学 Kyoto University	Black & Blue	Carbon monocoque & Steel frame	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Upper locking arm and lower A-arm	① 3176 mm ② 1096 mm ③ 1860 mm ④ 1320 mm ⑤ 1320 mm	① 194.6 kg ② 44.5 : 55.5 ③ 20 mm
4	名古屋工業大学 Nagoya Institute of Technology	Black	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2980 mm ② 1180 mm ③ 1650 mm ④ 1300 mm ⑤ 1250 mm	① 173.9 kg ② 47 : 53 ③ 36 mm
5	千葉大学 Chiba University	black	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3144 mm ② 1176 mm ③ 1800 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 209 kg ② 42 : 58 ③ 30 mm
6	京都工芸繊維大学 Kyoto Institute of Technology	blue	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3097 mm ② 1153 mm ③ 1750 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 203 kg ② 45 : 55 ③ 25 mm
7	岐阜大学 Gifu University	Black, blue, orange	Steel space frame	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2983 mm ② 1185 mm ③ 1650 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 220 kg ② 45 : 55 ③ 35 mm
8	新潟大学 Niigata University	Black and Green	Steel tube space frame	Fiber-glass	① Double unequal length A-Arm. Pull rod actuated coil spring and damper ② Double unequal length A-Arm. Pull rod actuated coil spring and damper	① 2900 mm ② 1150 mm ③ 1690 mm ④ 1300 mm ⑤ 1270 mm	① 218 kg ② 49 : 51 ③ 25 mm
9	東京大学 The University of Tokyo	Blue/ White/ Black	steel spaceframe	Fiber-carbon, Aluminum	① Double unequal length A-arm Pull Rod ② De Dion Axle	① 2800 mm ② 1235 mm ③ 1700 mm ④ 1250 mm ⑤ 1200 mm	① 271 kg ② 46 : 54 ③ 50 mm
10	名城大学 Meijo University	electric blue	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2970 mm ② 1200 mm ③ 1630 mm ④ 1300 mm ⑤ 1300 mm	① 175 kg ② 48.5 : 52.5 ③ 25 mm
11	東京農工大学 Tokyo University of Agriculture and Technology	red and white	Steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3081 mm ② 1185 mm ③ 1800 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 220 kg ② 45 : 55 ③ 30 mm
12	山梨大学 University of Yamanashi	Blue	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2907 mm ② 1277 mm ③ 1650 mm ④ 1280 mm ⑤ 1280 mm	① 233.1 kg ② 45 : 55 ③ 30 mm
13	日本自動車大学校 Nihon Automobile College	Blue	Steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-Arm Push rod ② Double unequal length A-Arm Push rod	① 2670 mm ② 1140 mm ③ 1650 mm ④ 1270 mm ⑤ 1266 mm	① 212.5 kg ② 46 : 54 ③ 35 mm
14	茨城大学 Ibaraki University	Red, White, Black	Steel Spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2635 mm ② 1095 mm ③ 1720 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 194.6 kg ② 48 : 52 ③ 47 mm
15	同志社大学 Doshisha University	Blue & White	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2985 mm ② 1239 mm ③ 1650 mm ④ 1300 mm ⑤ 1270 mm	① 225 kg ② 47 : 53 ③ 30 mm
16	九州工業大学 Kyushu Institute of Technology	Red	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-Arm Push rod ② Double unequal length A-Arm. Push rod	① 2978 mm ② 1151 mm ③ 1720 mm ④ 1300 mm	① 226 kg ② 42 : 58 ③ 50 mm
17	埼玉大学 Saitama University	Green	steel spaceframe	CFRP	① Double wishbone. Unequal length A-Arm. Pull rod. ② Double wishbone. Unequal length A-Arm. Pull rod.	① 2717 mm ② 1106 mm ③ 1810 mm ④ 1230 mm ⑤ 1230 mm	① 220 kg ② 40 : 60 ③ 42 mm
18	福井大学 University of Fukui	orange	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2768 mm ② 1183 mm ③ 1800 mm ④ 1240 mm ⑤ 1240 mm	① 240 kg ② 43 : 57 ③ 30 mm
19	ホンダテクニカルカレッジ関西 Honda Technical College Kansai	Blue	Aluminum and Steel tube space frame	GFRP 2ply (Master model shaped by clay)	① Unequal length A-arm Push rod ② Unequal length A-arm Pull rod	① 2475 mm ② 1236 mm ③ 1530 mm ④ 1310 mm ⑤ 1300 mm	① 189 kg ② 48 : 52 ③ 40 mm
20	群馬大学 Gunma University						
21	北海道大学 Hokkaido University	green and black	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2974 mm ② 1247 mm ③ 1800 mm ④ 1300 mm ⑤ 1300 mm	① 233 kg ② 45 : 55 ③ 35 mm

※このデータは7/7現在のものです。

ホイール & タイヤ Wheels & Tires	①エンジン型式 ②排気量 ③最高出力 ④最大トルク ①Engine ②Displacement ③max. power ④max.torque	吸気タイプ 燃料タンク容量 Induction type Fuel tank Volume	変速機、シフト Shifter	ファイナルドライブ&デフ Final Drive & Differential	ブレーキ ①フロント ②リア Brakes ① Front ② Rear	特徴、その他 Unique Features & Notes
10 inch Keizer 16.0×7.5-10 R25B Hoosier Bias	① Kawasaki ZX-6R ② 636 cc ③ 77 ps/12000 rpm ④ 5.3 kgf/8500 rpm	Naturally aspirated 4.2 L	Manual	Chain Drive FCCTRAC	① 2outboard ② 2outboard Willwood calipers	
10 inch OZ Hoosier LC0 Fr 16.0×6.0-10 Rr 16.0×7.5-10	① ZX636EE ② 636 cc ③ 58.9 kW/10500 rpm ④ 56.7 Nm/9000 rpm	Naturally aspirated 4.7 L	Pneumatic shifter auto rev matching	Chain & Mechanical clutch	① 2 outboard ② 2 outboard Wilwood calipers	Electric Throttle Control, Auto-Blipping Clutchless Shifter, Adjustable LSD
10 inch Douglas ATV 18.0/6.0-10 Hoosier LC0	① Kawasaki 2BL-ER650 ② 649 cc ③ 62 PS/8500 rpm ④ 6.0 kgf/6500 rpm	Naturally aspirated 4.0 L	Semi-automatic	Shaft Drive & ATS LSD	① 2 outboard Frando Calipers ② 2 outboard Willwood Calipers	Seamless Transmission, Electronic Throttle Control
10 inch BRAID 18×7.5-10 R20 Hoosier	① YAMAHA YZ450F J345E ② 470 cc ③ 59 ps/9400 rpm ④ 5.4 kgf/6500 rpm	Naturally aspirated 3.7 L	Manual	Shaft drive & LSD (DREXLER)	① 2 outboard Wilwood Calipers ② 2 outboard Wilwood Calipers	High down force and Light weight Vehicle
10 inch Briad Light Alloy 18.0×7.5-10 R25B Hoosier 16.0×7.5-10 R25B Hoosier	① YAMAHA YZF-R6 4 cylinder ② 599 cc ③ 58.5 ps/10000 rpm ④ 56.1 Nm/8600 rpm	Naturally aspirated 3.8 L	Manual	Chain Drive DRXELER L.S.D.	① NISSIN 2RM-15-13, fai15.9 ② NISSIN 2RM-15-13, fai14.0,	Two Pedals /Side Wing
Magnesium, 22.0 mm offset, Forging OZ Racing 18×6.0-10 LC-0 Hoosier	① YAMAHA MT-07 ② 688 cc ③ 52.5 kW 8500 rpm ④ 67.0 Nm 6000 rpm	NA 4.0 L	Manually acuated Hand-Paddle/cable and linkage, frame mount	Chain Drive Clutch type Drexler LSD	① 2 outboard Team Original ② 2 outboard Team Original	Carbon Steering Wheel
10 inch Braid TENRACE +FSAE, 16×7.5-10 Hoosier R20	① GSX-R600 L9 ② 599 cc ③ 44 kW/9000 rpm ④ 54 Nm/7000 rpm	Naturally aspirated 4.9 L	Manual, Electric Shifter	Shaft Drive & FCCTRAC	① 2 outboard Wilwood calipers ② 2 outboard Wilwood calipers	① Launch control ② Paddle shifters ③ Full set of aerodynamic package
10 inch ENKEI SF-01 16.0×6.0-10 Hoosier	① SUZUKI GSX-R600 (L5) ② 599 cc ③ 69.4 ps/10,163 rpm ④ 5.4 kgf/9402 rpm	Naturally aspirated 6.5 L	Manual	Chain drive & F.C.C. TRAC	① NISSIN, Dual piston, 27 mm dia., ② NISSIN, Dual piston, 27 mm dia.,	Equipped with wings
13- inch OZ Aluminum wheel, Hoosier R25B 13"-20.5×7.0	① SUZUKI P506 Skywave LX650 ② 638 cc ③ 70 ps/7500 rpm ④ 8.0 kgf/5000 rpm	Single Turbocharger 6.0 L	Electrical Controlled CVT	Limited Slip Differential Unit	① 2 outboard ② 2 outboard Hitachi Astemo calipers	Side Engine Rayout
10 inch Hoosier R25B 130/430-11 DUNLOP Bias	① YAMAHA YZ450 ② 498 cc ③ 42.7 ps/8000 rpm ④ 4.76 kgf/6100 rpm	Naturally aspirated 3.5 L	Manual	ShaftTorsen	① 2 outboard Wilwood caliper ② 2 outboard Nissin calipers	1 [ply] GFRP Body, embrella®
10 inch KAIZER 18.0×6.0-10 Hoosier Racing Tire	① PC40E HONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 43 ps/8700 rpm ④ 5.6 kgf·m/5300 rpm	Naturally aspirated 6.4 L	Manual	Chain drive Sure trac LSD	① 1 outboard ② 1 outboard Nissin calipers	
17 inch O.Z. 17" Magnesium Wheel 20.5×7.0-13 R20 Hoosier	① P515SUZUKI V-Strom650 ② 645 cc ③ 66 ps/8,800 rpm ④ 6.0 kgf/6,500 rpm	Naturally aspirated 4.3 L	Manual	Shaft Drive & F.C.C TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Front Foop is made of abended square pipe
10 inch O.Z. 16.0×7.5-10 Hoosier	① M409E YAMAHA MT-07 ② 688 cc ③ 49.5 kW/8535 rpm ④ 55.4 Nm/7050 rpm	Naturally aspirated 4.2 L	Electric Shifter	Chain Drive & Drexler Motorsport LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Wilwood calipers	Long Wheelbase and Safety
10 inch Keizer Wheel 16.0×7.5-10 Hoosier R20	① LC4/KTM 690 Duke ② 690 cc ③ 51 kW/8500 rpm ④ 59 Nm/6000 rpm	NA 5.5 L	Manual, Pneumatic Shifter	Chain drive, Drexler LSD	① 2 outboard ② 1 inboard	Drive by Wire
10 inch Keizer 16.0×7.5-10 R20 Hoosier	① ZX636E Kawasaki ZX-6R ② 636 cc ③ 50 kW/8500 rpm ④ 59.6 Nm/5500 rpm	Naturally aspirated 4.5 L	Manual	Chain Drive & Rigid Diff	① 2 outboard ② 2 outboard Willwood calipers	No differential gear
Keizer 10 inch Hoosier 18.0×7.5-10i R25B	① Kawasaki ZX636E ② 636 cc ③ 81 ps/14000 rpm ④ 60 Nm/7000 rpm	Naturally aspirated 5.0 L	Manual	Chain Drive & FCC TRAC	① 2 outboard willwood calipers ② 2 outboard willwood calipers	Full aero device
13 inch Oz-Racing Magnesium Hoosier R25B_20.0 7.5-13	① PC40E_HONDA_CBR600RR ② 599 cc ③ 69 ps/10000 rpm ④ 5.7 kgf/9000 rpm	Naturally aspirated 4.5 L	Manual Paddle Shifter	Chain Drive FCC TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Brembo calipers	Two Pedals,Diffuser
13 inch OZ Formula Student 20.5×7.0-13 Hoosier R25B	① Suzuki GSX-R600 ② 599 cc ③ 79.4 ps/9400 rpm ④ 8.0 kgf/8300 rpm	Naturally aspirated 4.5 L	Manual	Chain Drive ATS LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	
10 inch Watanabe 16.0×6.0-10 Hoosier R20	① PE07E HONDA CRF450RX ② 449 cc ③ 21.4 kW/7500 rpm ④ 34.5 Nm/5000 rpm	Naturally aspirated 3.8 L	Manual Sequential shift	Chain Drive F.C.C TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Aluminum tubes pace frame
10 inch ENKEI SF-01 Hoosier R25B 18.0×6.0-10	① PC40E HONDA CBR600RR ② 600 cc ③ 50 ps/9500 rpm ④ 4.9 kgf/6500 rpm	Naturally aspirated 5.2 L	Manual	Chain Drive F.C.C. LSD	① 2 outboard ② 1 inboard Hitachi Astemo calipers	

参加チーム【車両スペック】

Team Information (Vehicle Specifications)

Car No	学校名 School Name	ボデーカラー Color(s)	フレーム構造 Frame	ボデー (材) Body-work	サスペンション ①フロント ②リア Suspension ①Front ②Rear	①全長 ②全高 ③ホイールベース ④フロントトレッド ⑤リアトレッド ① Overall Length ② Overall Height ③ Wheelbase ④ Front Track ⑤ Rear Track	①車両質量 (GVM) ②前後重量配分 ③最低地上高 ① Gross Vehicle Mass ② Fr.Rr Weight Dist. ③ Ground Clearance
22	金沢大学 Kanazawa University						
23	山陽小野田市立山口東京理科大学 Sanyo-onoda City University	Orange	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2618 mm ② 1064 mm ③ 1625 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 196 kg ② 45 : 55 ③ 35 mm
24	日本大学理工学部 CST Nihon University	Black	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double Wishbone Suspension ② Double Wishbone Suspension	① 3055 mm ② 1190 mm ③ 1595 mm ④ 1215 mm ⑤ 1215 mm	① 238 kg ② 50 : 50 ③ 30 mm
25	帝京大学 Teikyo University	white & Blue	steel spaceframe	GFRP	① Double wishbone suspension A-arm Push rod ② Double wishbone suspension A-arm Push rod	① 2904 mm ② 1135 mm ③ 1650 mm ④ 1350 mm ⑤ 1350 mm	① 230 kg ② 50 : 50 ③ 50 mm
26	工学院大学 Kogakuin University	Blue/ Black/ Yellow	steel spaceframe	CFRP, oven	① Double unequal length A-Arm. Push rod actuated spring/damper. Adj. Roll bar. ② Double unequal length A-Arm. Push rod actuated spring/damper. Adj. Roll bar.	① 2840 mm ② 1190 mm ③ 1600 mm ④ 1250 mm ⑤ 1200 mm	① 225 kg ② 48 : 52 ③ 30 mm
27	東京都市大学 Toyko City University	TCU Blue	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2810 mm ② 1170 mm ③ 1700 mm ④ 1320 mm ⑤ 1320 mm	① 230 kg ② 47 : 53 ③ 30 mm
28	日本工業大学 Nippon Institute of Technology	pink	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rods ② Double unequal length A-arm Push rods	① 2625 mm ② 1128 mm ③ 1560 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 205 kg ② 50 : 50 ③ 17 mm
29	トヨタ名古屋自動車大学校 TOYOTA Technical College NAGOYA	White, Blue, Red	steel spaceframe	FRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2950 mm ② 1190 mm ③ 1632 mm ④ 1240 mm ⑤ 1200 mm	① 251.5 kg ② 47 : 53 ③ 48 mm
30	富山大学 University of Toyama	Yellow	Steal apace frame	Fiber-carbon	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3026 mm ② 1179 mm ③ 1700 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 214 kg ② 45 : 55 ③ 30 mm
31	立命館大学 Ritsumeikan University	Red	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2951 mm ② 1130 mm ③ 1700 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 240 kg ② 47 : 53 ③ 35 mm
32	久留米工業大学 Kurume Institute of Technology	White Blue Black	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3000 mm ② 1196 mm ③ 1655 mm ④ 1355 mm ⑤ 1255 mm	① 180 kg ② 45 : 55 ③ 70 mm
33	大阪工業大学 Osaka Institute of Technology	Blue& Black	steel spaceframe	CFRP and GFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3028 mm ② 1222 mm ③ 1720 mm ④ 1240 mm ⑤ 1240 mm	① 180 kg ② 46 : 54 ③ 40m
34	広島工業大学 Hiroshima Institute Technology						
35	明星大学 Meisei University						
36	九州大学 KYUSHU University	wine red	steel spaceframe	GFRP	① Alminium 8spoke ② Alminium 8spoke	① 3050 mm ② 1414 mm ③ 1600 mm ④ 1230 mm ⑤ 1200 mm	① 220 kg ② 45 : 55 ③ 43
37	大阪府立大学 Osaka Prefecture University						
38	早稲田大学 Waseda University	burgundy	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2911 mm ② 1092 mm ③ 1540 mm ④ 1140 mm ⑤ 1090 mm	① 212.5 kg ② 40 : 50 ③ 29.64 mm
39	東京理科大学 Tokyo University of Science	Black and Pink	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length arm Push Rod ② Double unequal length A-arm Push Rod	① 3,150 mm ② 1,206 mm ③ 1,750 mm ④ 1,300 mm ⑤ 1,300 mm	① 218 kg ② 40 : 60 ③ 25 mm
40	麻生工科大学自動車大学校 ASO College of Automotive Engineering and Technology	Candy Blue/ Black	Steel Spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3014 mm ② 1215 mm ③ 1697 mm ④ 1232 mm ⑤ 1225 mm	① 260 kg ② 45 : 55 ③ 45 mm
41	福井工業大学 Fukui University of Technology	Blue	steel spaceframe	FRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2993 mm ② 1110 mm ③ 1714 mm ④ 1204 mm ⑤ 1345 mm	① 250 kg ② 45 : 55 ③ 24 mm
42	鳥取大学 Tottori University						

ホイール & タイヤ Wheels & Tires	①エンジン型式 ②排気量 ③最高出力 ④最大トルク ①Engine ②Displacement ③max. power ④max.torque	吸気タイプ 燃料タンク容量 Induction type Fuel tank Volume	変速機、シフト Shifter	ファイナルドライブ&デフ Final Drive & Differential	ブレーキ ①フロント ②リア Brakes ① Front ② Rear	特徴、その他 Unique Features & Notes
10 inch Keizer 16.0×7.5-10 Hoosier R20	① PC40E HONDA CBR600RR ② 600 cc ③ 75 ps/11500 rpm ④ 5.4 kgf/7000 rpm	Naturally aspirated 4.6 L	Manual	Chain Drive F.C.C TRAC	① 2 opposing piston Nissin calipers ② 2 opposing piston Nissin calipers	
13 inch OZ Racing 20.5×7.0-13 R25 Hoosier Bias	① Yamaha YZF-R6 ② 599 cc ③ 31.7[kW] ④ -	Naturally aspirated 5.7 L	Manual	Chain Drive LSD	Brakes ① 2 outboard ② 2 outboard Brembo calipers	Four-Cylinder Engine
13 inch OZ Racing 20.5×6.0-13 Hoosier	① PC40E HONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 63 ps/9300 rpm ④ 5 kgf/8800 rpm	Naturally aspirated 6.0 L	Manual	Chain	① 1 outboard ② 1 outboard Nissincaliper	
10 inch Kaizer 7J PCD100 4H & Hoosier 18.0×7.5-10 R25B	① Honda CBR600RR PC40E Liquid-cooled 4-stroke 16-valve DOHC ② 599 cc ③ 53.3kW/11033 rpm ④ 52 Nm/7716 rpm	Naturally aspirated 3.5 L	6speed sequentia IMechanical Paddles	Chain Drive & Drexler LSD FS2016	① 2 outboard ② 1 inboard Nissin F4 calipers	Full Aero Device Isometric length Exhaust Manifold
18-7.5-10 R20 Hoosier	① HONDA/2012 CBR600RR PC40E ② 600 cc ③ 61 kW/11500 rpm ④ 52 Nm/11000 rpm	Naturally aspirated 6 L	Manual	Chain Drive CUSCO LSD	① 2 outboard Nissin calipers ② 2 outboard wilwood	Electronic throttle
10 inch BRAID 16×7.5-10R25B Hoosier	① PC44E HONDA CB500F ② 471 cc ③ 47 ps/8500 rpm ④ 4.3 kgf/7000 rpm	Naturally aspirated 3.6 L	Manual	Chain Drive & F.C.C. TRAC	Brakes ① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Parallel Twin Engine, Quick Shifter
13 inch RAYS TE37 & GOOD YEAR EAGLE RS 20×7.0J-13	① M409E YAMAHA MT-07 ② 688 cc ③ 68.5 ps/9000 rpm ④ 6.3 kgf/6500 rpm	Natural Aspiration 5.0 L	Manual	Chain Drive DREXLER LSD	① 2 outboard Nissin calipers ② 1 outboard Nissin calipers	Engine parts improvement Aero parts improvement
10 inch ENKEI SF-01 16×6.0-10 Hoosier LC0	① PC35EHONDA CBR600F4i ② 600 cc ③ 62 ps/9750 rpm ④ 5.4 kgf/7000 rpm	Naturally aspirated 5.7 L	Manual	Chain drive & FCCTRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Front/Rear wing
13 inch O・Z Racing 20.5×7.5-13 R20 Hoosier	① Kawasaki Ninja ZX6R ② 636 cc ③ 81 ps/9000 rpm ④ 6.5 kgf/8500 rpm	Naturally aspirated 5.5 L	Pneumatic paddle shifting	Chain Drive & LSD ATS	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	
10 inch ENKEI SF-01 16.0×6.0-10 R20B Hoosier	① SUZUKI RMX450Z ② 450 cc ③ 40kW/9100 rpm ④ 50 Nm/6500 rpm	Naturally aspirated 4.5 L	Manual	Chain Drive F.C.C LSD	① 2 outboard Nissin calipers ② 2 outboard wilwood-gp200 calipers	
10 inch OZ FSAE MG CAST 7×10 Wheel 16.0×6.0-10 LC0	① Kawasaki KX450JE ② 449 cc ③ 38.3kW/7500 rpm ④ 4.3 kgf/6800 rpm	Naturally aspirated 4.3 L	Pneumatic Shifter	Chain Drive & FCC TRAC	① 2 outboard Willwood calipers ② 2 outboard Willwood calipers	
13 inch DIREZZA 03G	① HONDA CRF450RX ② 499.7 cc ③ 40 ps/8000 rpm ④ 40 Nm/7500 rpm	Naturally aspirated 4 L	Manual	Chain Drive & FCC TRAC	① 2 outboard ② 1 inboard Nissin calipers	Honeycomb IA, Sidepods
13 inch OZ Formula Student Aluminium CL&4H Wheel HOOSIER R20B 20.5×7.5 Radial	① SUZUKI GSX R600 L8 ② 599 cc ③ 43.6 kW/10300 rpm ④ 57.5 Nm/8000	Naturally aspirated 6 L	Manual	Limited Slip Differential	① 2 outboard ② 1 inboard Nissin calipers	Independent Rear Sub Frame
13 inch 205/470R13 Continental	① Honda/CBR600RR PC40E, DOHC 4valve ② 599 cc ③ 65 ps/10,000 rpm ④ 5.4/kgf/6000 rpm	Natural Aspiration 4.3 L	Manual	ShaftTorsen	① Inboard ② Outboard Nissin calipers	paddle clutch
13inch RAYS VOLK RACING TE37 20.5×7.0-13 Hoosier	① RC61E HONDA NC700S ② 669 cc ③ 37 kW/6250 rpm ④ 61 Nm/4750 rpm	Naturally aspirated 5.5 L	DCT Electronically controlled shift motor	Chain Drive & cam type torque-sensitive type LSD FCCTRAC	Brakes ① 2 outboard ② 2 outboard	Electronically controlled shift motor
10 inch BRAID 16×6.0-10 LC0 Hoosier	① PC37E HONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 69 ps/11500 rpm ④ 5.2 kgf/7500 rpm	Naturally aspirated 4.6 L	Manual	Chain drive & F.C.C. TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	

参加チーム【車両スペック】

Team Information (Vehicle Specifications)

Car No	学校名 School Name	ボデーカラー Color(s)	フレーム構造 Frame	ボデー (材) Body-work	サスペンション ①フロント ②リア Suspension ①Front ②Rear	①全長 ②全高 ③ホイールベース ④フロントトレッド ⑤リアトレッド ①Overall Length ②Overall Height ③Wheelbase ④Front Track ⑤Rear Track	①車両質量 (GVM) ②前後重量配分 ③最低地上高 ①Gross Vehicle Mass ②Fr.Rr Weight Dist. ③Ground Clearance
43	金沢工業大学 Kanazawa Institute of Technology	Black	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3043 mm ② 1209 mm ③ 1630 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 240 kg ② 47 : 53 ③ 40 mm
44	大阪産業大学 Osaka Sangyo University	red/black/white	steel spaceframe	C.F.R.P. & G.F.R.P.	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3140 mm ② 1114 mm ③ 1750 mm ④ 1300 mm ⑤ 1300 mm	① 240 kg ② 48 : 52 ③ 20 mm
45	崇城大学 Sojo University						
46	日本大学生産工学部 College of Industrial Technology, Nihon University	Navy blue	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2627 mm ② 1271 mm ③ 1610 mm ④ 1204 mm ⑤ 1228 mm	① 290 kg ② 50 : 50 ③ 40 mm
47	近畿大学 Kindai University	Black White Navy Blue	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2535 mm ② 1145 mm ③ 1600 mm ④ 1182 mm ⑤ 1182 mm	① 293 kg ② 45 : 55 ③ 90 mm
48	ホンダテクニカルカレッジ関東 Honda Technical College Kanto	White, Red, Black	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-Arm Push rod ② Double unequal length A-Arm Push rod	① 2695 mm ② 1155 mm ③ 1700 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 182 kg ② 48 : 52 ③ 28 mm
49	岡山大学 Okayama University						
50	芝浦工業大学 Shibaura Institute of Technology	Black & Yellow	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2763 mm ② 1200 mm ③ 1570 mm ④ 1060 mm ⑤ 1060 mm	① 202 kg ② 43 : 57 ③ 30 mm
51	東京都立大学 Tokyo Metropolitan University	Black	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Direct acting ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2867 mm ② 1232 mm ③ 1640 mm ④ 1225 mm ⑤ 1205 mm	① 258 kg ② 49 : 51 ③ 3 mm
52	北九州市立大学 The University of Kitakyushu	Green & White	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2870 mm ② 1233 mm ③ 1700 mm ④ 1430 mm ⑤ 1385 mm	① 260 kg ② 43 : 57 ③ 100 mm
53	東海大学 Tokai University	Blue	Composite Monocoque	CFRP honeycomb sandwich panel	Double unequal length A-Arm Push rod	① 3032 mm ② 1190 mm ③ 1700 mm ④ 1270 mm ⑤ 1250 mm	① 210 kg ② 47 : 53 ③ 35 mm
54	国士舘大学 Kokushikan University						
55	西日本工業大学 NISHINIPPON INSTITUTE OF TECHNOLOGY	light blue/black	steel spaceframe	FRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2835 mm ② 1210 mm ③ 1700 mm ④ 1230 mm ⑤ 1250 mm	① 300 kg ② 40 : 60 ③ 80 mm
Car No	学校名 School Name	ボデーカラー Color(s)	フレーム構造 Frame	ボデー (材) Body-work	サスペンション ①フロント ②リア Suspension ①Front ②Rear	①全長 ②全高 ③ホイールベース ④フロントトレッド ⑤リアトレッド ①Overall Length ②Overall Height ③Wheelbase ④Front Track ⑤Rear Track	①車両質量 (GVM) ②前後重量配分 ③最低地上高 ①Gross Vehicle Mass ②Fr.Rr Weight Dist. ③Ground Clearance
E1	名古屋大学 Nagoya University	White	Composite Monocoque	Carbon Sheet, Alminum H/C	① Double A-Arm, Push rod, Coil-spring and Oil-damper, ARB ② Double A-Arm, Push rod, Coil-spring and Oil-damper, ARB	① 3054 mm ② 1209 mm ③ 1530 mm ④ 1225 mm ⑤ 1175 mm	① 230 kg ② 48 : 52 ③ 60 mm
E2	豊橋技術科学大学 Toyohashi University of Technology	black	Composite Monocoque	CFRP honeycomb sandwich panel	① Double unequal length A-arm Pull rod with stabilizer ② Double unequal length A-arm Push rod with stabilizer	① 3156.4 mm ② 902.5 mm ③ 1800 mm ④ 1350 mm ⑤ 1300 mm	① 210 kg ② 41 : 59 with driver ③ 40 mm with driver
E3	東北大学 Tohoku University	purple white black	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2704 mm ② 1179 mm ③ 1650 mm ④ 1300 mm ⑤ 1280 mm	① 300 kg ② 46 : 54 ③ 40 mm
E4	静岡大学 Shizuoka University	Orange & Black	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2739 mm ② 1396 mm ③ 1830 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 282.7 kg ② 38 : 62 ③ 40 mm
E5	神奈川大学 Kanagawa University						

ホイール & タイヤ Wheels & Tires	①エンジン型式 ②排気量 ③最高出力 ④最大トルク ①Engine ②Displacement ③max. power ④max.torque	吸気タイプ 燃料タンク容量 Induction type Fuel tank Volume	変速機、シフト Shifter	ファイナルドライブ&デフ Final Drive & Differential	ブレーキ ①フロント ②リア Brakes ① Front ② Rear	特徴、その他 Unique Features & Notes
13 inch TWS Mg Wheel 20.5×7.0-13 R25B Hoosier	① SUZUKI GSX-R600 ② 599 cc ③ 71.1 ps/10800 rpm ④ 58.9 Nm/9600 rpm	Naturally aspirated 5.0 L	Manual	Chain Drive, F.C.C.TRAC, LSD	① 2 outboard Wilwood calipers ② 2 outboard Wilwood calipers	Full Aero Device
10 inch Keizer 20.5× 7.5-10 Hoosier Bias	① Kawasaki ZX636EE ② 636 cc ③ 65 ps/9800 rpm ④ 5.5 kgf/7900 rpm	Naturally aspirated 3.8 L	Manual, Electric actuuated	Chain Drive & FCCTRAC limited slip	① 2 outboard Disk ② 2 outboard Disk	
13 inch OZ Racing 175/60-13 DUNLOP DIREZZA03G 20.5× 7.0-13 R25B Hoosier	① PE07E HONDA CRF450RX ② 449 cc ③ 49 ps/9000 rpm ④ 4.2 kgf/5500 rpm	Naturally aspirated 3.6 L	Manual	Chain Drive F.C.C. LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	
13 inch RAYS Volk TE37 20.5/7.0-13 Hoosier R25B	① Kawasaki Motors/ER650HHF ② 649 cc ③ 68 ps/8000 rpm ④ 6.6 kgf/6500 rpm	Naturally aspirated 5 L	Manual	torque sensitive limited slip defferential	① 2 outboard ② 2 inboard Nissin calipers	
10 inch OZ Racing Magunesium Wheel Hoosier 16.0×7.5-10	① PE07HONDA CRF450R ② 450 cc ③ 55.7 ps/9000 rpm ④ 5.12 kgf/6500 rpm	3.88 L	Manual Paddle Shifter	Chain Drive DRXELER LSD	① 2 outboard ② 1 inboard AP racing calipers	
10 inch Enkei SF-01 175/414 R10 Hoosier LCO	① HONDA CBR600RR PC40E ② 599 cc ③ 63.8 ps/9800 rpm ④ 5.1 kgf/7500 rpm	Naturally aspirated 5.0 L	Manual	Chain drive spool	① 2 outboard ② 2 outboard Willwood calipers	Air Shifter
13 inch RAYS TE37 20.5×7.0-13 Hoosier R20	① PC40E HONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 70 ps/11000 rpm ④ 5.4 kgf/9000 rpm	Naturally aspirated 5.3 L	Manual	Chain Drive F.C.C TRAC LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	
13 inch OZ Formula Student DUNLOP SLICK Radial 190/50SR13 13 inch RAYS TE37 DUNLOP DIREZZA 03G 175/60R13	① ER650H Kawasaki Z650 ② 649 cc ③ 54 ps/7800 rpm ④ 5.5 kgf	Naturally aspirated 3.5 L	Manual	Chain Drive F.C.C.TRAC, LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	
10 inch OZ Racing Fomula Student Magnesium CL wheel 16.0×6.0-10 Hoosier LCO	① Suzuki SV650 ② 650 cc ③ 55 kW/9000 rpm ④ 63.5 Nm/6000 rpm	Naturally aspirated 4.7 L	Pneumatic Shifter	Shaft Drive & DREXLER Motorsports LSD	① 2 outboard AP Caliper ② 2 outboard AP Caliper	Paddle Shift System Elected Clutch System
14 inch 165/155-14 DUNLOP	① UA-MC22S K6A ② 658 cc ③ 54 ps/65003 rpm ④ 6.4 kgf/3500 rpm	Naturally aspirated 5.0 L	Manual	SUZUKI MC22S	① SUZUKI MC22S ② SUZUKI MC22S	
ホイール & タイヤ Wheels & Tires	①モータ型式、型番、個数 ②定格出力(連続)[kW] ③最高出力[kW] ④最大トルク[Nm] Motor Specification ① Motor Type, Model Number, the Number of motors ② Continuous rated power [kW] ③ Peak power [kW] ④ Maximum torque [Nm]	①バッテリーの種類 ②公称電圧/最大電圧 ③公称容量 Battery specification ①Type/Un. Load vol. (battery set) ②Nominal voltage/ Highest voltage (V-Assembled battery) ③Nominal capacity (Ah-Ki) ④Assembled battery	変速機、シフト Shifter	ファイナルドライブ&デフ Final Drive & Differential	ブレーキ ①フロント ②リア Brakes ① Front ② Rear	特徴、その他 Unique Features & Notes
10 inch, 7 inch wide O.Z Racing, Magnesium/18.0×7.5- 10, R25B, Hoosier	① 3 Phase AC Synchronous motor, AMK/DD5-14-10-POW, 4 個 ② 15[kW] ③ 32[kW] ④ 21[Nm]	① Li-Po ② 525.4V/596.4V ③ 5.2kWh/10Ah	N/A	All Wheel Drive	①② Aluminum casting, 22-048, ISR, φ25 mm, opposed 4 piston, Radial mount	Direct Yaw-momnet Control, Traction Control, Carbon Monocoque
16x6.0-10 R20 Hoosier Racing Tire	① Permanent magnet synchronous, EMRAX 188, 2 unit ② 14.4 kW/Unit ③ 40 kW/Unit ④ 90 Nm	① Li-Po ② 400 V/450 V ③ 6.4 kWh/16 Ah	N/A	Planetary Gear	① 2 outboard ② 2 outboard Brembo Calipers	
13 inch OZ racing Aluminum 20.5/7.0-13 Hoosier R25B	①永久磁石同期モーター(ブラシレス), 41201WV5C- 0000, 1 個 Permanent magnet synchronous (Non brush), 41201-WV5C-0000, 1unit ② 26[kW] ③ 54[kW] ④ 146[Nm]	① Li-ion ② 243.2V/262.4V ③ 7.3 kWh/30Ah	N/A	Planetary Gear	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Twin Motor/torque vectring system
10 inch ENKEI Wheel Hoosier LCO 18.0× 6-10	① IPMSM, 50 kW proto, 1 個 IPMSM, 50 kW proto, 1unit ② 30[kW] ③ 50[kW] ④ 70[Nm]	① Li-Po ② 403V/355V ③ 7.8kWh/22.0Ah	N/A	Shaft Drive & F.C.C TRAC	① 2 outboard AP racing calipers ② 2 outboard AP racing calipers	EV first year/Long Wheelbase

参加チーム【車両スペック】

Team Information (Vehicle Specifications)

Car No	学校名 School Name	ボデーカラー Color(s)	フレーム構造 Frame	ボデー (材) Body-work	サスペンション ①フロント ②リア Suspension ①Front ②Rear	①全長 ②全高 ③ホイールベース ④フロントトレッド ⑤リアトレッド ① Overall Length ② Overall Height ③ Wheelbase ④ Front Track ⑤ Rear Track	①車両質量 (GVM) ②前後重量配分 ③最低地上高 ① Gross Vehicle Mass ② Fr.Rr Weight Dist. ③ Ground Clearance
E6	静岡理科大学 Shizuoka Institute of Science and Technology	Leyton Blue & Black	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3037 mm ② 1112 mm ③ 1700 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 236 kg ② 45 : 55 ③ 45 mm
E7	ものづくり大学 Institute of Technologists						
E8	トヨタ東京自動車大学校 Toyota Technical College Tokyo	White Black Red	Steel Space Flame	GFRP, Laminationl	①不等長 A アームブッシュロッド ②不等長 A アームブッシュロッド	① 2755 mm ② 1140 mm ③ 1750 mm ④ 1360 mm ⑤ 1360 mm	① 408 kg ② 42 : 58 ③ 52.9 mm
E9	神奈川工科大学 Kanagawa institute of technology	Red	steel spaceframe	Glass Fiber Reinforced Plastics	① Double wishbone, Push rod ② Parallel link, Push rod	① 2680 mm ② 1135 mm ③ 1600 mm ④ 1140 mm ⑤ 1085 mm	① 220 kg ② 42 : 58 ③ 32 mm
E10	愛知工業大学 Aichi Institute of Technology	black	steel spaceframe	CFRP	① Double Unequal Length A-Arm. Push Rod Actuated Spring/Dunper ② Double Unequal Length A-Arm. Push Rod Actuated Spring/Dunper	① 2700 mm ② 1260 mm ③ 1562 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 280 kg ② ③ 30 mm
E11	日産京都自動車大学校 Nissan Automobile Technical College Kyoto	White	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-armPush rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2984 mm ② 1171 mm ③ 1830 mm ④ 1589 mm ⑤ 1590 mm	① 318Kg ② 46-54 ③ 33.67 mm
E12	上智大学/青山学院大学 Sophia University/Aoyama Gakuin University						
E13	東京工科大学 Tokyo University of Technology						
E14	横浜国立大学 Yokohama National University						

参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

注) [CP] チームキャプテン [FA] ファカルティアドバイザー [SFA] サブファカルティアドバイザー [MBR] チームメンバー ※このデータは7/7現在のものです。

1 神戸大学 Kobe University

●メンバー

[CP] 辻佑介, [FA] 浅野等, [MBR] 宮谷洸気, 松田光, 奥田珠貴, 村田康貴, 横山昂佑, 露口陽輝, 福田宙, 三島玲花, 芝野乃花, 井上愛理, 森田航, 坂本虎太郎, 手塚隆太郎, 寺西智亮, 笹倉みらの, 室谷匠, 野口侃輝, 西永奈生, 石倉拓真, 河田爽, 塚本麻暉, 池田智哉, 本田蘭, 荒田祐希

●車の特徴とチームの抱負

今年度は、昨年度車両の素性の良さはそのままに、さらなる信頼性・整備性・製作性の向上をコンセプトに掲げ、昨年度車両のブラッシュアップを行いました。熟成を重ねたマシンで、2連覇目指して頑張ります！

●スポンサー

IDA, 葵工機, 明石発動機工作所, アネブル, アルテアエンジニアリング, アルバック機工, 石原ラジエーター工業所, IPCO, 岩井木型製作所, Ins-R, ウィングオート, EXEDY, NTN, FCC, 岡山国際サーキット, CARVEK, 川崎重工工業, キノクニエータープライズ, Cast, KYOWA, KTC, KTCM, 工作技術センター, 神戸製鋼所, southco, 佐藤精機, X.A.M, 住友ゴム工業, 住友電工ハードメタル, 住友電装, 摂津金属工業所, Solid Works, D.I.D, ダイヘン, THK, DMG森精機, DIC, DENSO, デンソーテン, ナイス, ナガセケムテックス, NagaseNeElex, 西尾レントオール, 日信工業, NICHIRIN, NIFCO, 日本インシュレーション, 日本エア・リキード合同会社, 日本発条, ニュースカンパニー, ツルガ(ネジクル), HI-LEX, 日立金属株式会社, フジ化成工業, MathWorks, 丸紅情報システムズ, ミスミ, MinebeaMitsumi, ロックベイント, ヤマトプロテック, 和光ケミカル



2 大阪大学 Osaka University

●メンバー

[CP] 鈴木統也, [FA] 石原尚, [SFA] 泉太悟, 三宅陽治, [MBR] 新宮義規, 高田裕佳, 松元開, 松本優作, 山根駿, 黒石憩, 堅山翔大, 田上貴太, 東良航太, 河野純大, 高岡竜翔, 田中航平, 佐野悠介, 今村和輝, 野口竜作, 中田修斗, 篠崎裕希, 齋庭遼太郎, SONG JUNGIL, 池田匠, 中野星七, 久木原優真

●車の特徴とチームの抱負

私達は「Turn 4 accelの深化」をコンセプトに、素早い加速と回頭性を実現する車両の開発を目指しました。静的審査では更なる質の向上による得点アップを狙います。今年こそは総合優勝を達成すべく、全力を尽くします。

●スポンサー

ISK, アイシン, IDA, 旭計器, アマゾン, アドヴィックス, アネスト岩田, アルテック, アルトナー, イグス, イシダ, VI-grade, ウエダ, エイエルアイ, EXGEL, エクセディ, 模本機工, 日本オイルポンプ, 日本発条, エヌ・エム・ピー販売, NTN, 江沼チエン製作所, エーピーシー商会, FCデザイン, 大阪大学, 大阪大学フロンティア研究センター事務局, OZ, 大羽精研, 岡村水道ポンプ工業所, オーフ, オキソ, カキモトレーシング, 片木アルミニウム製作所, 川崎重工, 関西イベント, キンパワーツール, キノクニエータープライズ, 協和工業, クボタ, グラファイトデザイン, 呉製作所, 神戸製鋼所, 国営アルミ製作所, コトラ, 小松製作所, サイアノバイネットシステム, ギャム・ジャパン, 三協ラジエーター, 三和製作所, GS YUASA, JVKENWOOD, CKD, 神鋼ノース, 鈴笑, スズキ機工, 住友ゴム工業, 住友電工ハードメタル, 住友電装, センサー・タ, ソダ工業, ソフトウェアクレイドル, SOLIZE, ソリッドワークスジャパン, タイガー製作所, 大成プラス, タイハツ工業, ダイヘン, タイヤボックスUAP, タイヨウ, 武生特殊鋼材, 田中製作所, 津田駒工業, ツルガ, ディクセル, デイシー, デイトナ, デュボン・スタイロ, デリシオーサ, デンソー, 徳源製, 徳永製作所, トップラインプロダクト, トランプ, 戸田レーシング, 仲林機械工業, ニッカル商工, ニフコ, 日本圧着端子製造, 日本ウルディングロッド, 日本製鉄, 日本ニューロン, 白光, 日立Astemo, BBSジャパン, ファロー・ジャパン, フォワードエンジニアリングジャパン, 富士精機, プレコー技研, ホクシン, ホーベック, MathWorks, ミクニ, 水田製作所, ミスミ, ミタテ工業, ミツ安製作所, ミツ星ベル, モリ工業, モリワキエンジニアリング, 横山機工, 米島アルト産業, ラメール, リコー, RECHARGE R&D, ロックベイント, ロフテックス, ロフデザイン, 和光ケミカル, フローテック



3 京都大学 Kyoto University

●メンバー

[CP] 尾崎凌明, [FA] 山路伊和夫, [MBR] 平野功太, 加藤雅大, 長濱龍矢, 富樫明寛, 久保田純矢, 仙波廉大, 小山光, 津田修一郎, 藤川高嘉, 山下鴻, 澤村達也, 南里馨太郎, 徐梓鈞, 渡邊希, 井上慎平

●車の特徴とチームの抱負

これまでの2年間で育んできた経験・知識・技術を100%発揮するため、車両の「完熟」をコンセプトに掲げ、マシンの完成度を極限まで高めてまいりました。悲願の優勝を目指し、KARTは邁進します。

●スポンサー

DMG森精機, 川崎重工工業, オキソ, ヘインテックノベルク, イケヤフォーミュラ, ミタテ工業, 東レ・カーボンマジック, bryka, 大昭和精機, ジェイテクト, 井尾製作所, 山岸本舗, 浅野歯車工作所, サンガード, 戸田レーシング, プラスミュー, ソリッドワークス・ジャパン, IPG Automotive, 小松製作所, ヤンマー, テックサーフ, 日本インシュレーション

ション, NEOSmonocolle, 三木ブリー, 池田金属工業, コンテック・ラボ, 日本軽金属, カフィール, 住友電装, 住友電気工業, 住友電工ハードメタル, リコー・ジャパン, ウミヒラ, ウェルドワン, 日本精工, 医療法人啓信会グループ, デンソー, THK, 琵琶湖スポーツランド, 大阪スポーツランド, アイシン精機, 中部化研工業, アドヴィックス, ミスミ, ワークスベル, タイヤボックスエポルヴ, IDAJ, ランドマークテクノロジー, 田中製作所, 日信工業, ストープリ, スガツネ工業, 橋本電子, 山洋電気, ウィット, ニッコー, アクソソジャパン, 中央発條, ゲムトレンドジャパン, 廣部機製作所, 岩井木型製作所, NOK, ATS, 東日製作所, 三和メック, エンタープライズワイ, フューチャーテクノロジー, ネクスト, 松本金属工業, 開明伸銅, 旭化成建材, 昭和飛行機, イグス, GAT, 長岡特殊電線, IHI, アルテアエンジニアリング, 速水矯正歯科, 東京測器研究所, 丸忠木型製作所, 日本トムソン, 大宗産業, ソダ工業, NKN, 大同DMソリューション, 神戸製鋼, 南歯車製作所, 日本ハネウエル, 中丹技術支援室, ホーベック, MathWorks, TANAX, ダイハツ, マツダ奨励会, 協永産業, 応用科学研究所, ダウ化工, 京橋ブリッジサンライズ, CAST, サンテス, キャタラー, テクノソリューションズ, 京機会, 京都大学機械工作室



4 名古屋工業大学 Nagoya Institute of Technology

●メンバー

[CP] 小林恵成, [FA] 北村憲彦, [SFA] 坂口正道, 早川伸哉, 牧野武彦, [MBR] 林祐稀, 三輪麗王, 宮澤榮功, 丸山和人, 伊藤一志, 福山青志, 川合翼, 松井優太郎, 新田琉納, 今井翼, 大村淳也, 正路将之

●車の特徴とチームの抱負

今年度車両N.I.T-20はコンセプトを「for uNITE 3F」とし、昨年度車両が持つ高い運動性能を維持しながら、シャシーを中心に来年度のEVを意識した開発を行いました。社会で活躍できるエンジニアを目指し、ICVの集大成として最後まで走り抜けます。

●スポンサー

IPOG, 青山製作所, アネブル, アルテック, アルテック, イグス, 伊藤彰産業, 岩倉ラジエーター商会, エイ・エム・シー, ATグループ, HPCシステムズ, エクシード, エッチ・ケー・エス, エヌ・エム・ピー販売, NOK, NOKクリューバー, エヌティーテクノ, epilino, エフ・シー・シー, FCデザイン, エムエスシーソフトウェア, 大河内金属, 大塚製作所, 岡島パイプ製作所, カーベック, 加福製

作所, 岐阜ギヤ工業, 共創, 協和工業, 共和電業, 呉工業, クロステック, コネクトジャパン, サードウェア・サカイオーベックス, サクラ工業, サノアック, ZEAL by TS-SUMIYAMA, SIX VOICE, ジェイテクト, 信濃機販, ジャパンセンターリース, シングルハート, 伸光ケーン, 神鋼ノース, シンボリ, 杉浦製作所, スズヒロフォーカリフト, スマートインプリメント, 住友電装, 積水化成工業, SMT, ソリッドワークス・ジャパン, 大同金属工業, 大豊工業, 平プロモート, タマディック, チームルマン, ソゲラセス, THK, デイトナ, TIP composite 大阪事業所, 松本事業所, TEIN, ティラド, デンソー, 東海理化, 東京チタニウム, 東日製作所, トータルテクニカルソリューションズ, 東明エンジニアリング, ナカタ, 中日本鋳工, 中家製作所, 名古屋特殊鋼, 日信工業, 日本ヴァイグレイド, 日本精機, 日本精工, ハイオニア風力機, ハイレックスコーポレーション, 日立金属, HILLTOP, 福田交野, プライザ, プレコー技研, PLUS, プロテック, プロト, ホーベック, ホワイハウス, マスワークス, 丸和機械, ミクニ, 美浜サーキット・クニモト, 美濃工業, 名東歯車, メイデー, モーター・トータル・サービス, 山一ハガネ, ヤマハ発動機, ユニバンス, 吉井資工業, 吉ノ邦金型, Re:cosme, レーザテック, ワークスベル, 和光ケミカル, 巴会, 名古屋工業会, デンソー 御器所会



5

千葉大学 Chiba University

●メンバー

[CP] 堀田伊吹, [FA] 森吉泰生, [MBR] 菅野真之, 瀬戸川隆人, 大川晃, 安田裕貴, 永田真人, 米川雄大, 高見大樹, 小林康一郎, 秋山宙輝, 萩野仁太郎, 鈴木達英, 青木勝輝, 松谷康士朗, 長谷川教史, 荒井瑞穂, 江澤成毅, 岡田和夫, 本宮曜

●車の特徴とチームの抱負

中心メンバーが通常の大会や1年を通した流れを経験出来ていないため、経験と知識を蓄えることを第一目標として「確実な走り」と「ドライバビリティ」という車両コンセプトの元、全動的種目走破を目標に大会に挑みます。

●スポンサー

旭化成建材, アンシス・ジャパン, 玉津浦木型製作所, 池田金属工業, 出光興産, エヌ・エム・ビー販売, エムエスアイコンコンピュータジャパン, 日栄学園日本自動車大学校, マレリ, エイチワン, キノクニエンタープライズ, 日下製作所, デンソー, 斎藤プレス, 東日製作所, トヨタレンタリース千葉, ノウム, ハイレックスコーポレーション, 深

井製作所, 富士精密, ミスミ, メタルワークス, ユタカ技研, 佐々木工業, 佐々木工業, 協和工業, 京業ベンド, ZAN, 住友電装, ソリッドワークス・ジャパン, 千葉大学工学部, 千葉大学工学同窓会, 千葉大学材料加工学研究室, 千葉大学フォーミュラプロジェクトOB, OG, 千葉トヨベット, 東北ラヂエータ, 中村機材, 桐哲商店, 日立Astemo, 日本精工, 日本発条, ビルドダメージ, 丸紅情報システムズ, 三菱マテリアル, ヤマハ発動機, 葵不動産, 柴田車輛, プラスミュー, 茂原ソインサーキット, 丸忠木型製作所, マレージャパン, 日本軽金属, ティエムシー, ロブテックス, レーシングガレージENOMOTO, ホンダマイスタークラブ, 千葉大学実習工場, 千葉大学自動車部



6

京都工芸繊維大学 Kyoto Institute of Technology

●メンバー

[CP] 吉田健悟, [FA] 射場大輔, [SFA] 増田新, [MBR] 齋藤明佳梨, 佐藤広都, 土橋拓馬, 西村奈々芳, 原諒嘉, 福島広太郎, 保谷拓輝, 森本武寛, 山崎楓真, 吉村和真, 向井直, 大西健太郎, 西村勇輝, 辻畑大暉, 大須賀可夏, 日比野嵩平, 井澤翔悟, 保坂祥馬, 細田光星, 石原匠馬, 北川大雅, 木村駿太, 久保舜哉, 酒井遊, 水谷泰己, 山野稜太, 吉松もも, 岡本健太, 来代勝胤, 藤田寿, 松尾直樹, 松本孝輝, 門林理彩, 中川拓真, 土井大樹, 中島隆一, 野田峻平, 西崎健将, 頭川剛幸, 木下紗希, 五味律夏, 平野達大, 横山峻介, 前田航図, 宮木光, 佐々木淳, 杉本淳哉, 川島斐彦, 花木玲摩, 渡辺有翔, 長谷川拓登, 廣岡航太, 帆足和真, 吉山琉太, 長谷川みなほ, 阪上昂汰, 片岡海都, 安田幸樹, 藤原輝人, 山本和輝, 山本太雅

●車の特徴とチームの抱負

エンジン変更に伴う車両パッケージの確立の年として、軽量・低重心・高出力を目指して設計しました。現地開催が中止となった2年間の開発の成果を発揮できるよ

う、チーム一丸となり勝利に向けて突き進みます！

●スポンサー

ヤマハ発動機, スズキ, HILLTOP, エクセディ, 丹後機械工業協同組合, タンク技研, ダッソーシステムズ, 東レカーボンマジック, 豊田通商, スターボルト, 日産工業, 株式会社化成工業, 岐阜キヤー工業, 日昌製作所, ミタテ工業, ZEAL by TS-SUMIYAMA, サイマコーポレーション, HPCシステムズ, ボルテックス, 岩井木型製作所, プロジェクトミュー, 橋本コーポレーション, KIV JAPAN, キノクニエンタープライズ, 日本精工株式会社, ミネベアミツミ, 輝インターナショナル, ハイレックスコーポレーション, オートセットジャパン, 大和産業製作, 木内計測, 住友電装, ジーエーティー, サンキン, SGLカーボンジャパン, プラスプラステック, 居英コーマース, Mentor Graphics Japan, 深井製作所, StarG, 石原ラヂエータ工業, 上野精工, 協和工業, ストープリ, 日立アステモ, 株式会社IDAJ, THK, 京都帝機, 共栄メカニクス, 遠水橋正産科, トータルテクニカルソリューション株式会社, アワードエンジニアリングジャパン株式会社, AVO/MoTeC JAPAN, NUTEC Japan, 日本ボリマー産業, 藤屋製作所, 木下商店, RPVソフトウェア, カイロド, CAST, ウィット, サルコジャパン, 京都ネイルセンター, プラスミュー, ネーベック, 富士精密, 橋本金属工業, 日本モレックス, オキソエーエス, FICデザイン, Siemens PLM Software, タマテック, アノログデバイス, オートバックス, セン, 丸紅情報システムズ, アドヴィックス, DMM.com, UCHIDA, VSN, K's Garage, アルテアエンジニアリング, アルティムジャパン, アンシス・ジャパン, サイバネットシステム, 日電電工, イニス, コムレスエンジニアリング, ナカギド, プレニ-技研, タイン, 日本アイアイトレイド, JT/W PPAF Japan, ミヒラヘルツジャパン, KAKIE Racing TEAM, 冠製レンタカーサービス, KIK, エンジニアリング, IFEシステム, アルテック, PHOENIX SPOWERR, SHORAI JAPAN, TAKATA, ニフコ, 加田精工, PROSHOP, NAKAGAWA



7

岐阜大学 Gifu University

●メンバー

[CP] 小堀貴俊, [FA] 菊地聡, [MBR] 牧田竜汰, 高村祐祐, 安藤文流, 近藤祐貴, 下山智也, 林和希, 高木覚登, 廣田一帆, 明壁未侑, 飯沼真鈴, 片上航瑠, 片山青葉, 加藤宏明, 久米侑輔, 中野清多郎, 保土貴亮, 宮崎凌太, 森川晴仁, 柴田佳佑, 伊藤寛人, 角谷宏樹

●車の特徴とチームの抱負

GFR021を基に各部門の設計を見直し、意のままに、安心して運転できる車両を設計しました。昨年は静的だけでしたが、歴代最高順位である7位を獲得しました。今年は静的・動的を合わせた総合順位でTOP10入りを目指します。

●スポンサー

アイシン, アサヒオーゾ, アネブル, アルテアエンジニアリング, 石原ラヂエータ工業所, 岩田製作所, エフ・シー・シー, オエティカジャパン, 大瀬化成, 大山エンジニアリング, ATP, 奥伊吹観光, 小籠製作所, oriburu, 片野商会, 金子歯車工業, キノクニエンタープライズ, ギフ加藤製作所, 岐阜キヤー工業, 岐阜車体工業, 岐阜プラスチック工業, 協和工業, 澤商, シーシーアール, 柴田工業, 橋本製鉄所, 杉山, スズキ, スズヒロフォークリフト, 住友電装, センサー・テクノロジーズジャパン, ソリッドワークスジャパン, 大同DMソリューション, 太平洋工業, 高橋鉄工所, 塚原製作所, ツゲブラセス, T.M.D, DICマテリアル, 東日, トータルテクニカルソリューションズ, トリニティ, ナベヤ, 鍋屋パイテック, 日本3Dプリンター, 日本トムソン, 日本発条, 日本精工, 服部溶接鉄工所, 光製作所, 日立Astemo, フェスティカサーキット, 深井製作所, プダ精工, 富士精密, びじ化成工業, プラスミュー, マキタ, 丸和書店, 三田洞自動車学校, ミスミ, ミズタニバルブ工業, 明成, 岐阜大学工学部機械工学科, 岐阜大学工学部高橋研究室, 岐阜大学工学部井研研究室, 岐阜大学工学部上坂研究室, GFR OBOG



8

新潟大学 Niigata University

●メンバー

[CP] 五十嵐元, [FA] 坂本秀一, [SFA] 羽田卓史, [MBR] 中村亮太, 百武優一, 久保耀祐, 西尾玲音, 坂本大, 天竺桂悠太, 大谷祥毅, 橋爪紀人, 廣谷日南, 三澤哲生, 山田登也, 滝澤陽斗, 加藤大幹, 不破俊英, 旭逸斗, 渡部泰地, 岡庭海晟, 山田拓未, 緑川聡, 河合晃弥, 今村太郎, 長谷川拓哉, 河崎虎景, 東野弘道, 向中野涼, 工藤成惣, 佐々木功志, 野崎一真

●車の特徴とチームの抱負

今年度車両のNU-22は「軽量化と操作性の向上」をコンセプトとし、10インチ化を行ったマシンにて動的審査での過去記録の更新に挑戦します。

●スポンサー

スズキ株式会社, THK株式会社, 株式会社ピーエムシー, アルテアエンジニアリング株式会社, 日信工業株式会社, 和光ケミカル, 株式会社ミスミグループ本社, 株式会社エフ・シー・シー, ソリッドワークス・ジャパン株式会社, AVO/MoTeC Japan, 小原歯車工業株式会社, 高橋工機株式会社, 昭和電工株式会社, 株式会社キノクニエンタープライズ, 株式会社テック長沢, イグス株式会社, エンケイ株式会社, オートセットジャパン株式会社, 株式会社キジマ, 協和工業株式会社, 住友電装株式会社, 大同工業株式会社, ハードロック工業株式会社, 株式会社 深井製作所, NOK 株式会社, 有限会社マルセンクラフト, 有限会社小林製作所, 有限会社サンライ, 株式会社シンドール, 有限会社サカモトエンジニアリング株式会社, エステーリンク, 株式会社キノクニエンタープライズ, 株式会社ニフコ, 株式会社石川インキ, 株式会社難波製作所, 株式会社, 株式会社砂山製作所, 渡辺工業株式会社, NOK株式会社, 新潟大学工学部機械システム工学科, 新潟大学全学同窓会, 新潟大学工学部同窓会, 新潟大学工学部 工学力教育センター



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

9 東京大学 The University of Tokyo

●メンバー

[CP] 鈴木裕, [FA] 草加浩平, [SFA] 矢口雄大, [MBR] 五十子周太, 本多詩聞, 松岡泰雅, 久家怜, 高橋祐介, 板原正太郎, 清水瞭, 岩田有季奈, 桑野竜之介, 今井那雄行, 橋本宏熙, 山崎諒平, 小幡研治, 小泉創世, 星野佳嗣, 志村優仁, 陳博源, 嶋宏樹, 樋場秀作, 藤井ゆりあ, 横田葉音, 山本瑠衣, 名和大智, 小杉耀利, Adit Amod Gurjar

●車の特徴とチームの抱負

弊チームでは電子制御CVT、ターボチャージャーの搭載、リジッドアクスルといった他チームではみられない取り組みを今年も継続し、より磨きをかけたマシンを作り上げました。今年はチーム再発足以来初の完走、そして総合点数500点を目指し頑張ります。電子制御CVTやターボチャージャー、リジッドアクスルといった独自の特徴を引き継ぎ、正常進化たるマシンに仕上げました。チーム再発足後

の集大成として、昨大会に続きさらなる飛躍を遂げられるよう全力で闘います。



●スポンサー

スズキ, 水戸工業, IDAJ, AVO/MoTeC Japan, OZ Japan, Autodesk, 関東工業自動車大学校, キノクニエンタープライズ, クイック羽生, コトラ, 小松製作所, ローランド ディー・ジー, サウスコ・ジャパン, 三協ラジエーター, 住友電装, デュボン・スタイロ, ティン, デンソー, 東鋼, 日立Astemo, 東京大学生産技術研究所 変形加工学研究室・試作工場, 深井製作所, フジクラ, 豊国学園, ミスミグループ本社, BOOBOW, ワークスベル, アクサルタコーティングシステムズ, ファーストモーターディング, THK, F.C.C, NOK, アールケー・ジャパン, ザム・ジャパン, IPG AUTOMOTIVE, GSユアサ, エンジンア, ディクセル, 富士精密, イサムエアージャール工業, 重松製作所, ケイテック, 互省製作所, 石川インキ, サカイオーベックス, 信濃工業, 和光ケミカル, UDトラックス

10 名城大学 Meijo University

●メンバー

[CP] 奥山愁也, [FA] 早藤英俊, [MBR] 佐藤汰地, 荒川知真, 高口大将, 窪田健人, 加賀健悟, 塚本拓海, 小村征爾, 森重優斗, 齋藤一慶, 津原佳弥, 河合颯希, 片倉敬介, 大竹勇次, 八木大樹, 本山功基, 与語大登, 赤地航太郎, 中村悠人, 綾真那, 岡遼多

●車の特徴とチームの抱負

私たちのマシンは、「人車一体」をコンセプトとして掲げていて、特に軽量化・低重心化に力を入れ、車とドライバーが一体となって操作が行える事を目標としています。昨年度車両からさらなる進化を果たし、動的審査において高い水準でのタイム更新を目指します。

●スポンサー

ヤマハ発動機, 天木鉄工, 和光ケミカル, オキソ, 三五, WADA WELDING, レーザテック, ジーエス・ユアコーポレーション, サカイオーベックス 住友電装, ネクスト, レインボースポーツカートコース, 協和工業, ハイタップ, ソフトブレン工業, ウイングオート, ユニオン電商, 幸田サーキットYRP桐山, センサータ・テクノロジーズジャパン, 名古屋メッキ工業, キノクニエンタープライズ, 日本ユビカ, アーク, エィ・ダブリュ・エンジニアリング, 川本鋼材, シンボリ, ハイレックスコーポレーション, ホワイトハウス, 愛三工業, 神戸製鋼所, 日伸, ティン, 岡島パイプ製作所, イグス, HKS, 大同工業, IDAJ, ニワカソフ, RevCraft, FCデザイン, カーリアベア, 山口製作所, 日本精工, 名城鉄工



11 東京農工大学 Tokyo University of Agriculture and Technology

●メンバー

[CP] 吉田壮志, [FA] ポンサトーンラクシンチャランサク, [MBR] 川端健斗, 今野拓夢, 佐藤藤太, 鈴木智仁, 高倉俊, 玉山日向子, 林田友佑, 俣野壮太郎, 吉岡諒, 吉田紗和子, 今宏太, 関虎太郎, 森優介, 天野亮太, 柏瀬拓弥, 野口丈, 山本智史, 梁志傑, 蓑輪拓実, 島袋幸太郎, 高橋敬太, 岡野知大, 寺原彬弘

●車の特徴とチームの抱負

今年度の大会マシンコンセプトは、「磨きのかかったBasic」として「定常性能の向上」、「信頼性の向上」、「ドライバビリティの向上」を目指しました。弊チーム最高順位である総合12位以上を目指します。

●スポンサー

本田技研工業, ソリッドワークス・ジャパン, マイト工業, 新潟精機, 京葉バンド, 深井製作所, 石崎電機製作所, 尾久自動車学校, 協和工業, イグス, ティン, 大同DMソリューション, 呉製作所, 日本プレート精工, タイヤフィッティングサービス, レイズ, ニチリン, 日信工業, ユタカ技研, プラスミュー, 都ステンレス工業, 中井インターサーキット, 富士精密, キノクニエンタープライズ, 隆盛工業, 三共ラヂエーター, THK, NOK, イリス, エフ・シー・シー, ザム・ジャパン, 大同工業, ハイレックスコーポレーション, シンライン, コトラ, マレリ, DMM.com, 和光ケミカル, 配線コム, 加藤カム技研, ワークスベル, 上島熱処理工業所, 住友電装, IDAJ, クロスロード小山, ハードロック工業, IPG Automotive, 積水化成成品工業, パーソナルR&D, PLUS, 東京農工大学機械システム工学科, 東京農工大学 機友会



12 山梨大学 University of Yamanashi

●メンバー

[CP] NGUYEN CONG HUY, [FA] 丹沢勉, [SFA] 猿渡直洋, [MBR] 塩澤龍一, 浦野岳人, 佐藤優樹, 洪予輝, 佐々裕次朗, 佐々木秀, 村田香月, 中野旭, 望月拓史, 青木丈迪, 塚本大貴, 納本拓実, 鈴木泰聖, 渡辺匠, 河合俊幸, 永田翔也, 小林文留, 星野瑞希, 渡辺凜, 竹田夏生

●車の特徴とチームの抱負

低回転時のトルクが大きさが強みであるスズキ製V型2気筒エンジンを採用し、加えてスタビライザーを搭載することにより車体の挙動を安定させ、コーナーが多い大会のコースにおいて必要となる加速性能及び旋回性能を向上させた。

●スポンサー

スズキ, FREE STYLE, REV, イズミインターナショナル, エッチ・ケー・エス, エンドレスハウザー山梨, オーゼットジャパン, おがた歯科医院, 笠井歯科医院, 金子歯車工業, エフ・シー・シー, オートバックセブ, ハイレックスコーポレーション, 様業鉄工所, 中央技研, ハヤテ・コンサルティング, 協和工業, クリア, サンキン, スポーツランド山梨, ソリッドワークスジャパン, トーヨーコーケン, モーターイズム編集部, 日立Astemo, 日本発条, 藤精機, T.M.WORKS, ササキ, 鷺宮製作所, 山梨工業会, 山梨大学OB・山梨大学教授様方, 山梨大学工学部附属ものづくり教育実践センター, ティエムシー, ミスミグループ本社, 東京アールアンドデー, キャロッセ, かいしゃ, ホンダテクノフォート



13 日本自動車大学校 *Nihon Automobile College*

●メンバー

[CP] 河西航太郎, [FA] 早川靖洋, [SFA] 矢部光範,和気幹樹,田中瑠威,金井亮忠,門野寛, [MBR] スリポードックトライポップ,毛利勇斗,横田祐典,新井啓太,市村将貴,大津聖,金子竜也,木村駿生,島田航平,白岩健太,鈴木珠理,千葉純斗,狹間広大,広瀬颯,松崎隼斗,山上颯太,石井篤史,シェビョアウン,木村紡基

●車の特徴とチームの抱負

今年度のマシンコンセプトを「Less is More」とし、今まで培ってきた技術の熟成を目標に開発を行いました。コロナ禍で限られた時間の中、私たちが今できることを最大限発揮することにより、悲願の総合優勝を達成します。

●スポンサー

AVO/MoTeC JAPAN,EMC core,アールエイ商会,アールエーシー,アイ・アール・エス,石井工業,ウエストレーシングカーズ,オーヴァーレーシングプロジェクト,オーゼットジャパン,キノクニエンタープライズ,京葉バンド,サウスコ・ジャパン,ザム・ジャパン,ススキ,センサータ・テクノロジー・ジャパン,ソフトウェアアクレイドル,ダブリュ・エフ・エヌ,ティエムシー,日産部品千葉販売,日産自動車,ハヤシレビック,日立Astemo,深井製作所,プロトラッド,堀口エンジニアリング,本田技研工業,マックメカニクスツールズ,矢崎総業,ヤマハ発動機,和光ケミカル



14 茨城大学 *Ibaraki University Racing*

●メンバー

[CP] 金野凌, [FA] 西野創一郎, [MBR] 勝勇気,安藤愛利,松尾祐希,梅津太一,萬波馨,笹原大希,田村健人,中郷稔,吉浦龍,大盛克紀,木村得明,野間悠紀,丸川大智,小川奏明,柴田紗里奈

●車の特徴とチームの抱負

今年度のマシンコンセプトは「三位一体の信頼〜作りやすい・乗りやすい・壊れにくい〜」です。製作者、整備者から運転者まで全ての人に信頼される車両づくりを目指しました。堅実に取り組み総合Top10を目指します。

●スポンサー

IDAJ,愛和精密製作所,旭化成建材,アネブル,アルテアエンジニアリング,イグス,石川インキ,茨城トヨタ自動車,今橋製作所,岩手製作所,HPI,HPCシステムズ,エイチワン,NEテック,エヌ・エム・ビー販売,NOK,FCデザイン,江沼チエン製作所,AVO/MoTeC JAPAN,オーエスジー,大川精機工業,大竹製作所,オートランドテク,岡島パイプ製作所,KW AUTOMOTIVE

JAPAN,加倉井総業,川金産業,菊地歯車,キノクニエンタープライズ,CAST,協和工業,光南工業,小峰製作所,サイバネットシステム,サウスコ・ジャパン,幸手スプリング,サムシングコーポレーション,三和工業,三和精機,三和ニードルベアリング,シートレード,JWAY,JSP,重松製作所,ショウエイ,常陽不動産,常陽モーターズ,新栄製作所,新電元工業,ススキ,ススキ工業,住友電装,関根鉄工所,スクーテックジャパン,セメダイン,センサータ・テクノロジー・ジャパン,セントラルグラスファイバー,清和製作所,相模,ソリッドワークス・ジャパン,ダイジツインリンクもてぎ,ツジ電子,鶴町製作所,THK,東京アールアンドデー,東京測器研究所,東日製作所,東プレ,東北ラヂエーター,東洋電装,トタル・ブリカンツ・ジャパン,富田製作所,トムス,トヨウラ,トヨタレンタリース常陸多賀店,日鉄めっき鋼管,日鉄鋼管,ニフコ,日本圧着端子製造,日本自動車研究所,日本製紙クレシア,日本ユビカ,ハイレックスコーポレーション,日立金属,常陸木材,廣木精機製作所,深井製作所,フクダ,富士精密,プライルジャパン,プラスミュー,プロスタフ,本田技研工業,マスタートクス,MASSIVE,マブチモーター,丸八,三菱ケミカルアドバンスドマテリアルズ,水戸工機,南高野医院,村田工業所,まや木型製作所,UACJ,ユニキャスト,ユニークテープ,ヨシダ,吉田石油,薬谷製作所,天谷龍夫(Team AMG)様



15 同志社大学 *Doshisha University*

●メンバー

[CP] 日吉太一, [FA] 小武内清貴, [SFA] 大窪和也, [MBR] 玉井遊芽,畑中健志,野口創太,下羅翔太郎,武尾達,長江諒,宮谷和伸,吉川稜人,井上裕貴,水野景介,佐藤隆気,藤川陸丸,三田村悠生,吉本涼菫,神谷健瑠,椿大輝,星安草汰,坂川陽香,Jaime de Castro,巽恵美理,zhu zixiao,李敏,真山彩葉子,山内貴斗,福留健斗,眞子拓光,苔米地悠人,神崎雅裕

●車の特徴とチームの抱負

「動的性能の向上」をコンセプトに掲げ、車両開発を行いました。チーム一丸となつて、総合順位10位以内を目指します。

●スポンサー

エクセディ,ヒロミツ製作所,川崎重工業,IDAJ,市光工業,プロト,a-factory,サンスター技研,THK,ジーエス・ユアサテクノロジー,深井製作所,ザム・ジャパン,丸紅情報システムズ,NOK,鬼頭歯車,協和工業,堀場製作所,大東ラジエーター工業所,エイティエス,NKN,江沼チエン製作所,エスユーエス,住友電装,摂津金属工業所,神鋼ノース,神戸製鋼所,アンシス・ジャパン,ストーブリ,ジェイテクト,ISK大阪舞洲店,日本発条,MathWorks,inc,ANDARE,丸三自動車商会,日信工業,和光ケミカル,デンソー,ソリッドワークス・ジャパン,明電エンジニアリング,3Dコネクション,ヴァイアイグレイド,キノクニエンタープライズ,小泉製作所,積水化成成品工業株式会社,日吉電機株式会社,Florie Motor Sports



16 九州工業大学 *Kyushu Institute of Technology*

●メンバー

[CP] 富田夏輝, [FA] 河部徹, [SFA] 加倉誠勝,岩佐康生,長下哲也,伊藤樹,小濱朱生,下岡裕矢,七浦大地,檜山瑞樹,日笠涼太,遠藤志琉,大城亮介,渡邊裕大,小林輝,田邊太一,河野成通,坂梨武尊,成枝志陽,岡樹希,谷渡康大,池田志優,大淵貴久,高熊海人,岸本康太郎,福原幹太郎,青井海音,岩見彩花,今福公晴,野口聡馬,渡邊航志,山元勇輝,石松大知,笠友介

●車の特徴とチームの抱負

「運転しやすい車」をマシンコンセプトとして、フルエアロデバイスの搭載や3Dプリンターによるサージタンク作成などに挑戦しました。悲願であるシングルナンバーの獲得に向け、チーム一丸となり頑張ります！

●スポンサー

Aim,AVO/MoTeC JAPAN,IDAJ,FCデザイン,IPG Automotive,KMC南日本ライコラッド小倉店,NEST INDUSTRY,アイシン,アルテアエンジニアリング,アルテック,イケヤフォーミュラ,石原ラジエーター工業所,イグス,エヌ・エム・ビー販売,エフ・シー・シー,川崎重工業,九州工業大学機械実習工場,キノクニエンタープライズ,協和産業,協和工業,神戸製鋼所,小倉運送,サイアン,佐々木工業,様葉鉄工所,スター電器製造,住友電装,ソフトウェアアクレイドル,太平洋精工,高田工業所,高橋工機,ティン,デンソー,ニフコ,日本発条,日立Astemo,深井製作所,富士精密,プラスミュー,プロト,ミヤキ,明専会,ランテック,ヤスナガ,和光ケミカル



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

17 埼玉大学 Saitama University

●メンバー

[CP] 大豆生田駿, [FA] 姜東赫, [SFA] 坂井建宣, 平原裕之, 山田洋平

●車の特徴とチームの抱負

今年度車両は「Universal～誰でも引き出せるポテンシャル」がコンセプトとなっています。主に前後重量配分の見直しと吸気排気における目標回転数のすり合わせなどを行っております。チームとしては、先輩と後輩のコミュニケーションを活発に行い、全体的に統一された理念で活動を行って来ました。2年ぶりの現地での大会になりますが、8位以内を目指して頑張ります。

●スポンサー

HONDA, オリジン, ボーライト, TEIN, 日本ピストンリング, 日本信号, 小金井精機製作所, 放電加工センター, 島田鉄工所, 日本精工, 井上鉄工所, エイチワン, イグス, オーゼットジャパン, 富士精密, ソリッドワークス・ジャパン, 協和工業, 埼玉ブレーナー, サークイット秋ヶ瀬, 朝日ラバー, 鷲宮製作所, 渡辺製作所, ヤヘイ, トヨベツ, ケイテック

ク, 大竹製作所, ハイレックス, デサン, HKS, 柳下技研, グループ・エム, アルテアエンジニアリング, ザム・ジャパン, 丸紅情報システムズ, 浦和花見, マレリ, 和光ケミカル, NOK, アライヘルメット, 七福金属, Mathworks, エフ・シー・シー, 大同工業, 住友電装, マツショウ, THK, シーメンスPLMソフトウェア, コンピューティショナル・ダイナミックス, 斎藤プレス



18 福井大学 University of Fukui

●メンバー

[CP] 増田泰己, [FA] 永井二郎, [MBR] 原島由樹, 中里紘基, 野村将志, 長谷川陸太郎, 大野駿一, 中田昂希, 植田隆太郎, 高橋健太, 渡辺太陽, 池田侑生, 久田吾旺, 中川廣昭, 金谷祐輝, 森優斗

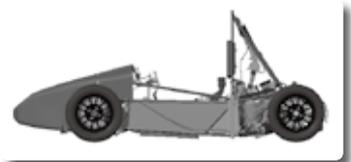
●車の特徴とチームの抱負

今年度は「旋回速度向上・操作性向上」をコンセプトに掲げ、設計・製作を行って来ました。チーム一丸となって、全種目完走・過去最高順位を目指します。

●スポンサー

スズキ, 日立Astemo, SHORAI JAPAN, オーゼットジャパン, 茶谷鉄工所, AVO/MoTeC JAPAN, MathWorks, NOK, アルテアエンジニアリング, イグス, 宇野歯車工業, エイティエス, エヌ・エム・ピー販売, オエティカジャパン, 江沼チエン製作所, 神戸製鋼所, 三五, 青山製作所, アネブル, オートショップ福井, カーネーション, キノクニエンタープライズ, センサー・テクノロジー・ジャパン, ティエムシー, デンソー, ハイレックスコーポレーション, ホクシン, 協和産業, 協和工業, 草島ラジエーター工業所, ジャパンポリマーク, 住友電装, ソリッド

ワークス・ジャパン, 大同DMソリューション, タカスサーキット, トヨタカラー福井, ナック・ケイ・エス, 日本発条, 福井商工会議所, 福井鉄螺, アキラックス, ツボカワ工業, 吉岡幸, ジーエス・ユアサ コーポレーション, タニダ, ニフコ, ワークスベル, 共和電業, 丸文通商, 福井大学先端科学技術育成センター, デューク福井, ノブレッセ, 福井県立科学技術高等学校, 鷲宮製作所, トヨタレンタリース福井, MOTUL Japan, NTN, 日本ヴァイアグレイド, フジキン, 富士精密, 東京R&D



19 ホンダテクニカルカレッジ関西 Honda Technical College Kansai

●メンバー

[CP] 舊谷航希, [FA] 神通邦彦, [SFA] 木村泰之, [MBR] 石川優, 海田祥汰, 上川慶, 井上翼, 王嘯林, 稲田圭将, 小畑歩夢, 上田翔太, 福田凌雅, 阪上貴之, 三宅優永, 池本敦哉

●車の特徴とチームの抱負

私たちの車両の特徴は、アルミフレームと単気筒エンジンの採用による軽量化です。今年のチームは完全に新しいメンバーで構成されており、部の立ち上げ、車両製作を通して学んだことを最大限発揮したいです。

●スポンサー

本田技研工業, 日立Astemo, NTN, 川上製作所, エフ・シー・シー, ホンダテクノフォート, ハイレックスコーポレーション, 八千代工業, アルテアエンジニアリング, オイレス工業, 山玉テック, 深井製作所, IPG Automotive



20 群馬大学 Gunma University

●メンバー

[CP] 古田晃己, [FA] 石間経章

NO DATA

21 北海道大学 Hokkaido University

●メンバー

[CP] 横山達己, [FA] 小川英之, [SFA] 田部豊, 柴田元, [MBR] 篠原みのり, 細田雅人, 木村宗貴, 佐藤虹太, 小関友香理, 清水佑音, 池田拓矢, 野崎大理, 濱崎泰河, 澤田圭吾, 本橋洋也, 高野哲秀, 高橋秋成, 貫井悠太郎, 河田飛悠吾, 濱村淳之介, 原田空翔, 外山裕基, 勝野凌世

●車の特徴とチームの抱負

今年度のマシンコンセプトは「ドライバビリティの向上」で、シフターのケーブルへの変更やシート形状の見直し等を行いました。より安定したマシンで全種目完走を果たし、好成績を目指します。

●スポンサー

本田技研工業, トヨタカラー札幌, 帝北自動車, AIS北海道, MSF, 榊業鉄工所, 北海道シャーリング, エフ・シー・シー, レーザマックス北海道, ビー・ユー・ジー DMG森精機, ジーエーティー, ダイヘンテクノサポート, デンソー, IDAJ, 富士精密, トヨタレンタリース札幌, 旭化成建材, 協和工業, 深井製作所, いすゞ北海道試験場, ソフトウェアクレイドル, ソリッドワークスジャパン, 神戸製鋼所, 石川金属製作所, igus, ミネベアミヅミ, 石原金属化工, 日本発条, NTN, ワークスベル, DMM.com, make, アルテアエンジニアリング, サウスコ・ジャパン, SHORAI JAPAN, 住友電装, ブラビッシモ, 日本ヴィアイグレイド, Math Works Japan, 市光工業, プロジェクトミュウ, エム・キュービック, 三共ラヂエーター, トリパス, ザム・ジャパン, 太平洋フェリー, 新千歳モーターランド, ラフォーレ環境研究所, 東京アイデア, D.I.D, エービーシー, エコーテック, 三菱マテリアル, 北海道職業能力開発大学校, 北海道大学工学系ワークショップ, FHT OB会, カメラのカネミチ, アネブル, エンケイグループ, 日立Astemo, タイコエレクトロニクスジャパン, ミスミ



22 金沢大学 Kanazawa University

●メンバー

[CP] 日台智己, [FA] 榎本啓士, [MBR] 吉田育人

NO DATA

23 山陽小野田市立山口東京理科大学 Sanyo-onoda City University

●メンバー

[CP] 久保駿也, [FA] 貴島孝雄, [MBR] 花木ひより, 松尾奏朗, 矢谷一真, 引野亜友夢, 橋口大河, 吉田祥哉, 榎尚尚哉, 秋澤優至, 奥美月, 辻田翔展, 岡田直樹, 高野智寛, 山崎皓介, 田島貴貴, 藤田稜空, 岩永圭司, 小田真也, 西本和希, 門航汰, 大石翔太, 向後成世, 菊池瑛斗, 根葉聖史, 河野樹葵, 秋山友哉

●車の特徴とチームの抱負

今年度の車両コンセプトは「リニアで刺激的な操縦性」です。軽量でコンパクトな車格が特徴です。完走を目指し、15位以内を目指します。

●スポンサー

サンライト, 和光ケミカル, 富士精密, 住友電装, ミネベア (NMB), 本田技研工業, ミスミ, ソリッドワークス・ジャパン, 寺田製作所, オートエクス, THK, 日立Astemo, キノクニエンタープライズ, エフ・シー・シー, ナチュラサーキット, 内田鋼機, かさま芸芸, ホンダマイスタークラブ, 協和工業, プリオテック, ロードスタークラブオブジャパン, MZ Racing, 深井製作所, サイバネット, DID, デンソー, 津留自動車工業, 西日本自動車学校, 長州産業, 山口

マツダ, HPSヤマガタ, マイナビEdge, Road Star Four, 亜細亜製作所, Limit



24 日本大学理工学部 College of Science and Technology, Nihon University

●メンバー

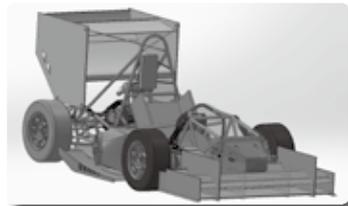
[CP] 高橋佳大, [FA] 星野倫彦, [MBR] 大山颯太, 荒井悠杜, 壹岐知寛, 大川育未, 松村雄太, 中岡賢太郎, 森田晶博, 高橋俊, 福村乃菜, 小林竜也, 石原寛正, 蔣明駿, 森翔介, 増田雄大, 沼里一輝, 阿部優希, 片山翔太郎, 堀田拓哉, 石井悠太, 添野航也, 安齊郁瑛, 松本都実, 鯉沼和希, 中村陸玖, 三上夏輝, 高井月哉, 河原聖矢, 大平嶺, 小林真宙, 篠田悠太郎, 染谷春希, 川端健斗

●車の特徴とチームの抱負

020プロジェクトはコンセプトを「颯」と定めて、運転のしやすさ、加速性能の向上、即応性を高めてマシン設計、製作を行いました。2年間動的審査を行えなかったため、2022年はエコバに総合20位という忘れ物を取りに行きます。

●スポンサー

ヤマハ発動機, アル・イー・シー, アル産業牧, エスユーエス, エフ・シー・シー, キノクニエンタープライズ, 小原歯車工業, 協和工業, 三協ラヂエーター, 三和ニードルベアリング, 重松製作所, 城南キー, スズキ, ソリッドワークス・ジャパン, 大同工業, 日本大学理工学部機械工学科, 日本発条, 日立Astemo, 深井製作所, フジクラ, プラスミュウ, プロト, マスワークス・ジャパン, ミネベアミヅミ, レーシングサービスワタナベ, 和光ケミカル, HKS, NOK, PCCディストリビューション・ジャパン, 信濃機販, 大同工業, ノースヒート



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

25 帝京大学 Teikyo University

●メンバー

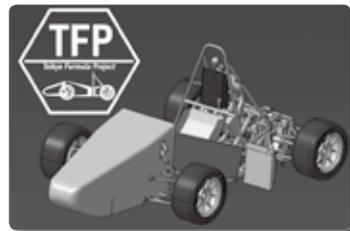
[CP] 佐々木翔, [FA] 反町浩二, [SFA] 井上祥寿, 簾内将景, 高野正則, 篠原誠, 福田直紀, [MBR] 津久井涼介, 小森友輔, 小野真矢, 唐橋和希, 高田健太郎, 小嶋渉太, 岡村翔太, 加藤開, 新添翔大, 荒井勇作, 佐藤優希, 新添航大, 大谷朝飛, スニガヒトシ, 王宇鵬, 岡本悠暉

●車の特徴とチームの抱負

今年度車両のコンセプトは「Give a trophy to amateur」とし、アマチュアレーサーのような練度の低いドライバーでも乗りこなしやすい車両づくりを心がけています。中でも今年大きく変更したのはドライビングポジションです。昨年と比べ大きくリクライニングしており、これにより昨年度の課題であったステアリング操作時の腕の窮屈さを解消しました。

●スポンサー

帝京大学, 本田技研工業, 日立Astemo, ホンダテクノフォート, エッチケーエス, エイヴィエルジャパン, 和光ケミカル, サンコーインダストリー, 渡辺金属, アルテアエンジニアリング, IPG Automotive, 協和工業, 麻布成形, エフシーシー, 住友電装, 日本トムソン, マクセル, ティン, 大同工業, 太平洋精工, デンソー, サムジャパン, NOK, 丸紅情報システムズ, オクノグローバルテック, シンコウギヤ, 協永産業, デイトナ, ナイグス, 東興ラヂエーター, 誠和工業, キノクニエンタープライズ, 深井製作所, WELDTOOL, オーゼットジャパン, CanDoVISION, 宇佐美, オースジー, ファクトリーギア, ZAN, フェスティカサーキット, ラストラダ販売, 溶接用品サンテック, スクーテック ジャパン, J-tec, 電興製作所, XYZプリンティングジャパン, サウスコ・ジャパン, ハイレックスコーポレーション, デュボンスタイロ, 宮精密, APPLE TREE, Flashfroge



26 工学院大学 Kogakuin University

●メンバー

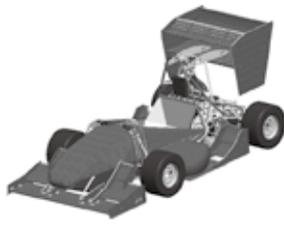
[CP] 山邊港, [FA] 山本崇史, [MBR] 高村風輝, 帯津親頼, 天津舞美, 細野凌以, 川俣蒼, 片岡亮太, 小島辰之進, 磯村佳直, 小夫家章斗, 大野凌, 上山基樹, 黒田陸央, 寺坂樹大, 秋山虎之朗, 野尻光, 橋本大知, 齊藤祐一, 長野力己, 北村綾大, 大橋諒平, 井上七海

●車の特徴とチームの抱負

マシンコンセプトは「ハイパワーでキビキビ走るマシン」。今年度車両「KRT22」では昨年度車両「KRT21」のマイナーチェンジ版として、多くの改善を盛り込んだ。今大会では総合4位を目指し、将来的な総合優勝への足掛けとしたい。

●スポンサー

本田技研工業, 工学院大学, SUBARU, エッチケーエス, 国際電通情報サービス, 深井製作所, 協和工業, 武州工業, ハイレックスコーポレーション, フォモジャパン, 坂西精機, 麻布整形, キタコ, IDAJ, 三協ラヂエーター, NOK, ミノルインターナショナル, ニコル・レーシング, トップラインプロダクト, HILLTOP エィティーエス, ケーヒン, 江沼チエン製作所, 佐々木工業, ザム・ジャパン, ファソテック, 富士精密, THK, NTN, アネブル, カスノモーターサイクル, ディクセル, 日平機器, プロト, 日本発条, 協永産業, エステーリンク, 日研製作所, オートデスク, イグス, ティン, スリーベックス技研, 五十嵐プライヤー, 兼古製作所, 古寺製作所, 松井精密工業, マルト長谷川工作所, 須佐製作所, トップ工業, マレリ, ニコフ, カナエ, 東京アルアンドデー, 東京R&Dコンポジット工業, ジーエイチクラブ, 鍋屋バイテック, CAST, JSP, DIC マテリアル, 日新レジン, 佐鳴, インビスブレード, 大矢化学工業, ANAテック, 積水化成成品工業, ホンダテクノフォート, トータルテックニカルソリューションズ



27 東京都市大学 Tokyo City University

●メンバー

[CP] 加賀田龍也, [FA] 三原雄司, [MBR] 高梨絢太, 上條理久, 明東奏吾, 箕田賢太郎, 本宮一稀, 大林雅幸, 宮島泰幸, 大槻拓真, 浦野一真, 横田理音, 遠藤惇生, 野崎聖, 武内威, 鈴木楽士, 氏神太一, 須本真行, 谷本恵佑, 平澤幸太, 谷直樹, 明石勝高, 和田洗, 横森蒼司, 古溝竜都

●車の特徴とチームの抱負

動的審査の競技の中でも配点が高いエンデュランスにおいて高得点をとることを目指します。このためには定常状態における運動性能の向上に加え、過渡状態における運動性能の向上が必要であると考えられます。ここで過渡状態の運動特性、特に応答性に着目し、22年度車両は過去2年のコンセプトの一部である定常円旋回性能の向上に加え、応答性の向上を目指します。

●スポンサー

アンシス・ジャパン, イワモト, NOK, オートリーダーズ, ジョブハッチ, NTN, 城南キー, オスコ産業, ヘア, 加藤製作所, パーソナルR&D, サイバネットシステム, キノクニエンタープライズ, クイック羽生, デイトナ, 機親会, プラスミュー, アネブル, 北村工業, バイオラックス, ソリッドワークス・ジャパン, コダマコーポレーション, レーシングサービスワタナベ, フォルシア・ジャパン, 小原歯車工業, 積水化成成品工業, 不二製作所, コトラ, ソケットセンター, 富士精密, 小山ガレージ, 内燃機関工学研究室, ハイレックスコーポレーション, KYOWA エンジニアリングラボラトリー, 丸山ラヂエーター工作所, 深井製作所, 協和工業, SUBARU, 不二WPC, 京業ベンド, 住友電装, 平山自動車工業, サウスコジャパン, スズキ, 日立Astemo, マイスタークラブ, タシロ, エッチケーエス, 南デザイン, 東京ブランド, モンスターエナジー・ジャパン, ミノルインターナショナル, 東京アルアンドデー, IDAJ, 本田技研工業, 東京端一, 出光興産, 中村鉄工, 東京工科大学自動車学校, IPG Automotive, 日本発条, 東洋電業, 伊藤精密溶接工業所, 日軽金アクト, ヤマダ, 日産自動車, 日研製作所, UDトラックス, 日本軽金属, トヨタモビリティサービス



28 日本工業大学 Nippon Institute of Technology

●メンバー

[CP] 重山陽輝, [FA] 中野道王, [SFA] 安原鋭幸, 桑原拓也, [MBR] 川島史也, 小花真彦, 片山航志, 梶原遥華, 林慶乙, 北山豪, 曾根佑紀, 岩澤道哉, 鈴木太一, 森田隼躍, 高梨諒介, 春田響, 丸田隼斗, 丸山大和, 西川侑希, 篠原滉佑, 柳澤秀太, 岡部修羽, 渡引健斗, 糸井舜樹, 森家隆斗, 飯村祐人, 関口湧斗, 石鍋洗起, 西村平万, 野中翔太, 高柳慧匠

●車の特徴とチームの抱負

今年度の車両は昨年度のコンセプトでもある、軽量で運動性能が高く、誰でも扱いやすい「Mouse」の特徴を取り入れ、練習走行を重ね車両を改善しました。チームでは総合14位以上を目指し、動的種目の完走および静的種目において上位の入賞を狙います。

●スポンサー

日本工業大学, 日本工業大学工友会, 本田技研工業, ジュニアモーターパーク, クイック羽生, はらっぱーく宮代, 日信工業, ソリッドワークス・ジャパン, MoTeC, 富士精密, 和光ケミカル, NTN, キノクニエンタープライズ, 須藤秀一, エフシーシー, シルクマスター, 協永産業, 栄鋼管, プラスミュー, アイアール・エス, 忍機工, 甘楽一男, 大島オート, アールケー・ジャパン, オーテック鈴鹿, トヨタレンタリース春日部東口駅前店, プラスプラスチェックス, モトリバティ, HBM, 石川インキ, IDAJ, トウヨーネジ, 日光溶材, ゼロ, ミスミ, 市光工業, ハンケルジャパン, エヌ・エム・ビー販売, 沢井建材店, ヒーハイト精工, 小金井精機製作所, 新報国マテリアル, 久保修一, ビーエムシー, 山崎技研工業, RAC, 石原金属化工, 興研, スクーテックジャパン, APCエアロスペシャルティ, グローバル, VSN, ウェストレーシングカース, BRAID, 三協ラヂエーター, FCデザイン, サウスコ・ジャパン, エスユーエス, 深井製作所, 王子機械, デンソー, 鷺宮製作所, 情報技研



29 トヨタ名古屋自動車大学校 *Toyota Technical College Nagoya*

●メンバー

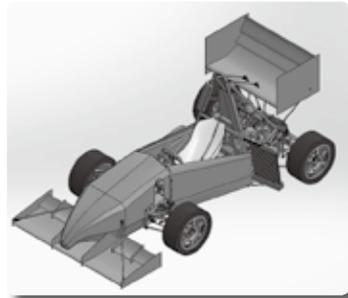
[CP] 小西成人, [FA] 高橋一成, [MBR] 谷川竜翼, 富山右京, 小林仁, 別所弘基, 鷺海颯, 鈴木雄太, 宮崎豪, 橋本修成, 藤田裕介, 古池弘幸, 大久保凌, 沖田宗矩, 岡田吉正, 藤原幸樹, 木曾汰香, 畠沢佑介, 張家齊, 新田海音, 小林陸, 平光智哉, 野下喜連, 鈴木礼治, 足立憲昭, 宮川和史, 宮地峻太, 南出光貴

●車の特徴とチームの抱負

今年度は「成熟」を車両コンセプトとして、昨年の車両で起こった問題点を改善していくように設計・製作を行いました。エンジン部品の改良や大型のエアロ部品の搭載により、完走を絶対条件とし、過去最高順位を目指しチームが1つとなり取り組みました。

●スポンサー

ヤマハ発動機, 日本グッドイヤー, ソリッドワークスジャパン, トヨタモビリティパーツ, 共和工業, 渡辺工業, サウスコジャパン, 和光ケミカル, 豊田合成, エフティテクノ, ホワイハウス, 共立計販, 共和電業, エムセンス, 享成自動車学校, 愛知トヨタ自動車, トヨタカローラ名古屋, トヨタカローラ愛知, ネットトヨタ中部



30 富山大学 *University of Toyama*

●メンバー

[CP] 寺本光正, [FA] 会田哲夫, [MBR] 上出耕一郎, 栗田泰暉, 堤康太, 川村聡希, 佐渡悠太, 小久保三四郎, 上野圭喬, 保坂信太郎, 田村凌大, 上田平雄大, 太田雅紀, 多田拓真, 宮崎拓巳, 裕裕心, 細見知広, 宮本柊蔵, 山際真二郎, 松本瑞希, 村田昭人, 大島淳市, 齋藤大輔, 佐古大諒

●車の特徴とチームの抱負

今年度の車両コンセプトは「飛燕」です。昨年度マシンをブラッシュアップし更なる軽量化、低慣性モーメント化を実現しました。今年度大会ではオートクロス60s切りを目標に活動して参ります。

●スポンサー

IOX-AROSA, MINI TOYAMA, NTN, アネブルAPG, イグス, ウェストレーシングカーズ, エヌアイシ・オートテック, クーマックおわらサーキット, サカキ産業, スズキ, スチロ化学工業, ソリッドワークス・ジャパン, 日本ナショナルインスツルメンツ, ニコルレーシング, ビューテック化工, ファインネクス, ホンダ技研工業, EFI Technologic, TAN-EI-SYA, アル・エス・アル, エフ・シー・シー, キノクニエンタープライズ, ザム・ジャパン, スカイ, デンソー, ナカニシ, ニフコ, ビューマ, 岡島パイプ製作所, 深井製作所, 不二越, 富士精密, 協和工業, 中村機械, 日立Astemo, 緒方ラヂエーター工業所, 浪速鉄鋼, 住友電装, BBSジャパン, 丸紅情報システムズ, WALLLESS, CAST, エンケイ, プロト, 太平洋精工, 三菱ふそう, デイトナ, プラスミュー, 倉谷アルミ工作所, リバインシカワ, LINK JAPAN



31 立命館大学 *Ritsumeikan University*

●メンバー

[CP] 安河内浩人, [FA] 乾広久, [SFA] 上芝生裕, 山末英嗣, [MBR] 北野敬二郎, 上田陽平, 杉谷文恒, 平野智也, 宮前裕真, 小西崇太, 谷中大樹, 西村佳真, 上鳥有貴, 堀井恒希, 西和磨, 北川柊希, 坂野隼馬, 中舛僚太, 村田基徳, 前田眞之介, 小川翔生

●車の特徴とチームの抱負

当チームでは、今シーズンのマシンコンセプトにユーザーズファーストを掲げ、コンセプトに伴ったマシンの大幅なパッケージ変更を行い、性能の向上を図りました。総合順位5位を目標に尽力します。

●スポンサー

川崎重工業, ソリッドワークス・ジャパン, JRC, 日本精工, CAST, 新家工業, ニフコ, 琵琶湖スポーツランド, 石原ラジエーター工業所, 松本金属加工, サンキン, ネジの山崎, バイク工房岩城, ザムジャパン, ウェストレーシングカーズ, NEOS, サンコウ銅業, ミスミグループ, FCCデザイン, F.C.C., 小寺製作所, キノクニエンタープライズ, VBOX JAPAN, オーゼットジャパン, ワークスベル, スーパーオートバックス湖南店, MOTUL JAPAN, タマディック, ソフトウェアクレイドル, 神戸製鋼所, IDAJ, アルテアエンジニアリング, エム・エヌ・ビー販売, 深井製作所, 日信工業, プラスミュー, 江沼チエン製作所, 共和産業, 日本発案, がんさん, EWP-JAPAN by A.P.J., エイティース, オカノプラスト, エヌケーエヌ, NOK, 平和発條, 大建工業, オーフア, ダイネス, Solize Products, ベア, アクセル, 梅村技研, ハイレックスコーポレーション, 住友電装, 市光工業, ミヤキ, 原製作所, サンケン, トップラインプロダクト, ニチリン, 能勢鋼材, オートクラフト, AVO/MoTec Japan, IPG AUTOMOTIVE, カインドヒートテクノロジー, ファーストモルディング, ノルトロックジャパン, イグス, 大洋アルミ鋳造, 徳島カム, 熱研, アネブル, プレイヴオート, SUS, ダイワ・エム・ティ, デュボン・スタイロ



32 久留米工業大学 *Kurume Institute of Technology*

●メンバー

[CP] 西田大桜, [FA] 東大輔, [SFA] 池田秀, 梶山項羽市, [MBR] 鶴田壘, 宮尾大河, 木原真哉, 田口小次郎, 善聖裕, 峯田康平, 寺田朝陽, 出口緋琉, 安川凜, 大本龍之丞, 荒牧龍之介, 中野翔太, 松本昂大, 竹下佳名多, 渡邊健太郎, 鎌田直宏, 山本祐大, 横山遼河, 馬原農成, 片岡響, 新宅陽向

●車の特徴とチームの抱負

今年度のマシンコンセプトは「シンプル&ベーシック」とし、エンジンの変更に伴い搭載していたターボチャージャーを外し自然吸気としました。動的審査完走、総合順位20位以内を目指します。

●スポンサー

スズキ, エッチ・ケー・エス, ソリッドワークス, ヤスナガ, B-FACTORY, 和光ケミカル, ホンダテクノフォート, 東京R&D, 高木鉄工所, 津留崎製作所, ミスミ, FCC, 測上溶接, VSN, 住友電装, Ins-R, 深井製作所, セネラルエンジニアリング, 西島板金工業, 上津レンタカー, NIICO, キノクニエンタープライズ, ミヤコ自動車, GOODRIDGE, KYOWA, 旅館たみ屋, DENSO, 東日製作所, センサーテクノロジーズジャパン, アウトソーシングテクノロジー, MathWorks, 田原ボデー製作所, ENKEI, 久留米工業大学, 久留米工業大学同窓会, 久留米工業大学もづくりセンター, 久留米工業大学, 久留米工業大学同窓生御一同様, 久留米工業大学教職員の皆様, 久留米工業大学インテリジェントモビリティ研究所, 久留米工業大学加工プロジェクト



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

33 大阪工業大学 *Osaka Institute of Technology*

●メンバー

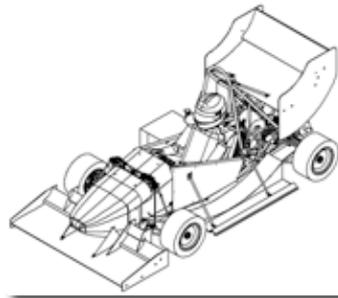
[CP] 奥山勝太, [FA] 桑原一成, [SFA] 井原之敏, 岩田英樹, [MBR] 藤原雄生, 上原峻汰, 森谷太一, 阿部秀俊, 遠藤亮哉, 上園隼輔, 小林遥斗, 森田雄翔, 荒川優右, 大竹匠, 杉本涼輔, 榎本拓真, 三村康貴, 太田勝也, 児玉雄二郎, 竹内駿, 芳田充弘, 藤牧幸輝, 山本暁経, 樋渡薫, 洞内健汰, 高橋真人, 宮崎智之, 長尾美咲, 松井寛明, 藤原駿介, 黒住和生, 藤井康平, 松添詩人, 中本椋介, 前城拓海, 河野渡, 二宮健斗, 梶間敬太, 石田将士, 柴田拓希, 今川裕貴, 高橋力, 矢野颯也

●車の特徴とチームの抱負

REG15は、シングルゼッケン獲得を目標とする3ヵ年計画2年目の車両として、REG14のパッケージを受け継ぎ改良を行いました。車両コンセプトを「速くて扱いやすいマシン」とし、コーナリング性能向上を追求しました。全体順位14位を目指します。

●スポンサー

川崎重工業, イーコット, ソリッドワークス・ジャパン, ZION, Amazing Kart ISK, レーザーテック, 水田製作所, ノースヒルズ溶接工業, オーゼットジャパン, 日双工業, エクセディ, セネテック, アルテアエンジニアリング, 住友電装, VSN, トータルテクニカルソリューションズ, R'S DESIGN, 石原ラジエーター工業所, 協和工業, ワークスベル, コトラ, デンソー, トナミ電工, エフ.シー.シー, オクノグローバルテック, オーエスジー, 大阪フォーミング, 日立アステモ, ホンダテクノフォート, サムテック, イグス, 谷川電機産業, 日ポリ化工, ニフコ, 中島工業, 日本ヴィアイグレイド, 久門紙器工業, プロジェクト・ミュー, 坂口製作所, 大阪パネ工業, 東洋電装, ジョブハッチ, CAST, 興研, 深井製作所, 日置電機, グループ・エム, エム・シー・エス



34 広島工業大学 *Hiroshima Institute Technology*

●メンバー

[CP] 貴志勇樹, [FA] 中根久典, [SFA] 吉田憲司, [MBR] 月下祐樹, 蟬川和磨, 落窪楓, 成相貴裕, 本田晴樹, 布野新, 若山慎平, 保井風舞, 宮田恭輔, 池田朝陽, 三崎柚希, 大内理久, 望月喜也, 新庄谷拓海, 辻風馬, 實久敬郁, 松本理希, 加藤大和, 久保恒輝, 小林優太, 合田響, 越智輝, 嶋本知隼, 篠村嘉弥, 中村颯汰

NO DATA

35 明星大学 *Meisei University*

●メンバー

[CP] 小倉匠太, [FA] 川原万人, [MBR] 竹内聡太, 小倉風樹, 北口慧, 青山真也, 仙洞田晴仁, 奈良澤悠斗, 沖田龍之介

NO DATA

36 九州大学 *Kyushu University*

●メンバー

[CP] 角田巨陽, [FA] 森上修, [SFA] 安藤詩音, [MBR] 大重裕矢, 大熊和翔, 和知隼人, 山崎大生, 高尾綾太郎, 金崎龍紀, 浦上壮吾, 織田啓希, 武藤玲於奈

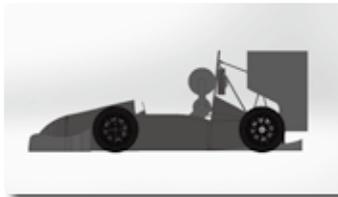
●車の特徴とチームの抱負

今年度は、弊チーム初である動的種目完走、かつ総合順位30位を目標として掲げました。新エンジンの導入、ウイングやサイドポッドの導入など従来のマシンからデザインを一新し、チームの成長と飛躍を目指します。

●スポンサー

旭化成建材, ATAI Design, ADVICS, ALTAIR, 日立アステモ, AUTOPOLIS, INTREPID, igus, ウエストレーシングカーズ, Kics Racing Gear, 協和工業, KHK, 建築マニア, KOTORA, シゲマツ, SOLID WORKS Japan, 住友電装, ダンロップ, THK, トータルテクニカルソリューションズ, D-GARAGE, DENSO, DAYTONA, 日本ペイント, NOK, CLUTCH F.C.C TECHNOLOGY, FRP-KOUDA interesting K3, Nishino Co.Ltd, NSK, 日本発条, ニコルレーシング, バイクショップRIZE, FUKAI, 富士精密, 本田技研工業, MOTUL JAPAN,

MiSUMI, MOBITEC, 安田醸業, La Strada, WB Works Bell



37 大阪府立大学 *Osaka Prefecture University*

●メンバー

[CP] 長尾優斗, [FA] 瀬川大資

NO DATA

38 早稲田大学 *Waseda University*

●メンバー

[CP] 佐藤志龍, [FA] 佐藤真, [SFA] 宮下朋之, 石井泉, 伊東克己, [MBR] 佐藤志龍, 福尾颯太, 丸山達也, 小林拓真, 清谷颯大, 伊東優之介, 田中龍児, 清水剛世, 榎舎祐太, 小林恵輔, 中西聡太郎, 大竹智仁, 久保田崇介, 西尾渉, 佐藤尚貴, 湯蓋優大, 長田知己, 井上遼, 中井謙伸, 内田直希, 千原文, 稲葉摩人, 野田真哉斗, 関慶太, 中村瑠希亜, 大和田龍, 岸本千宙

●車の特徴とチームの抱負

過去最高のメンバー数26名でコロナ禍からの立て直しを図ります。チームマシンは熟成を重ねたリア独立フレーム構造、小型で俊敏なマシンに4気筒エンジンを載せて今年もエコパの地を疾走します。

●スポンサー

KYB,ジュニアモーターパーククイック羽生,スズキ,ソリッドワークス・ジャパン,日本ビストンリング,マーレジャパン,UDトラックス,ランドマークテクノロジ,レゾニック・ジャパン,旭スプリング製作所,タマチ工業,畑野自動車,Rush Factory,IPG Automotive,アルテアエンジニアリング,アネブル,石原ラジエーター工業所,ウエダ,エイチワン,エフシー・シー,エヌ・エム・ビー販売,オーゼットジャパン,キノクニエンタープライズ,協永産業,共成,協和工業,コトラ,鷲宮製作所,ザム・ジャパン,七福金属,住友電装,ティ・クラフトネット事業部,MOTUL Japan,日本ユピカ,深井製作所,プロテクト,プロト,ミスミ,LINK JAPAN



39 東京理科大学 *Tokyo University of Science*

●メンバー

[CP] 羽田野勇佑, [FA] 岡田裕, [SFA] 高橋昭如, 松崎亮介, 早瀬仁則, [MBR] 大平啓貴, 林佑樹, 夏目響己, 平光俊作, 中井大翔, 加藤丈翔, 木村遼太, 藤井紘貴, 阿出川航, 石川晴太, 柳澤歩, 玉田航, 伊藤廉, リョウカンリン, 飯野美海, 江頭慧, 石黒隼人, 田中祐里奈, 村松舞優, 中江正太郎, 宮本恭太, 村越健吾, 石井大夢, 坂野悠仁

●車の特徴とチームの抱負

今期マシン、TFR18で目指すのは、「コーナリング性能の向上」です。大会のコースレイアウトから、コーナリング性能を向上することがタイムを縮めるために重要であると結論付け、速く曲がるマシンを目指しています。プロジェクトリーダー以下、メンバーのほとんどが今大会が初めての大会であり、経験不足となりチームの力が大きく低下した中で、今大会を以降のチームの糧となる経験を持って帰

ることのできるものにしたいと思っております。

●スポンサー

協立製作所, 新調製, エヌ・エム・ビー販売, ニッポンレンタカー, アネブル, ナイアン, コンチネンタルオートモティブ, 東京アルアンド子-協和工業, ガスベル, オーゼットジャパン, コスモ機油, 大成プラスタ, タグチ, 旭スプリングオートマックス, スタンダードテストピニス, 仙北谷, タケバウファクトリー, ネンダテクノス, 井上製工業, キキダイ工業, 日本精工 (NSK), 江崎パエン製作所, ZAM, JAPAN, 日本トムソン, 公達カミカル, コルックス, フェューチャーテクノロジー, ミナロ, 旭化成建機, Oveon, AB, エヌケー, リンカ, アオアミ, ダイセル, エボニック, シンプレックス, 大竹製作所, 佐藤興空, 共和電業, ケーケー, ヴィー, コーレクション, バイレックス, コーレクション, 日産アス子モレアーズ, プラスミュージック, ジョー・レクション, 都立システム, NOK, プロト, カエストレーシング, 深井製作所, シール, エアード, OUSCO (キャロッセ), 本田技研工業, タイモエンジン, アリントン, 不二WPC, HKS, HKSテック, カルファクトリー, テンソー, ファジック, 及川博通システム, 三菱技研工業, 近藤科学, エムエフマツモト, トップインプロダクト, ニルレーシング, ナレリ株式会社, CARVEK (フレイクオート), 東光カミカル, 日本オイルボンズ, 佐々木電機, タイコエレクトロニクス, ジャパン, センサーテクノロジー, ジョー・メクス, ベア, 富士精機, ミスミ, 東洋製作所, キノクニエンタープライズ, 水戸工業 (ミロイ), ロボテック, スイグス, ニフコ, 大和タイル, ノルロク, ジャパン, 日本アルト-精工 (NPS), 尾越機軸, 新野金属工業, ソリッドワークス・ジャパン, アルテアエンジニアリング, 日本タイヤイグレイト, IPG Automotive, IDAL, 日産自動車, ケンダ, 社会活動推進室, 公益財団法人電通英会, ジュニアモーターパーククイック羽生, シティカート, 日本自動車大学校 (NATS), ニッポンレンタカー, 神戸製鋼, 古河工業, ユーロポート, 三和メッキ工業, 石井電機, 東田



40 麻生工科自動車大学校 *ASO College of Automotive Engineering and Technology*

●メンバー

[CP] 松井健朗, [FA] 杉本誠, [MBR] 古賀琢磨, 樺島晴樹, 藤直樹

●車の特徴とチームの抱負

今年度のマシンの特徴は、歴代設計を踏襲しつつ、「Cornering Balance」をテーマにマシンスペックを最大限に発揮する「マシン成熟」設計を行った。前回出場した時の成績から総合順位を10位上げる事を目標にしている。

●スポンサー

スズキ, NTN, ウメダ, エヌビーエフオート, エフシーシー, オーシャンカートランド, キノクニエンタープライズ, 協和工業, ザムジャパン, 住友ゴム工業, ソリッドワークス・ジャパン, トヨタカローラ博多, ニシノ製作所, ビーエムシー, ファクトリーギヤフォレオ博多店, 深井製作所, ホンダドリーム九州, ミスミ



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

41 福井工業大学 *Fukui University of Technology*

●メンバー

[CP] テーヤオシユン, [FA] 土屋高志, [MBR] チャンザウエイ, 牧春海, 森永悠介, 高橋俊貴, 寅松大翔, 中村有希, 東洋一郎

●車の特徴とチームの抱負

FUTFP 22は「0故障」を目標としているマシンです。今年度から福井工業大学は初の動的イベント参加となるため、弊チームの目標は車検通過と全種目の完遂・完走の上、総合順位50位以上を目指しています。

●スポンサー

本田技研工業, ティーエムシー, パーチャルメカニクス, ソリッドワークス・ジャパン, 宇野歯車工業, 福井工業大学



42 鳥取大学 *Tottori University*

●メンバー

[CP] 本郷良太, [FA] 河村直樹, [SFA] 村松隆司, [MBR] 織田悠斗, 米村明訓, 稲井寛人, 谷口俊介, 渡邊改, 山田瑛介, 大戎優樹, 池田涼馬, 岩坂歩, 井出葵偉, 梅崎航社, 國光佑哉, 渡部遥也

NO DATA

43 金沢工業大学 *Kanazawa Institute of Technology*

●メンバー

[CP] 平田和暉, [FA] 権谷基

●車の特徴とチームの抱負

今年度のコンセプトは「ドライバーが扱いやすいマシン」です。このコンセプトでマシンを設計してから4年目を迎えコンセプトの集大成となるようなマシンを目指し設計を行いました。より多くの経験値を得られるよう今大会に臨みます。

●スポンサー

金沢工業大学夢考房, TAN-EI-SYA, 日立Astemo, 協和工業, 大和鋼管工業, ガレージゴン1, 住友電装, 小松鋼機, スズキ, キノクニエンタープライズ, ウエストレーシングカーズ, プラスμ, レゾニック・ジャパン, 和光ケミカル, 茶谷鉄工所, 岡島パイプ製作所, 丸開鉄工, ニフコ, CAST, 石原ラジエーター工業所, 深井製作所, 日本発条, ティエムシー, イグス株式会社, 株式会社トラップ, 白山工業, F.C.C., ウエダ

NO DATA

44 大阪産業大学 *Osaka Sangyo University*

●メンバー

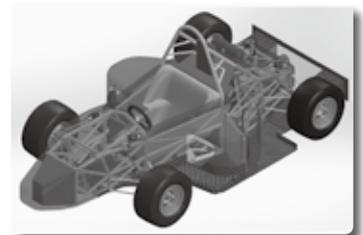
[CP] 金光修令, [FA] 伊藤一也

●車の特徴とチームの抱負

低重心、ワイドトレッド、ロングホイールベース、グラウンドエフェクトによるダウンフォースで安定性と旋回性能を高め、誰が乗っても安全に速い車両を開発しました。この車両で大会完走を目指します。

●スポンサー

大阪産業大学, 川崎重工業, JRC, モリワキエンジニアリング, K2W, Precision, エクセディ, タニ・アイアンワークス, エフ・シー・シー, 新日本フェザークォア, 大東ラジエーター工業所, ソリッドワークス・ジャパン, ミスミ, 和光ケミカル, ウエストレーシングカーズ, プラスミュ, 協和工業, 日立Astemo, 東研サーモテック, 三和メッキ工業, 住友電装, マスワークス・ジャパン, アールエスタイチ, FCデザイン, S.Y.Tech Corporation, NICHIMOLY, VSN, PROGRESS, ニフコ, サウスコ・ジャパン



45 崇城大学 Sojo University

●メンバー

[CP] 川越玄暉, [FA] 生田幸徳, [MBR] 房野颯太

NO DATA

46 日本大学 生産工学部 College of Industrial Technology, Nihon University

●メンバー

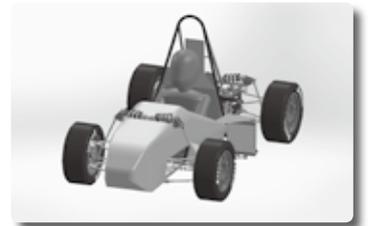
[CP] 樋渡仁士, [FA] 風間恵介

●車の特徴とチームの抱負

2018年度以来久しぶりの大会参加であるため、チームメンバーの殆どが大会未経験者です。そこで、今年は一一つ提出物をこなし、確実に完走を目指していきたいです!!!

●スポンサー

田技研工業,ソリッドワークス,日立Astemo,神戸製鋼所,三五,ストーブリ,WADA WELDING,Sakata Designers,デュボンスタイロ,協和工業,新東京サーキット,ナック・ケイ・エス,キノクニエンタープライズ,NOK,グループ・エム,アネブル,重松製作所,ハードロック工業,FCC,不二越,江沼チエン製作所,サンエイ化学,トライボジャパン,サム・ジャパン,オートデスク,IPG Automotive,タイヤフィッティングサービス,日本ドライケミカル,住友電装,BOSCH,オートランドテクノ,プロスタッフ,日本精工,東京R&D,協永産業,三和ニードルベアリング,オーセットジャパン



47 近畿大学 Kindai University

●メンバー

[CP] 董錫賢, [FA] 梶原伸治, [MBR] 池田琢磨,内山由翔,木村敦,深尾匠,和氣優衣,水畑葵,佐々木柊翔,高林駿,瀬上出帆,松下祐佑,中西由樹,今元さくら,多田大空,津田絢名,北島誠,塩川晴萌,塩田大希,左右田光城,岸本和也

●車の特徴とチームの抱負

車両のコンセプトは、「ドライビングプレジャーの追求」。車両の動的状態における4輪の重量配分に注目し、誰がステアを握ってもドライビングプレジャーが感じられるマシンを目指しました。全種目制完走を目指します。

●スポンサー

川崎重工業,名阪スポーツランド,日ポリ化工,和光ケミカル,ソリッドワークス・ジャパン,modis,日立Astemo,大東ラジエータ,NTN,砂川製作所



48 ホンダテクニカルカレッジ関東 HONDA Technical College Kanto

●メンバー

[CP] 下地博貴, [FA] 塚越琢也, [SFA] 達家賢, [MBR] 櫛田航汰,池田大介,森本光太郎,森慶斗,高山舜平,森草冊,青柳大樹,山崎統哉,高井萌恵理,鷺圭輔,相沢辰真,カーンファウズ樹,島直樹,今井泰貴,佐々木孔明,白井涼弥,萩原由佑,小堀斗聖,齋藤慶矢,長井哲麻,佐伯瞭真,堀内千椰,庄司早甫,横手豪人,齋藤七海,武富直,村田裕星,辻野功輔,林航希,神貴宏,小野智也,彦坂拓海

●車の特徴とチームの抱負

今年度は、昨年度車両に引き続き「信頼性」をベースに、順位目標達成するため、「軽量化」と「コンパクト化」を車両コンセプトに加え開発を行いました。約15年ぶりとなる「総合順位20位」と「全種目完走」を目指します。

●スポンサー

本田技研工業,UCHIDA,アネブル,ポリブラ・エボニック,IPG Automotive,イグス,Witzenmann Japan,住友電装,フォーミュランド・ラー飯能,オーセットジャパン,出光興産,コンセントレーション・ヒート・アンド・モーメンタム東京支店,アールケー・ジャパン,興和精機,キノクニエンタープライズ,協和工業,ファロージャパン,サム・ジャパン,ワークスベル,常盤,深井製作所,ホンダテクノフォート,山王テック,八千代工業,SOLIZE,ホンダカーズ野崎,FCデザイン,石井商会,Calspan



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

49 岡山大学 Okayama University

●メンバー

[CP] 吉川優太, [FA] 河原伸幸

NO DATA

50 芝浦工業大学 Shibaura Institute of Technology

●メンバー

[CP] 磯島旦, [FA] 斎藤寛泰, [MBR] 山下海飛, 白崎稜, 香川優也, 長田実森, 幕田航平, 越川雅生, 田子碧馬, 福田真弘, 山崎蓮, 杉山克樹, 佐藤諒, 末次健吾, 新井真碧, 西山和樹, 大平晴翔, 黒光広生, 飯塚由, 新井歩睦, 森田智典, 岩瀬涼太, 高橋拓己, 中村晃太郎, 小倉彩芽, 前川夏輝, 外山巧輝, 竹岡大輝, 戸川智敬, 五十畑敦史, 森本裕河, 村上泰彦, 忠井栄作, 石川大之進, 西島拓希, 棚橋宏太, 阿部侑大, 小形琢磨, 戸津崎晃矢, 法原大地, 大石敬右, 寺谷真龍

●車の特徴とチームの抱負

私達、SHIBA-4は、「軽量・小型・低重心」をコンセプトに車両を設計し、俊敏性を持ちながらもコントロールしやすい特性を目指して製作してきました。今大会では、マシンの性能を最大限に引き出し、チーム一丸となって、念願の総合優勝を狙います。

●スポンサー

NOK,NTN,Quon Technology,UDトラックス,アイケーメタル,アイル,アネブル,アルテアエンジニアリング,アルテクノ,井上鉄工所,エスアイテック,エヌ・エム・ビー販売,江沼チエン製作所,オイレ工業,金子製作所,関東工業自動車大学校,キノクニエンタープライズ,協和工業,小原歯車工業,サム・ジャパン,芝浦工業大学校友会の皆様,ジュニアモーターパーククイック羽生,住友電装,積水化学工業,ソフトウェアクレイドル,大省工業,ティン,デンソー,東亜,東京アールアンドデー,東京チタニウム,所沢軽合金,日信工業,日進工具,日鉄めっき鋼管,ニッポンレンタカーサービス,ニフコ,日本自動車研究所,ハイレックスコーポレーション,萩原製作所,フィアロコーポレーション,深井製作所,プレイアウト(カーベック),プロスタッフ,ボッシュ,本田技研工業,本田技術研究所,ホンダテクノフォート,マイスタークラブ,松尾製作所,丸栄産業,ミスミ,三和商会,ムーンクラフト,ラメール,鷲宮製作所,ワークスベル,和光ケミカル,三協ラジエーター,落雷抑制システムズ



51 東京都立大学 Tokyo Metropolitan University

●メンバー

[CP] 持木浩太, [FA] 玉置元, [SFA] 井尻政孝, [MBR] 松下風知, 植田優, 池邊直人, 川口結子, 久万田峻, 瀬戸口拓也, 藤本周真, 根上航聖, 伊東慧, 金丸巧, 川村昌範, 宮川加那斗, 若林大輝, 國松誉, 村上祥太郎

●車の特徴とチームの抱負

今年度は「リニア」を車両コンセプトに掲げ、コーナリング性能の向上に努めてきました。3年ぶりの出場となる本大会では、車検の通過および動的種目完走を目指します。

●スポンサー

東京都立大学同窓会, 東京都立大学南大沢キャンパス工作施設, 本田技研工業, ダッソー・システムズ, 佐々木工業, エフ・シー・シー, レイズ, ジー・エイチクラブ, 日本精工, ソリッドワークスジャパン, ビー・エム・シー, 住友電装, トヨタカスタマイジング&ディベロップメント, 深井製作所, ワークスベル, 協和工業, プロト, 富士精密, ニフコ,

日本ドライケミカル, 国美コマース, 大河内金属, キノクニエンタープライズ, 富士電機機器制御, 配線コム, NMB販売, 日立Asterno, ディープステージ, 和光ケミカル, イチ・イー・ティー, Linkman, 八木製作所, ハイ・ブリッジ, ナップス, 協永産業, ハイレックスコーポレーション, アネブル, NOK, DMM.com, アイ・アール・エス, サウスコジャパン, アールエーシー, 伊東NC工業, トータルテクニカルソリューションズ, 住産サービス, パーソルR&D, 七福金属, 佐賀新聞サービス(敬省略), 上原健太郎様



52 北九州市立大学 The University of Kitakyushu

●メンバー

[CP] 村瀬巧, [FA] 吉山定見, [SFA] 宮國健司, 長弘基, [MBR] 池田一輝, 古庄彰, 都留一成, 筒井祥太, 鍵山智志, 平岡拓樹, 木下佳久, 岩崎翔太, 山口将虎, 岡本心真, 西尾光也, 吉田広大, リンリュウウ, トウキ, 入学虎太郎, 石川琉那

●車の特徴とチームの抱負

今年のコンセプトは「速さの追求・信頼性の向上」です。チームとして三年ぶりの大会出場となる今年は、全動的種目完走を最大の目標とし、車両製作を行いました。また、今年は三年前を上回る速さも見せられるようにチーム一丸となって頑張ります。

●スポンサー

川崎重工業, エフ・シー・シー, ソリッドワークスジャパン, 住友ゴム工業, ソフトウエアクレイドル, THK, トヨタレンタリース福岡 共立大前店, ウエストレーシングカーズ, キノクニエンタープライズ, ユーボン・スタイル, 協和工業, 深井製作所, 和光ケミカル, 江沼チエン製作所, 日立Asterno, オーゼットジャパン, 石原ラジエーター工業所, アルテアエンジニアリング, ニコル・レーシングジャパン, Brabio!, 住友電装, ゼネラルエンジニアリング, The Mathworks Inc, 日本発条, 北九州カートウェイ, 八幡自動車学校, 北九州市立大学国際環境工学部, 北九州市立大学国際環境工学部機械システム工学科, 北九州市立大学国際環境工学部加工センター



53 東海大学 Tokai University

●メンバー

[CP] 佐々木拓未, [FA] 加藤英晃, [MBR] 大竹聖, 藤田信義, 矢野直樹, 澤田健太郎, 高橋貴吾, 力丸創太, 奈良直幸, 山田充介, 長沼大暉, 松岡空, 福島康, 橋本蒞維斗, 村田昌生, 草野耕樹, 伊藤史晃, 小畑龍紀

●車の特徴とチームの抱負

フルカーボンモノコック+V型2気筒エンジン+フルエアロデバイスとこれまでと同様のパッケージングを踏襲し、質の向上と更なるドライバビリティの向上を目指しました。チームとして2年ぶりの大会出場となる為、大会完走を最低目標として挑戦します。

●スポンサー

スズキ, トタルエナジーズ, N.A.C.T., IDAJ, IPG Automotive, 鈴村製作所, AVO MoTeC Japan, 電研社, 及川製作所, キノクニエンタープライズ, 高砂産業, タマチ工業, デンソー, 丸紅情報システムズ, ミクニ, 和光ケミカル, エヌアールエス, エヌエムビー販売, オーゼットジャパン, オートマックス, 鈴木精機, 日信工業, ヴィアイグレイド, ビーエルエム, 平塚イトネジ福岡ゴム工業所, ミスミグループ, 井上ボーリング・エヌ・イー, 南精機工業, アルテアエンジニアリング, CAST, ケムトレンド, 鈴英, 新日本フェザーコア, HPCシステムズ, ソリッドワークスジャパン, ニフコ, 京王観光, 東海大学機友会, 学校法人東海大学スチューデントアチーブメントセンター, 東科精機, 東芝機械, 日産自動車, 日本ヴェーテック, パーソルR&D, ホンダ技研工業, セット・エフ・ジャパン, エスユーエス, イリス, レント, アルテア, 積水化成, イグス, ヘキサゴン・メトロジー, MathWorks, イセ工業株式会社, 大井松田カートランド, VSN, アンシス, ZFフリードリヒスハーフェン, シュロスレーシング, ミネベアミツミ, 協和工業株式会社, 東京R&D



54 国士舘大学 Kokushikan University

●メンバー

[CP] 長尾義大, [FA] 本田康裕, [MBR] 菊田航也, 関内拳太, 村井亮介, 多田駿太, 中山幸世, 依田龍司, 木村諒輝, 木村諒輝, 伊藤蓮太郎, 岩崎潤太, 岩崎潤太, 宮崎凌弥

NO DATA

55 西日本工業大学 NISHINIPPON INSTITUTE OF TECHNOLOGY

●メンバー

[CP] 岡田文和, [FA] 眞田篤, [MBR] 木村詩苑, 神宮史陽, 高田友将, 石田悠馬, 柴田翔平, 鶴田裕来, 杉野正一郎, 北川創一郎, 西岡凌司

●車の特徴とチームの抱負

私たちは前回出場した時、完走することができませんでした。なので、今回の目標は完走することです。また、車体の特徴としてはエンジンがバイクではなく、SUZUKIの軽自動車のエンジンを使用していることです。

●スポンサー

ドライバーズカフェオレスト, RACING GARAGE ENOMOTO, アートメタル産興, FUKAI, アネブル



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

E1 名古屋大学EV Nagoya University

●メンバー

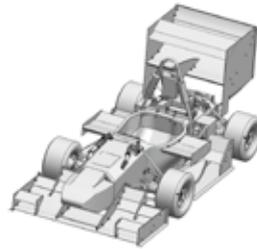
[CP] 曾我剛, [FA] 青木宏文, [MBR] 入山陽仁, 柴田海斗, 澤田侑典, 市川雄基, 杉本晴紀, 栢橋拓夢, 河野楓雅, 森本悠卯奈, 伊藤陽祐, 山本悠奨, 雪竹遼馬, 吉川雄大, 磯部有哉, 福岡平士朗, 赤尾拓海, 上野誠太, 田中健太郎, 池口祥太, 亀田龍平, 小澤輝介, 南成司, 末永和田, 星野光輝, 丹羽啓太, 栗濱顕実, 藤井一弥, 成田士侑馬, 門上弘樹, 服部慎, 山岡蒼司, 小川春花, 久野凌, 高垣連, 山本照天, 川崎友吾, 齋田拓実, 金田季之, カンデラリアケイレブヨハンフェルナンデス

●車の特徴とチームの抱負

FEM-19では車両コンセプトである“*Attractive Traction*”のもと、高い加速・旋回性能達成のため更なる軽量化に取り組みました。EV転向以来チームの目標である総合優勝を目指します。

●スポンサー

メイドー, アインエダアリュ, キャリオ, HOT, ISOWA, BOEING, IME, IPG, ARRK, ACTIVE, 旭化成建材, アドヴィックス, ANSYS, 旭千代田工業, アネスト岩田, イダス, 石野サーキット, 石原ラジエーター, 岩倉塗装, AMK, AW, E, SSS, モールド, NTN, O, zacing, 大山エン지니어リング, 岡島バイク, 清都製作所, 北川工業, 岐阜キヤー工業, CAST, キョウセイ交通大学, 協和工業, 共和電業, 呉工業, 眞研, 幸田サーキット, YRP, 岡山, 神戸製鋼所, コックピットZEA, LCCI, JINDO, 住友電装スリーブZEF, センサータクノロジーズジャパン, 先進モビリティ(学)グリモ, ソリッドワークスジャパン, Kumada (大仏), SHORA, 大倉工業, 高砂製作所, dspace, テクニカル, テクノソリューションズ, デンソー, 帝人, 山下製作所, TopLine, 東日製作所, トヨタカスタマイジング&ティベロップメント, 中澤精造所, 日東工業, NISSAN, 日信工業, 日本軽金属, 日本研紙, 日本創造機, IKO (日本トランス), 日本バーカライジング, 日本発条, JEMA (日本電機工業会), JST (日本圧着端子), Next, ハイレックス, HIBIKI, 富士精密, 藤田電子, 藤本サービス, BRIDE, 古瀬, カーベック(プレイゴート), プロテクタ, プロトラッド, フジケン, ポリプラスチック, エレクトリックパワー, マキタ, MathWorks, 丸和機械, ミスミ, BILLION (ミルインターナショナル), ムトエン지니어リング, モンター, MOTUL, 矢崎, ユニクラフト, ヤマハ・ターボパワー, プロダクツ, RAMPF, ローランドレゾニック, Worldwalk, ぞくだ屋技研, アイン精機, ヒロセ電機, 太陽ケールテック, ネイロハウス, 日本キスター, ベルコンクス, サステラ, トヨタレナリース, Team Yamashita, 広慶商工, アナログデバイス, SBG Systems, コーケン, 佐藤木製製作所, 日本インジェクション, 古河電工, サカイベックス, Bendder, Energus, 中川木製製作所, 芝ライニング, 中島特殊鋼, ジェイテック, 日本精工



E2 豊橋技術科学大学 Toyohashi University of Technology

●メンバー

[CP] 三好尚弥, [FA] 柳田秀記, [SFA] 安井利明, 穂積直裕, [MBR] 福本遼太郎, 前田隼希, 伊藤翼, 坂垣光晟, 佐藤修平, 安田吉輝, 平松孝哉, Gan Xuan, 外山彰馬, 林優人, 小関啓史, 宇野光星, 中田裕貴, 藤井秀峰, 田中翔馬, 宮田航英, 顔志源

●車の特徴とチームの抱負

今シーズンは「Smart rEvolution」をチームコンセプトに革新的で洗練された車輛の製作を目標として掲げた。少人数での活動の中、これまでの設計や製作方法を刷新して作り上げた「TG16e」で「動的審査1位」を目指す。

●スポンサー

三菱ケミカル, メイドー, 太平洋精工, カーメイト, 大羽精研, 小野塚精機, CDS, 旭精機工業, 渥美モーターズ, 遠藤科学, 宮川工機, 花田工務店, アイセロ, 旭メタルズ, ローム浜松, 日本インジェクション, 高木木型, 玉津浦木型製作所, 三協ラジエータ, サイマコーポレーション, ポップリベット・ファスナー, SHORAI JAPAN, OSG, 住

友電装, ヒロセ電機, 和光ケミカル, キノクニエンタープライズ, トビー工業, ガレーズ, タカハシ, ワークスベル, K2W Precision, 昭和飛行機工業, Sensata Technologies, ホワイハウス, SOLID WORKS JAPAN, The MathWorks, SMT JAPAN, Ansys JAPAN, SIMSCALE, 武蔵精密工業, ネクスト, MIRAI, PLASCORE, CADIC, 本田技研工業, SPORTS KART ISK 浜名湖店, IME, 曙製作所, オオタ精密, 小川製作所, ティン, 大同DMソリューション, IPG Automotive, Calspan, LOTUS Cars, アナログデバイス, 日本圧着端子製造, SBG Systems, 豊橋技術科学大学, 豊橋技術科学大学 教育研究基盤センター, 豊橋技術科学大学 極限成形システム研究室



E3 東北大学 Tohoku University

●メンバー

[CP] 岩本大輝, [FA] 中村健二, [SFA] 鎌田浩一郎, [MBR] 遠竹駿大, 澤野翔矢, 築拓真, 小林祐大, 高橋大輝, 井上大智, 久保竜也, 奥平達裕

●車の特徴とチームの抱負

車の特徴は、前マシンからの継続で、旋回性能と安全性および整備性の向上を掲げています。昨年新マシンを製作できず悔しい思いをしました。今年は車両製作が初のメンバーも多いですが、チームの成長を継続するため頑張っています。

●スポンサー

東北大学大学院工学研究科技術社会システム専攻中村研究室, 東北大学未来科学技術共同研究センター, MotoGarage WINDS, 東北大学マイクロシステム融合研究開発センター, 本田技術研究所, トヨタ自動車東日本, トヨタレナリース宮城, 日立金属, 村上商会, 東北特殊鋼, オーセットジャパン, 和泉テック, ソリッドワークス・ジャパン, Robert D Small, 住友電装, プラスミュア, The MathWorks, Inc.



E4 静岡大学 Shizuoka University

●メンバー

[CP] 塚本凌平, [FA] 本澤政明, [MBR] 宮本航人, 朝倉龍斗, 酒向なつき, 田村優樹, 上田純生, 寺嶋映児, 高橋優輝, 野田健将, 若原優希, 川井拓海, 小嵐拓馬, 村木魁史, 渡部優馬, 荒屋敷玲樹, 田開創太, 筒井海七斗, 寺沢耀生, 廣田侃己, 堀口颯空, 森大翔, 高村和己, 山本聖真, 小北泰弘, 稲葉洋, 海野貴裕, 小林建太, 森野裕太, 笹井丞, 松田龍俊, 穴井皓, 鈴木瑞生, 近藤凜太郎, 阿部海帆, 岡本三千代, 松下一輝, 小出真史, 伊藤晃仁, 吉田萌乃, 山形紘平, 香山晟, 小見山隼稀, 遠藤快研, 福田蓮, 角果音

●車の特徴とチームの抱負

今年度大会から、主なマシン性能は昨年度から引き継ぎつつ、更なる加速力を求めてEVクラスに出場することにしました。まずは、大会での「車検通過」、そして「全種目完走」を目指して大会に挑みます。

●スポンサー

ヤマハ発動機, スズキ, dSPACE Japan, エンケイ, アンシス・ジャパン, IDAJ, ISK 浜名湖店, ソリッドワークス・ジャパン, IAI, ローランド ティー, ジー, 太平洋精工, ジーゾーン, 金子歯車工業, 桜井製作所, プロトラッド, 帝人, 新日本ホイール工業, ユニバンス, ファソテック, 和光ケミカル, エフ・シーシー, デイトナ, メイドー, ホンダテクノフォート, 矢崎総業, 杉浦金属, マキタ, 浜名湖電装, フジコーポレーション, マルイチ, エヌアールエス, 機業鉄工所, エヌティーツール, 住友電装, 協和工業, 東海理機, 大和化成工業, 日本プラスト, ティーエムシー, MathWorks, 東日製作所, NOK, センサータクノロジーズジャパン, 日立Astemo, HPI, ハマニ化成, 深井製作所, ソミック, 石川, 三協ラジエータ, 新日本特機, 協和工業, 静岡大学, 静岡大学工学部ものづくりセンター, クラウドファンディング支援者のみなさま



E5 神奈川大学 Kanagawa University

●メンバー

[CP] 吉瀬竜一, [FA] 山口光弘, [MBR] 飯田彩斗, 林慎太郎, 有木蒼平, 奥元琢, 大内佑真, 佐藤海, 手塚大登, 木俣葵

NO DATA

E6 静岡理科大学 Shizuoka Institute of Science and Technology

●メンバー

[CP] 五十嵐洋太, [FA] 野崎孝志, [SFA] 十朱寧, [MBR] 白鳥竜雅, 岩品拓海, 井上滉, 白井裕斗, 亀岡千尋, 今場大弥, 大庭晋之介, 永島久遠, 麻野間大悟, 高木悠真, 古賀涼介, 佐々木雅司, 夏目玲旺, 大塩歩夢

●車の特徴とチームの抱負

車両コンセプトを「ハヤブサ」とし、瞬間移動するような加速性能、俊敏な動きを可能とする運動性能、過酷な状態でも耐えられる信頼性の3つを兼ねそろえた車両を目指しました。チームメンバーと新たな車両と共にチーム歴代最高順位8位を以上の獲得に挑戦します。

●スポンサー

静岡理科大学, スズキ, ベルキャリアール, 東海理機, 紀伊國屋書店, 富士通エフサス, 富士フィルムビジネスイノベーションジャパン, Yamada Power Unit, テクニカルサポート, ミスミ, デイトナ, 木村鑄造所, THK, トヨタモビリティパーツ, 日庄総業, オエティカジャパン, 日立Astemo, エヌ・エム・ビー販売, 太平洋精工, 大同工業, 榎葉鉄工所, 川崎工業, PLUS, ウメトク, サイトハウンド, アルテクノ, プレニー技研, CAST, サム・ジャパン, 深井製作所, 協和工業, イグス, ソリッドワークス・ジャパン, MSC ソフトウェア, キノクニエンタープライズ, 住友電装, フジコーポレーション, ウエストレーシングカーズ, アイ・アール・エス, センサータ, ユニバンス, ベルソニカ, ISK浜名, 柴田車輛, 鳥居自動車, HPI, 袋井市役所



E7 ものづくり大学 Institute of Technologists

●メンバー

[CP] 三浦優馬, [FA] 原薫, [SFA] 三井実, [MBR] 小柳優奈, 白川諒, 高橋峻平, 野原涼平, 府川征大, 小林蒼, 小林駿佑, 小山晴風, 里翼, 白鳥正樹, 高橋輝流, 増田佳奈美, 圓池陸哉, 山中優希, 塚本隼, 井上佳祐, 松本佳大

NO DATA

E8 トヨタ東京自動車大学校 Toyota Technical College Tokyo

●メンバー

[CP] 中原侑星, [FA] 岡谷広徳, [SFA] 鈴木秀明, 仁宮直人, 佐野慎太郎, 片桐周平, 菱沼雄祐, [MBR] 石井洸士, 西村泰毅, 王培翰, 金井塚モハマド威部登, 熊田龍之輔, 吳翔, 清水悠人, 鬼形尚輝, 寺門竜杜, 南條大輝, 西村遥紀, 橋爪将志, 原田大跳, 平野智也, 藤沼佑太, 前沢倫究, 付鑫達, 牛山湧斗, 尾形亮, 岸野柊斗, 親持龍平, 清水一樹, 大泉陸海, 石川歩夢, 枝松亮汰, 岡部恭也, 萱沼俊祐, 高橋重光, 武田来夢, 唐昭, 梁諾錚, 森田晟靖, 真鍋賢人, 古郡翔真, 春木将也, 成田龍治, 徐祺, 王偉, 叶舟, 川崎陸斗

●車の特徴とチームの抱負

今年度の車両コンセプトは『意のままに操れる車両』です。車両の操作性と安定性にフォーカスすることでドライバビリティに優れた車両となっています。チームとしてはエンデュランスの完走と総合順位40位の達成を目標に掲げ大会に臨み

たいと思います。

●スポンサー

埼玉トヨペット, トヨタモビリティ東京, トヨタカローラ埼玉, ネットトヨタ東埼玉, 神奈川ダイハツ販売, ダイハツ東京販売, トヨタI&Iグループ, ネットトヨタ静岡, 神奈川トヨタ自動車, 栃木日野, 南関東日野, トヨタカローラ山梨, 高砂製作所, Amaz技術コンサルティング, 藤本鋼材, 木村鑄造所, BuchiRock R&D, ライト・モビリティ設計, PROTRAD・BENDER



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

E9 神奈川工科大学 Kanagawa Institute of Technology

●メンバー

[CP] 菊岡佑真, [FA] 山門誠, [SFA] 狩野芳郎, [MBR] 片岡大也, 源平伊吹, 笹井幹夫, 山田哲也, 森峻平, 依田隆生, 間島陽希, ペティアエルリックドルネルグ石井, 植田涼哉, 木下優音, 久保野谷知宥, 越田敢太, 山崎純

●車の特徴とチームの抱負

昨年度完成させることができなかった車両を完成させ、DENSOから提供していただいたモータを使用しさらなる軽量化、ブラッシュアップを行い車検合格はもちろんのこと、アクセラレーション優勝を目指しています。

●スポンサー

DENSO, ヘンミ計算尺, 共創, 西山工機, 戸田レーシング, Sensata Japan, West Racing Cars, ZF, デュボン 帝人アドバンスドペーパー, Enable, FCC, 日立Astemo, Matex, ISUZU, PROTRAD, Bender, WOOD BELL, SUZUKI, P板.com, 日立金属, 東栄電化工業, 深井製作所, RK



E10 愛知工業大学 Aichi Institute of Technology

●メンバー

[CP] 重野友祐, [FA] 武田亘平, [SFA] 西島義明, 太田英伸

●車の特徴とチームの抱負

AIT学生フォーミュラ研究会は2022年度からEV車両で参戦します。今年度はEV初年度ではありますが、動的全種目完走を目指します。

●スポンサー

エフ・シー・シー, エフティテクノ, GRM Consulting, Jネットレンタカー, NKN, NTN, Next, オーゼットジャパン, オーエスジー, PECホールディングス, ShoraiJapan, THK, VSN, VTホールディングス, アネブル, イグス, アクセル, アクティブ, アズテック, アルトナー, ウエストレーシングカーズ, エンバイヤ自動車, オウルテック, ソフトウェア, アクレイドル, ゴイク電池, サード, XAMジャパン, セネラルエンジニアリング, ソリッドワークス・ジャパン, タマチ工業, ティン, デンソー, TCL, トータルテクニカルソリューションズ, ナカダクラフト, ネクスト, ハイタップ, ペトロブラン, ホワイハウス, ホンダカーズ東海, マテックス, ムーンクラフト, 岡島パイプ製作所, 共創, 協和工業, 江場酸素工業, 市光工業, 住友電装, 新郊パイプ工業, 石野サーキット, 前田技研, 大阪パネ工業, 渡辺工業, 東洋

高周波, 鍋屋バイテック会社, 日本ガスケット, 日立Astemo, 梅野産業, 富士精密, 和泉商行

NO DATA

E11 日産京都自動車大学校 NISSAN AUTOMOBILE TECHNICAL COLLEGE KYOTO

●メンバー

[CP] 今井真聖, [FA] 大村哲嗣

●車の特徴とチームの抱負

大会参戦4年目で新米チームらしく、「躍進」をチームコンセプトとし、19人で一丸となって取り組みます。マシンは21年度車両から改良を行い、動的審査進出をしっかりと視野に入れ、走行性能にも力を入れている為、初の動的審査進出を目指し頑張ります。

●スポンサー

日産自動車, ヒーロー電機, TONE, ソリッドワークス・ジャパン, HILL TOP, エムエスシーソフトウェア, 摂津金属工業所, オカダエンジニアリング, エフ・シー・シー, 住友電装, 三恵工業, 日本ドライケミカル, ニコル・レーシング, オーゼットジャパン, ティエムシー, ウエストレーシングカーズ, Math Woks Japan, アンシス・ジャパン, アンシス・ジャパン, プロトラッドプロト, PROTEC, 浪速鉄工, ミスミグループ, アンフェノールジャパン, イング, 金子歯車工業, センサータ・テクノロジーズジャパン, 協和工業, 三菱マテリアル, 共創



E12 上智大学/青山学院大学 Sophia University/Aoyama Gakuin University

●メンバー

[CP] 大山隼平, [FA] 鈴木隆, [MBR] 高橋雄誠, 那須颯人, 塚原嘉輝, 府川大晟, 小川結生, 安田脩人, 近藤亮, 佐野聡一, 松本恒信, 岡田維摩, 林峻平, 有川慧, 西脇颯人, 伊藤有佑, 高木千吏, 伊東和希

NO DATA

E13 東京工科大学 *Tokyo University of Technology*

●メンバー

[CP] 碓山龍之介, [FA] 高木茂行

NO DATA

E14 横浜国立大学 *Yokohama National University*

●メンバー

[CP] 関有桜, [FA] 佐藤恭一

NO DATA

次世代のエンジニアを 支援しませんか？

自動車技術会では、学生やキッズを対象とした「ものづくり活動」や「国際交流」を積極的に進めております。次世代の技術者育成のため、皆様のご支援をお願いしております。

ご支援をいただける場合は、以下の通りお申込みをお願い申し上げます。皆様からのご支援お待ち申し上げます。

●お申込みの方法

以下の「お申込み先」の自動車技術会ホームページの所定フォームよりお申込みください。

●ご入金について

1 口 1,000 円よりお願いしております。
3 口以上お願いできれば幸いです。
ご入金方法は以下の 3 つがございます。

①(弊社会員の方)

会費お支払い口座からの自動引き落とし

②銀行口座へのお振込み

※払込手数料は寄付者様のご負担となります。

③郵便振替

お申込み先：自動車技術会ホームページ
<https://www.jsae.or.jp/sien/>
※QRコードからもアクセスできます



皆様からのご支援はキッズエンジニアや学生フォーミュラ日本大会をはじめとする自動車技術会の人材育成事業に充てさせていただきます。

公益社団法人 自動車技術会

Society of Automotive Engineers of Japan, Inc.

育成交流事業課

〒102-0076 東京都千代田区五番町10番2号 五番町センタービル5階

ホームページ: <https://www.jsae.or.jp/>

TEL: 03-3262-8214 FAX: 03-3261-2204 E-mail: ikusei@jsae.or.jp

スポンサー企業一覧

SSクラススポンサー 1社

TOYOTA

Sクラススポンサー 6社

NISSAN
MOTOR CORPORATION

HONDA

 **SUZUKI**

 **mazda**

 **MITSUBISHI
MOTORS**

日立金属
Materials Mag!c

Aクラススポンサー 23社

 **SUBARU**

KOMATSU

 **BOSCH**

TAMADIC
Change creation into power

NOK

重菱

 **MathWorks®**

AISIN
AISIN CORPORATION

ISUZU

HKS

 **Kawasaki**

KOYAMA
古山精機株式会社

SAGInoMIYA

 **DAIHATSU**

DENSO
Crafting the Core

TOSHIBA
東芝デバイス&ストレージ株式会社

MOTION & CONTROL™
NSK

 パーソルR&D
PERSOL

HITACHI
Inspire the Next
Hitachi Astemo

brose
Excellence in Mechatronics

HTFT
Honda Techno Fort

 **YAMAHA**

ROHM
SEMICONDUCTOR

Bクラススポンサー 57社

OSADA

 大和化成

PRESS KOGYO

ZUKEN
The Partner For Success

DIXCEL
ADVANCED BRAKE TECHNOLOGY

ICHIKOH
a Valeo company

EV
ENERGY

プライムアースEVエナジー(株)

AB DYNAMICS™

BBS

dSPACE

SIEMENS

TOYO TIRES

ADIENT

ADVICS

enable
株式会社 アネブル

 **ALTAIR**

ANZEN
安全自動車株式会社

igus

IST
INTERFETAL TECHNOLOGIES

Hone
Exceed expectations

EXEDY

Enomoto Technology
SCREW PRESS www.enomt.co.jp

CLUTCH
(F.C.C.)
TECHNOLOGY

ATJ

Autoliv

ONO SOKKI

 **KYGNUS**

UNIVERSAL JOINTS
DEVELOP YOUR ORIGINALITY THROUGH UNIVERSAL JOINTS
KYOWA JAPAN
<http://www.kyowa-uj.com>



Cクラススポンサー 52社





ヤマハモーターエンジニアリング株式会社

ヤマハモーターパワープロダクツ株式会社



2022年7月22日現在

YouTube での 学生フォーミュラ密着番組を配信中！

学生フォーミュラ日本大会の認知度向上とその魅力の訴求を目指し、2022 シーズンに密着したネット番組を YouTube にてシリーズ配信しています。学生フォーミュラチームの“リアル”を是非、ご覧ください。

また、本企画を支える番組サポーター様からの PR コンテンツも配信中です！

配信期間：2022年4月～10月頃まで
(全20回程度のシリーズ配信)



企業 PR コーナー

日時：9月8日(木)～10日(土) 9:00～17:00

*最終日は12:00頃までの予定

場所：P11-P10 駐車場沿道付近

内容：およそ60社のスポンサー企業が自社PRブースを設置。現在の日本の技術力を支えている企業が集結いたします。

